

ArcGIS

Esri Maps for SharePoint バージョン 3.0.1 スタートアップ ガイド

SharePoint Server 2010/2013 対応

目次

はじめに.....	1
スタートアップ ガイドについて	1
Esri Maps for SharePoint とは.....	1
基礎知識.....	2
マップを活用した SharePoint Web ページの作成.....	4
動作環境.....	4
Esri Maps for SharePoint のインストール	5
日本語化ソリューションの適用	13
Esri Maps for SharePoint の構成について	16
SharePoint リストの活用サイトの作成	19
位置情報を含む SharePoint リストの作成.....	19
Esri Maps Locate ワークフローの実行	20
Esri Maps Location フィールドの確認.....	25
SharePoint Web ページの作成（ArcGIS Maps Web パーツ）	30
SharePoint Web ページの作成（Esri Maps Web パーツ）	49
doc.arcgis.com サイト	75
トピックス.....	76
カスタム位置情報を用いた、Esri Maps Locate ワークフロー.....	76
地理とインフォグラフィックス.....	76
ArcGIS Map Web パーツの拡張.....	77
ArcGIS Map Web パーツのデフォルトで利用できるアドイン ツール	78
Web パーツ接続（Esri Maps Web パーツのみ）	79
Esri Maps Connect ワークフロー	79

はじめに

スタートアップ ガイドについて

本スタートアップ ガイドは、これから Microsoft SharePoint（以下、SharePoint）の管理者が、組織の SharePoint に Esri Maps for SharePoint をインストールして、サイト コレクション内で、利用者が SharePoint リストの位置情報の活用とマップを配置した SharePoint Web ページを作成するための最も基本的な利用手順の流れを紹介するものです。本書をお読み頂くことで、Esri Maps for SharePoint の活用の基礎を理解することができます。

Esri Maps for SharePoint とは

Esri Maps for SharePoint とは、Esri Location Analytics という GIS ソリューションのひとつです。Esri Location Analytics とは、BI や CRM、SFA や ERP と言った「ビジネス システム」に GIS を融合させ、位置情報の力を最大限活用し、組織内での情報共有や意思決定を強力に支援するソリューションです。

これまで一部の層でしか利用されなかった GIS を、「ビジネス システム」を介して、組織のあらゆる層の人たちに展開できる、全く新しいタイプの GIS ソリューションです。その「ビジネス システム」で蓄積される情報を地図上でわかりやすく可視化し、情報共有にフィードバックして役立てるということは、組織の経営つまり、組織の上層部や経営層の方々の迅速かつ的確な意思決定を支援することに繋がります。

その Location Analytics のひとつ Esri Maps for SharePoint は、ポータル・コラボレーションとして様々な情報を横断的にやり取りし、組織や部署、チームなどのワークフローの情報交換や意思決定を促進する Microsoft SharePoint に GIS を組み込み、SharePoint リストに含まれる位置情報を GIS 機能を配置した SharePoint Web ページですぐに可視化・空間的な分析をすることが、開発することなくすぐに利用することができます。

本製品は、下記 5 つのコンポーネントから構成されています。

■ Map Web パーツ

SharePoint Web ページに配置できる、SharePoint リストやその他 GIS Web サービスを表示・分析することができる構成可能なマップの Web パーツです。HTML/JavaScript ベースおよび Microsoft Silverlight ベース、2 つのタイプの Map Web パーツを提供します。

■ Esri Maps Location フィールド

SharePoint リストに追加する、対話的なマップが組み込まれたカスタム フィールドです。これにより、リストの各アイテムの場所をマップで確認したり、マップから場所を修正したりする

ことが可能になります。

■ Esri Maps Locate ワークフロー

位置情報を持った SharePoint リストに対して、ジオコーディングやテーブル結合を行い、SharePoint リストを GIS データ化するワークフローです。

■ Esri Maps Connect ワークフロー

他の SQL Server（または SQL Server Express）に含まれる位置情報を持った外部データのテーブル情報を Business Connectivity Service により取得して、Esri Maps Locate ワークフローを実行し、GIS データ化した SharePoint リストとして活用することを可能にするワークフローです。たとえば、営業部門が顧客管理のために CRM など活用する外部データも、Esri Maps for SharePoint でマップに可視化・分析することができます。

基礎知識

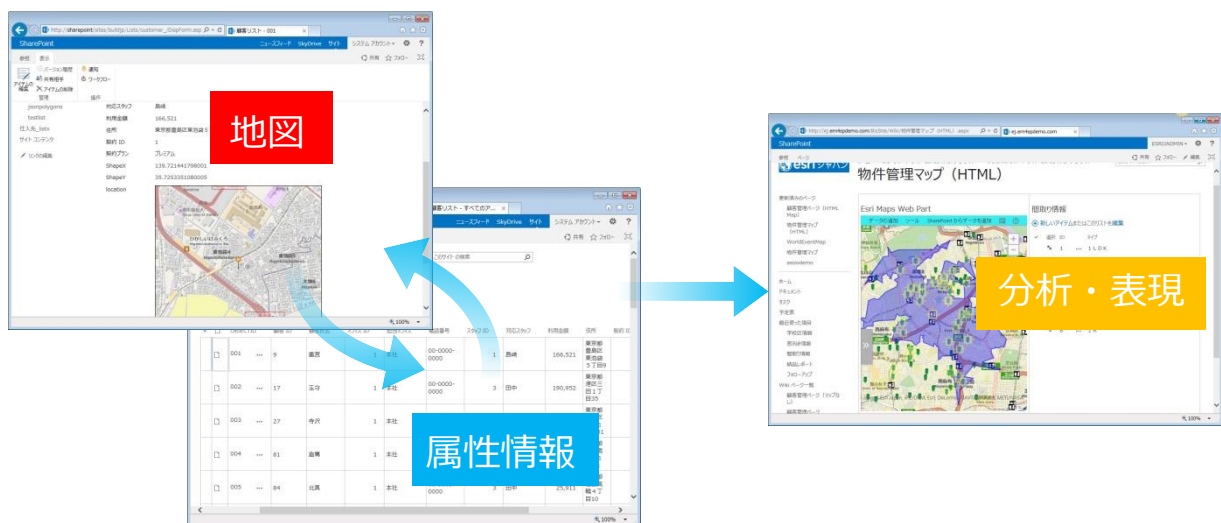
GIS

GIS は、位置情報（位置に関連付けられた様々な情報）を可視化、作成、加工、管理、分析、共有するための情報技術を指します。

GIS では、世の中の情報を「位置」をキーにして統合して扱います。そうすることにより地図で空間的に可視化し、さらに分析することで、今までになかった情報を発見することができるようになります。

GIS のデータは、通常地図上に表現する図形データとその場所に関する属性情報（たとえば、人口、世帯数、平均年齢）をデータベースで管理されます。

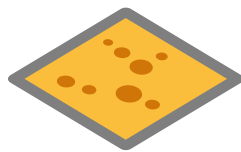
位置とそれらの情報を繋ぐことで、文字や数値情報を地図に可視化することができるようになります。たとえば、どのエリアにどの年齢の人口が多いかなどを把握することで、店舗開発や出店計画に役立てることができるようになります。



図形データの種類

GIS では、地球上にある地物をマップに表現するときの図形データの種類がいくつかあります。それは、「点」・「線」・「面」です。

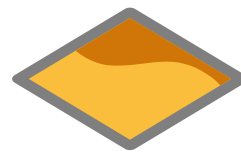
点（ポイント）の例として、事務所、顧客、駅などがあげられます。線（ライン）の例には道路、河川などがあります。面（ポリゴン）には、市区町村や町丁目などの行政区などがあります。これら、点・線・面の図形としてデータ化された情報を「フィーチャ」と呼びます。



点（ポイント）



線（ライン）

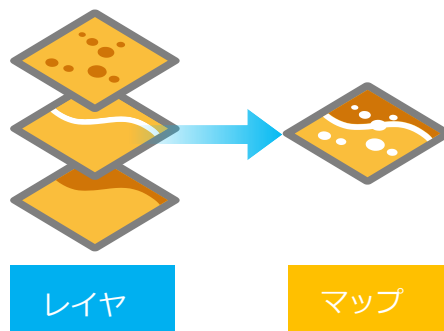


面（ポリゴン）

顧客、店舗、住宅、駅 道路、河川、電線、水道管 土地区画、町丁目界、土地

GIS での基本ルールとして、道路・建物・鉄道駅などの地物ごとにデータを管理します。これらの中から必要なデータを重ね合わせて、各種データとの関連性の分析などを行います。

GIS では様々なデータを何層にも重ね合わせて利用します。これらのデータの層を「レイヤ」と呼び、一つ以上のレイヤが重ねられた状態を「マップ」と呼びます。



データの重ね合わせができるのは、GIS データが位置情報を持っているためです。緯度・経度やその他座標系の XY 座標値により、地球上の「どこ」にある情報なのかを正確に特定することができます。

「位置」をキーに、様々なデータの重ね合わせができることが、GIS の大きな特徴です。

マップを活用した SharePoint Web ページの作成

動作環境

本製品を利用する場合、必ず ArcGIS Online 組織向けプランの契約が必要です。(評価の場合、ArcGIS Online 組織向けプラン 30 日間無償トライアルを利用)

Esri Maps for SharePoint は、Microsoft SharePoint Server 2010 および 2013 で利用可能な製品です。また、Foundation, Server Standard, Server Enterprise というそれぞれのエディションで利用することが可能です。

最新の動作環境については、下記をご参照ください。

Esri Maps for SharePoint 動作環境 :

<http://www.esri.com/products/arcgis/online/esri-maps-for-sharepoint/environments>

クライアント環境としましては、Microsoft SharePoint Server がサポートするブラウザが必要です。詳細は各 SharePoint の「ブラウザーサポートを計画する」をご参照ください。

SharePoint 2013 でブラウザー サポートを計画する :

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc263526.aspx>

SharePoint 2013 でブラウザー サポートを計画する :

[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc263526\(v=office.14\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc263526(v=office.14).aspx)

なお、一部コンポーネントには Microsoft Silverlight プラグインが必要です。Microsoft Silverlight と互換性のあるブラウザの情報および Microsoft Silverlight の最新バージョンについては、下記リンクをご参照ください。

<http://www.microsoft.com/getsilverlight/Get-Started/Install/Default.aspx>

Esri Maps for SharePoint のインストール

Esri Maps for SharePoint を SharePoint で利用するには、はじめにインストーラを入手する必要があります。以下の手順に従い、ダウンロード サイトから Esri Maps for SharePoint をダウンロードしてください。

Esri Maps for SharePoint は、ArcGIS Online 組織向けプランの契約と Esri Maps for SharePoint を利用するユーザ分の ArcGIS Online 組織向けプランの指定ユーザ ライセンスをご購入いただく必要がありますので、ご注意ください。

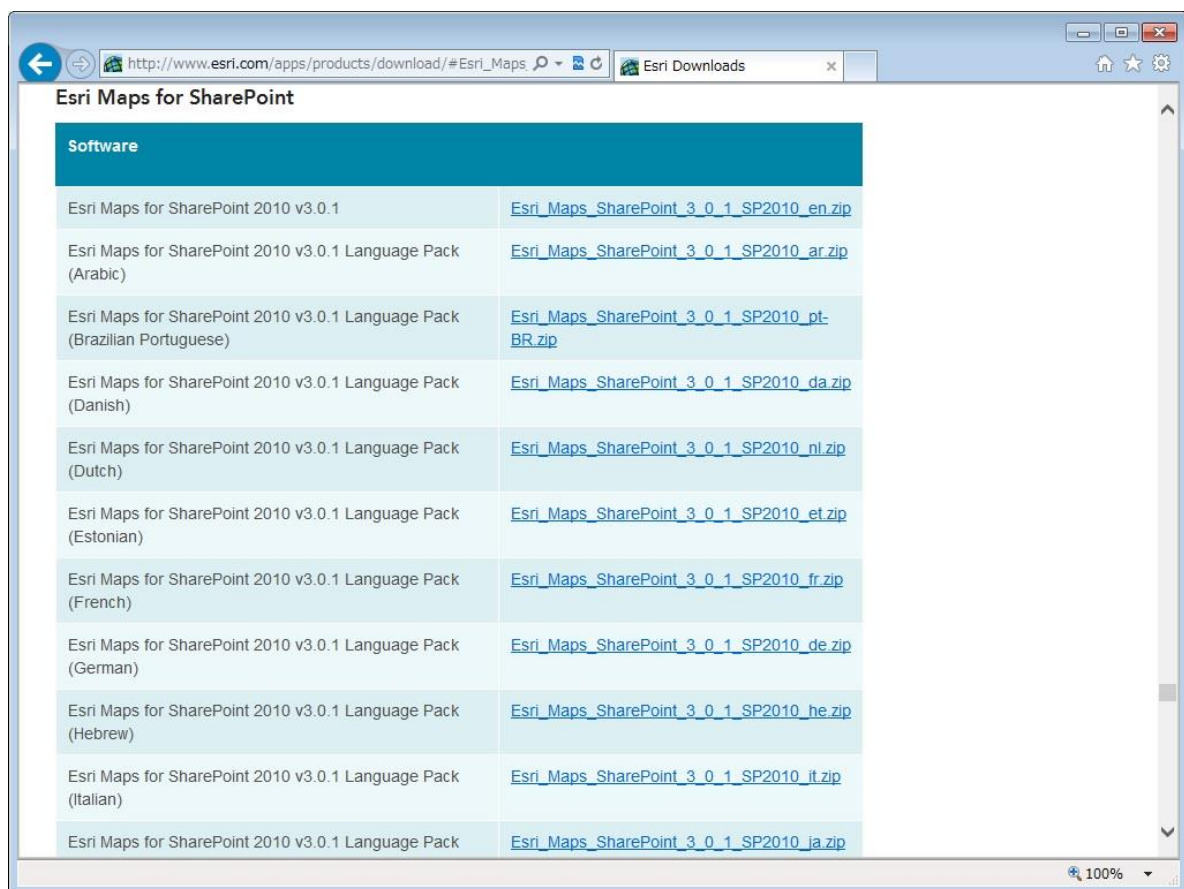
ArcGIS Online 組織向けプランについては、下記リンクをご参照ください。

<http://www.esri.com/products/arcgis/online/arcgis-online/details/organization/>

1. 下記リンクをクリックし、Esri Maps for SharePoint のセットアップ ファイルのリストを表示します。

Esri Maps for SharePoint のダウンロード ページ :

http://www.esri.com/apps/products/download/#Esri_Maps_for_SharePoint



2. インストールする SharePoint Server のバージョンに応じて下記のいずれかのリンクをクリックします。(Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP<利用している SharePoint のバージョン>_en.zip)

- Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP2010_en.zip (SharePoint Server 2010 を利用の場合)
- Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP2013_en.zip (SharePoint Server 2013 を利用の場合)

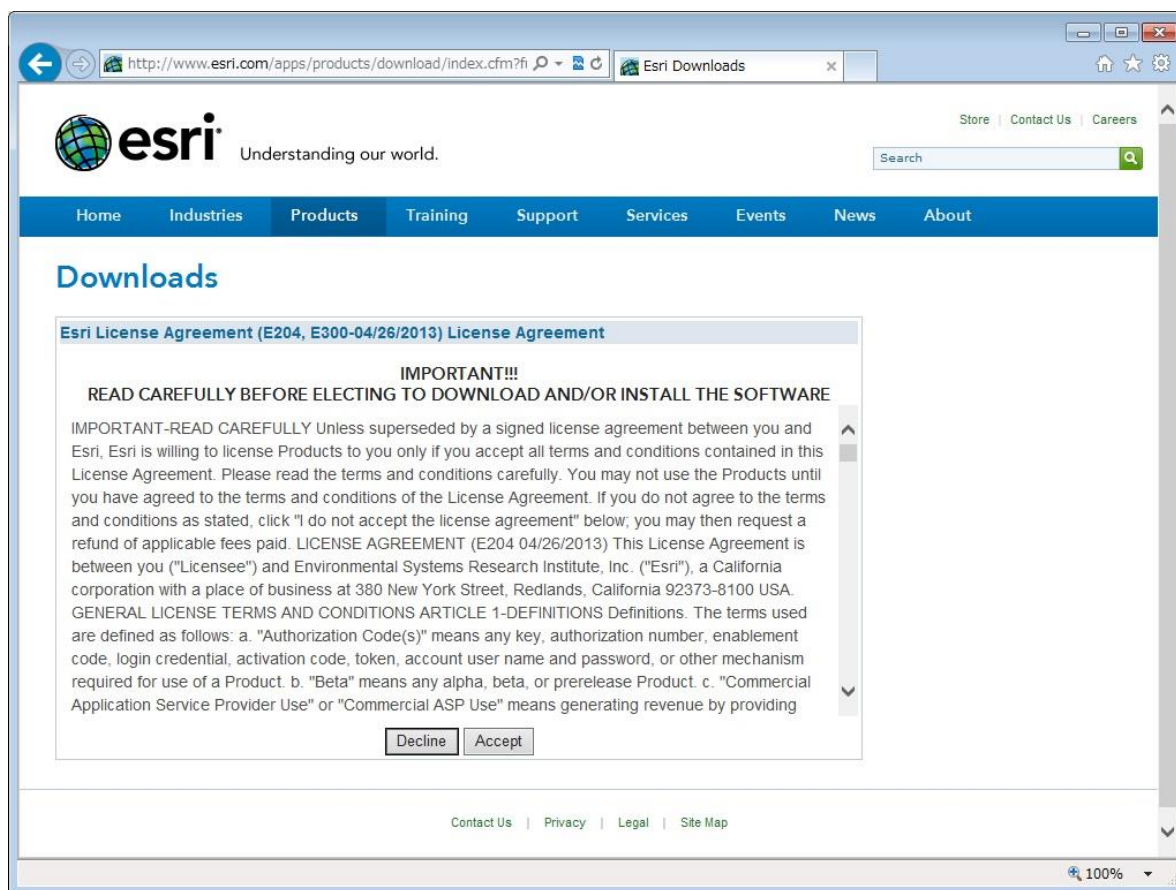
ここで、“en” と英語版を表しますが、Esri Maps for SharePoint はこの英語版ソリューションに日本語化ソリューションファイルを適用することで、日本語化することができます。

3. サイン イン要求のページが表示される場合は、Esri グローバル アカウントでサイン インを行います。

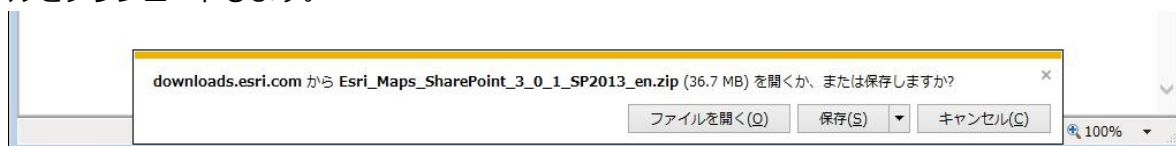
4. ダウンロード ページが表示されます。ファイルのリンクをクリックします。

Location	Download
HTTP - Redlands CA USA	Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP2013_en.zip

5. ライセンス使用許諾条項が表示されるので、同意する場合は、ページ下部の [Accept] をクリックし、ダウンロードを開始します。



このとき、ページ下部にダイアログが表示された場合は、[保存] をクリックし、セットアップ ファイルをダウンロードします。



Web ブラウザによって、ダイアログが表示は異なります。

- 次に Esri Maps for SharePoint の日本語化ソリューション パッケージをダウンロードします。セットアップ ファイルのリストページに戻ります。

Esri Maps for SharePoint のダウンロード ページ :

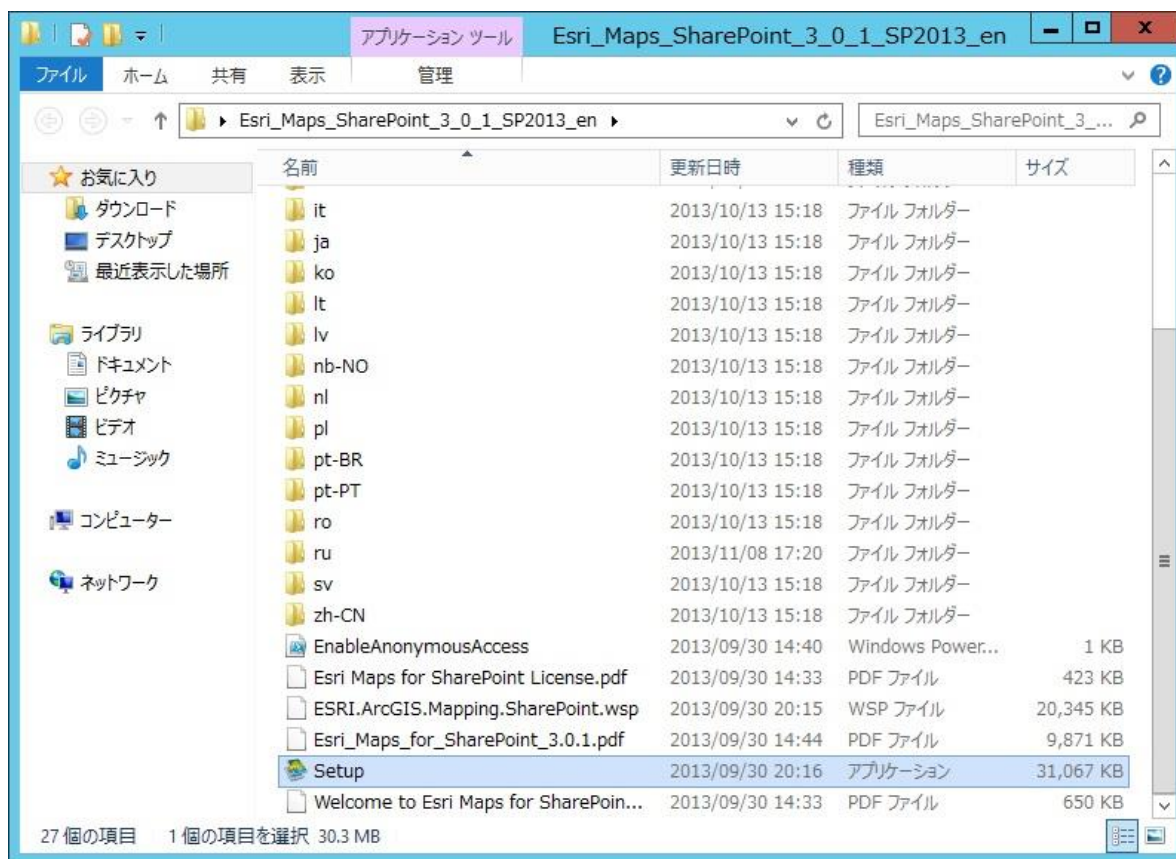
http://www.esri.com/apps/products/download/#Esri_Maps_for_SharePoint

- SharePoint Server のバージョンに応じて下記のいずれかの対象のリンクをクリックします。

- Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP2010_ja.zip (SharePoint Server 2010 を利用の場合)
- Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP2013_ja.zip (SharePoint Server 2013 を利用の場合)

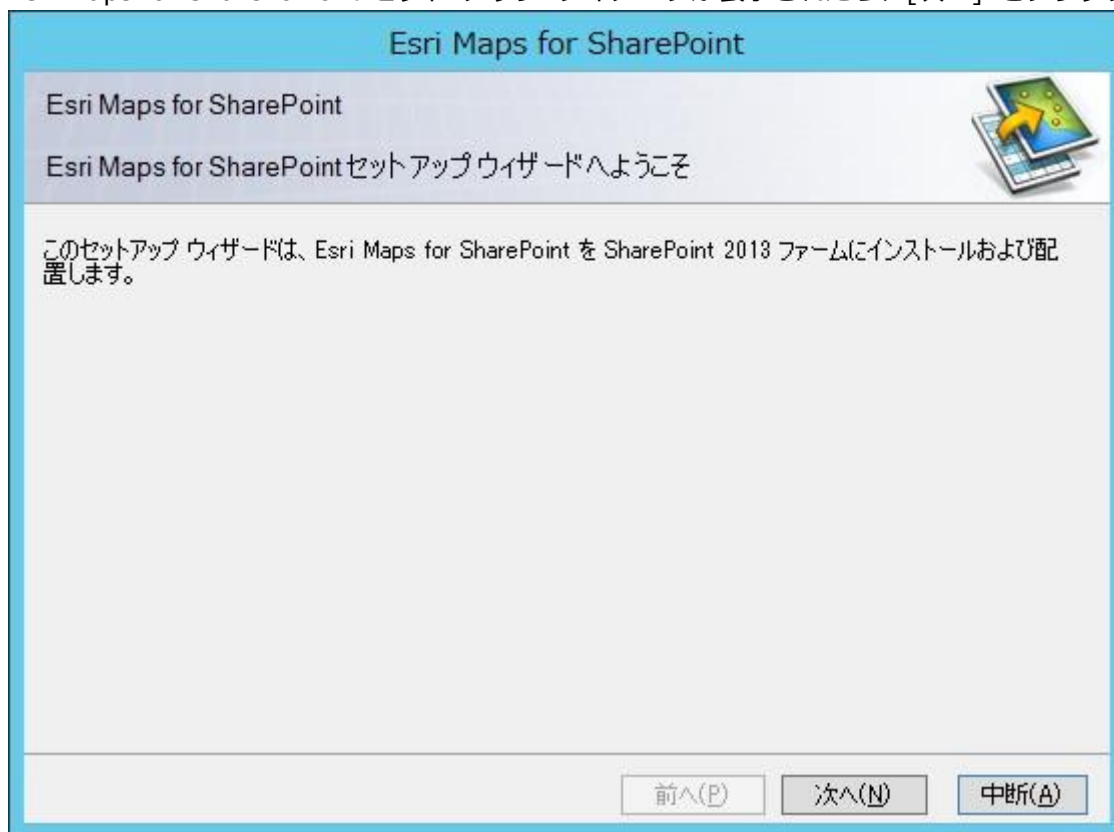
- 先の手順 4,5 と同様にダウンロードします。

- SharePoint がセットアップされているサーバで、ダウンロードした 英語版の Esri Maps for SharePoint のセットアップの圧縮ファイルを展開し、セットアップ プログラムを実行します。

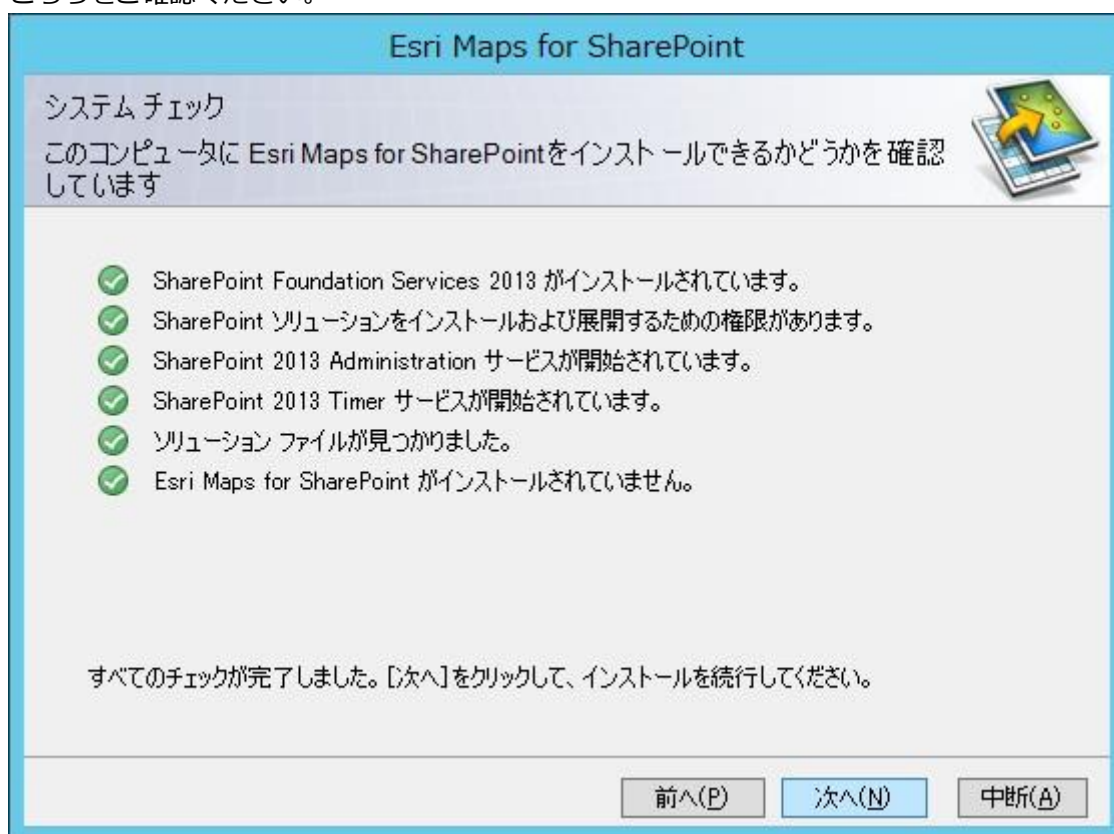


セットアップ ファイルを実行するアカウントは、サーバの管理者権限および SharePoint をインストールしたアカウントである必要があります。

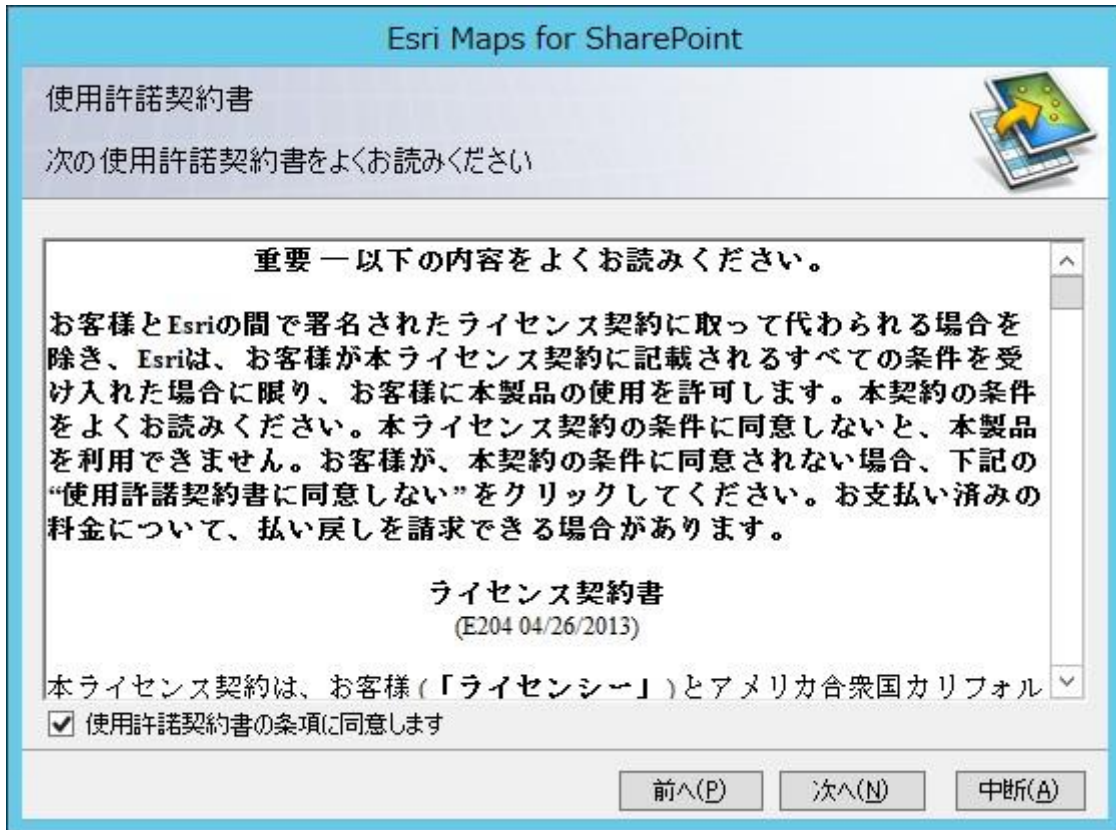
10. Esri Maps for SharePoint のセット アップ ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。



11. 前提条件がすべて満たされていれば、[次へ] をクリックします。前提条件が満たしていない場合は、こちらをご確認ください。



12. 使用許諾契約書に同意する場合は、[使用許諾契約書に同意します] にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



Esri Maps for SharePoint

使用許諾契約書

次の使用許諾契約書をよくお読みください

重要 — 以下の内容をよくお読みください。

お客様とEsriの間で署名されたライセンス契約に取って代わられる場合を除き、Esriは、お客様が本ライセンス契約に記載されるすべての条件を受け入れた場合に限り、お客様に本製品の使用を許可します。本契約の条件をよくお読みください。本ライセンス契約の条件に同意しないと、本製品を利用できません。お客様が、本契約の条件に同意されない場合、下記の“使用許諾契約書に同意しない”をクリックしてください。お支払い済みの料金について、払い戻しを請求できる場合があります。

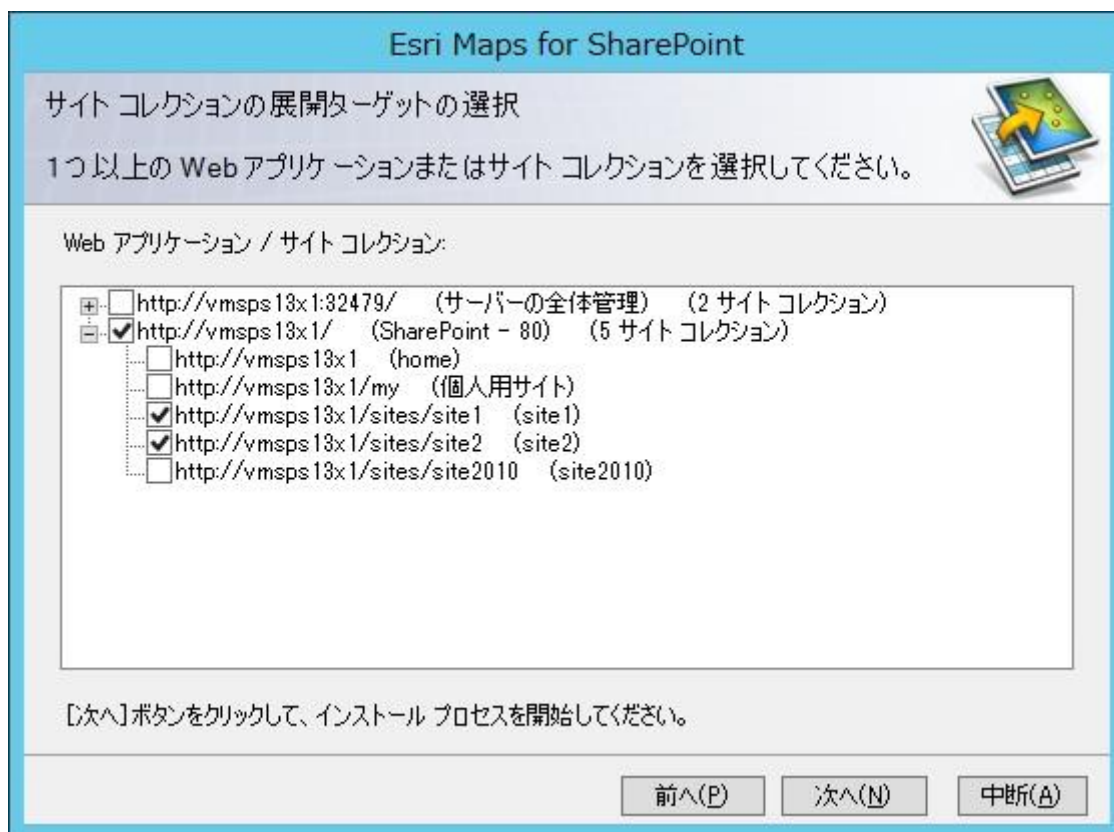
ライセンス契約書
(E204 04/26/2013)

本ライセンス契約は、お客様（「ライセンシー」）とアメリカ合衆国カリフォル

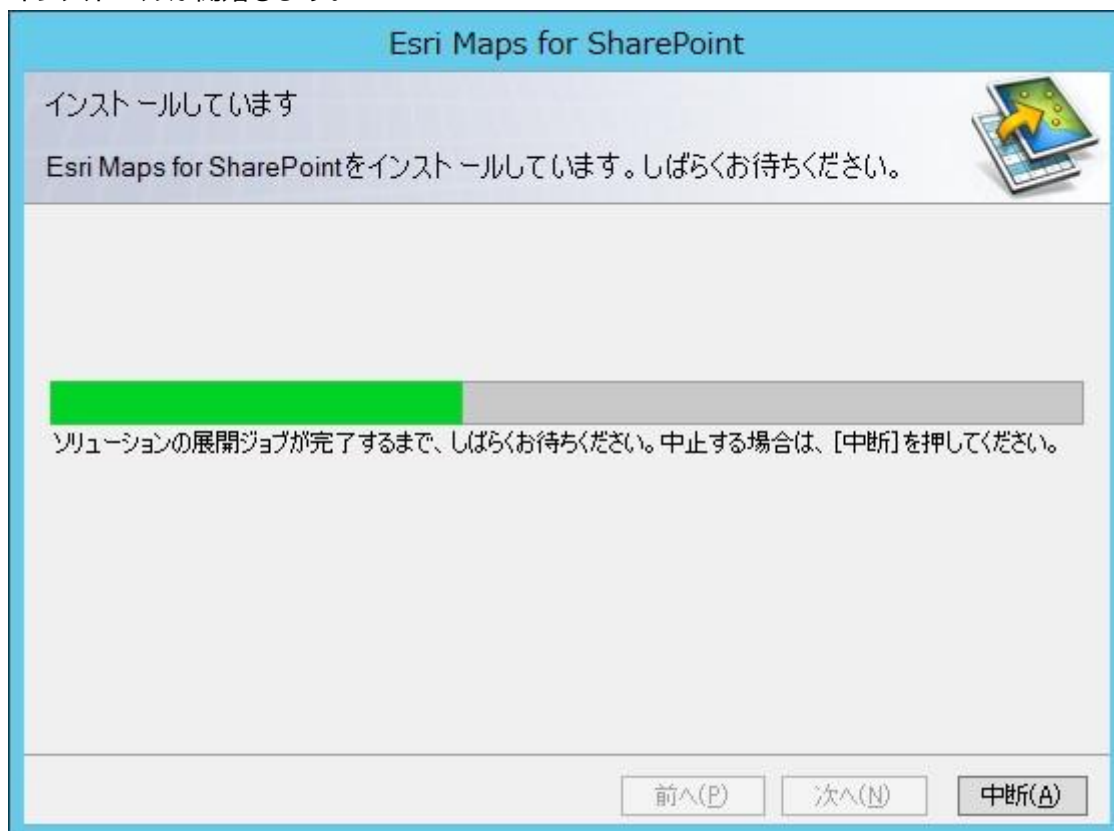
☒ 使用許諾契約書の条項に同意します

前へ(P) 次へ(N) 中断(A)

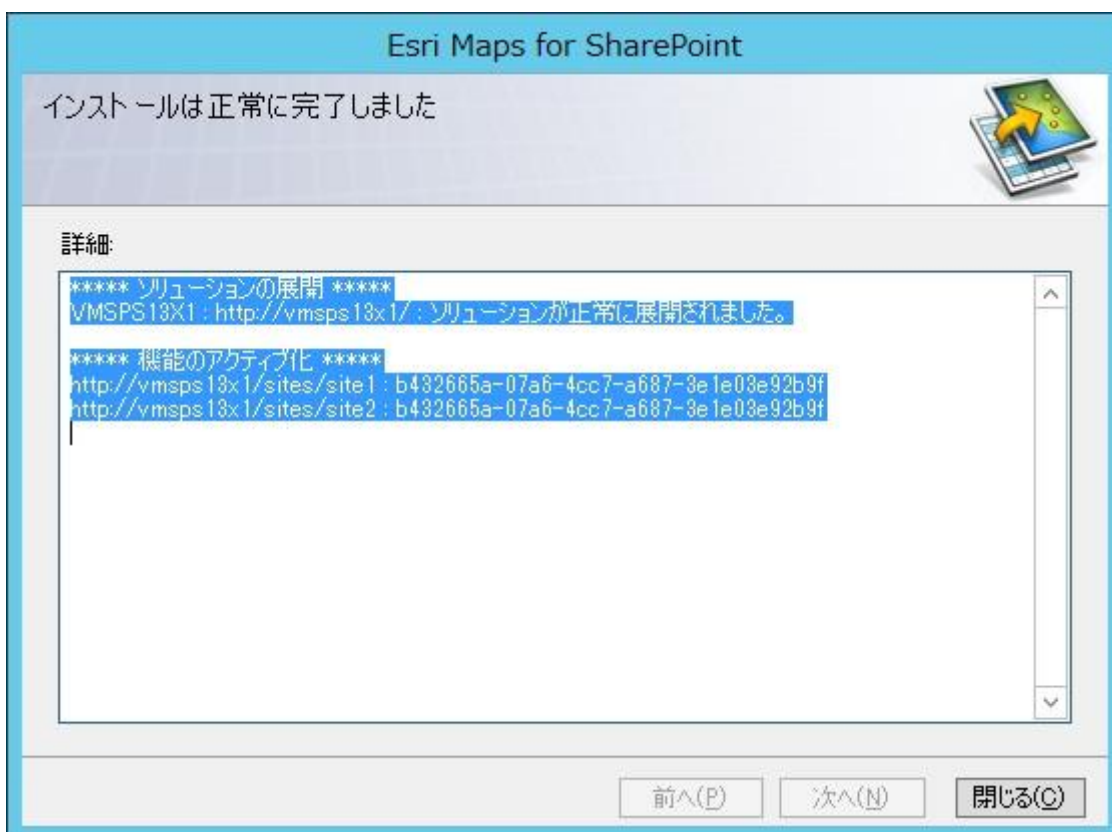
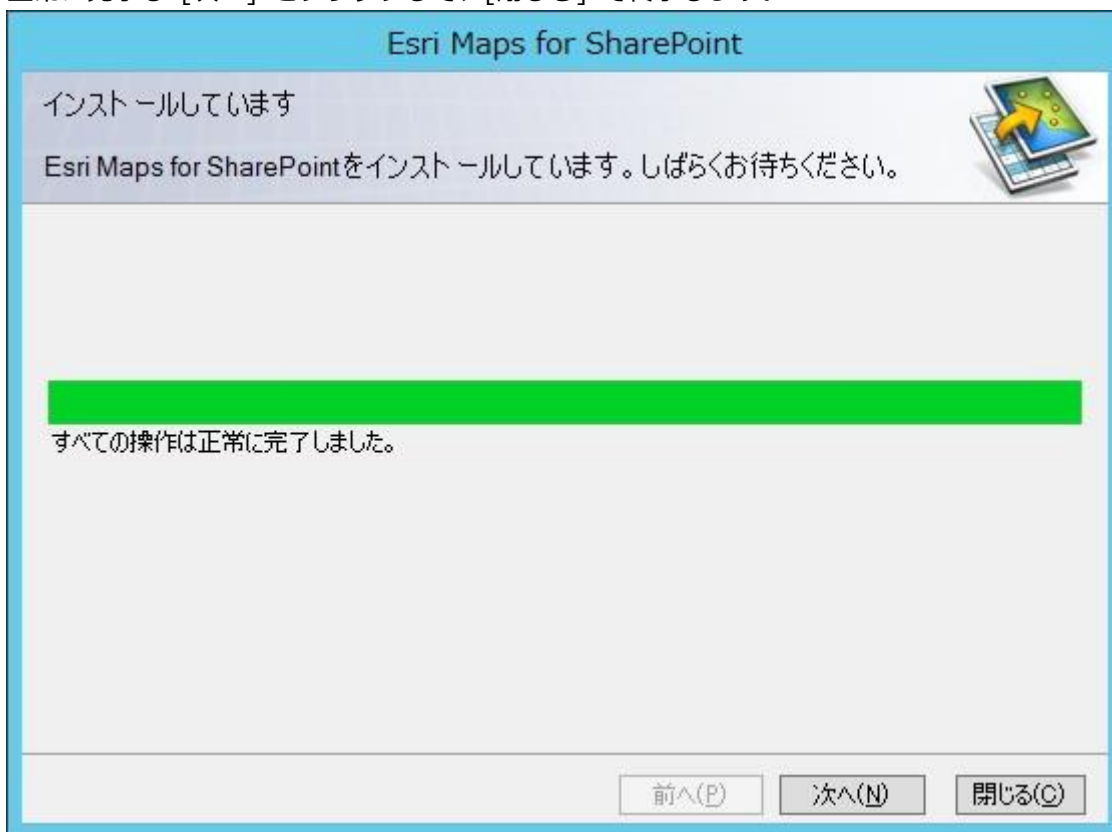
13. Esri Maps for SharePoint を利用する（Esri Maps for SharePoint ソリューションを配置する）サイトコレクションを選択して、[次へ] をクリックします。



14. インストールが開始します。



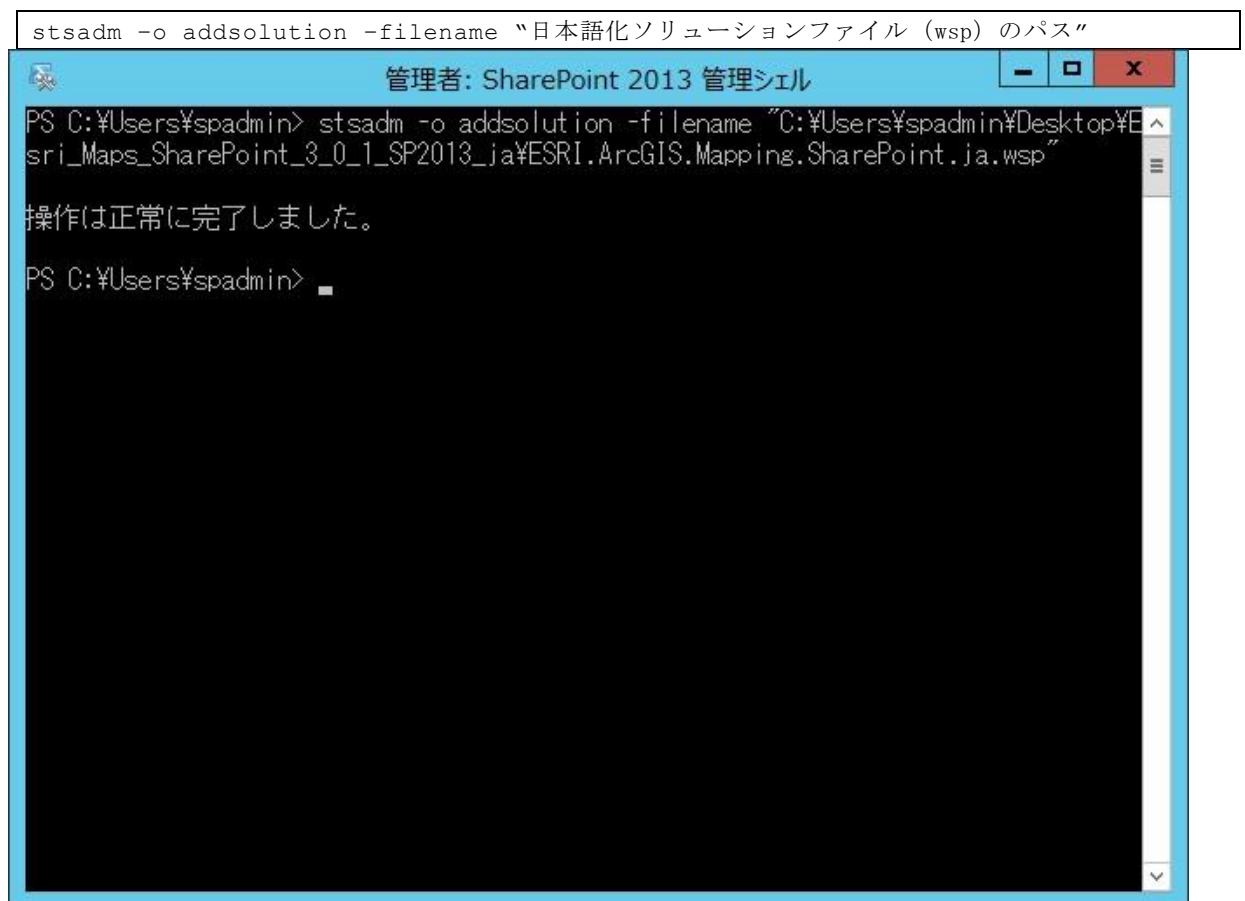
15. 正常に完了し [次へ] をクリックして、[閉じる] で終了します。



日本語化ソリューションの適用

次に Esri Maps for SharePoint ソリューションの日本語化ソリューションを展開します。

1. Esri Maps for SharePoint のセットアップ (ex. Esri_Maps_SharePoint_3_0_1_SP<利用している SharePoint のバージョン>_ja.zip) の圧縮ファイルを展開します。下記の日本語化ソリューション ファイルを確認します。
 - ESRI.ArcGIS.Mapping.SharePoint.ja.wsp
2. [SharePoint Administratrion] サービスおよび [SharePoint Timer] サービスが開始していることを確認します。停止している場合は、開始します。
3. [すべてのプログラム]→[SharePoint 2010 (もしくは 2013) 製品] ディレクトリを開き、[SharePoint 管理シェル] (Windows Server 2012 を利用している場合は、スタート画面から [SharePoint 管理シェル]) を実行します。もし、ユーザ アカウント制御が有効の場合は、管理者権限で実行します。
4. [SharePoint 管理シェル] で下記コマンドを実行します。



コマンド プロンプトを利用する場合は、下記ディレクトリに移動後、上記コマンドを実行します。

SharePoint 2010 の場合 : "C:\Program Files\Common Files\microsoft shared\Web Server Extensions\14\BIN"

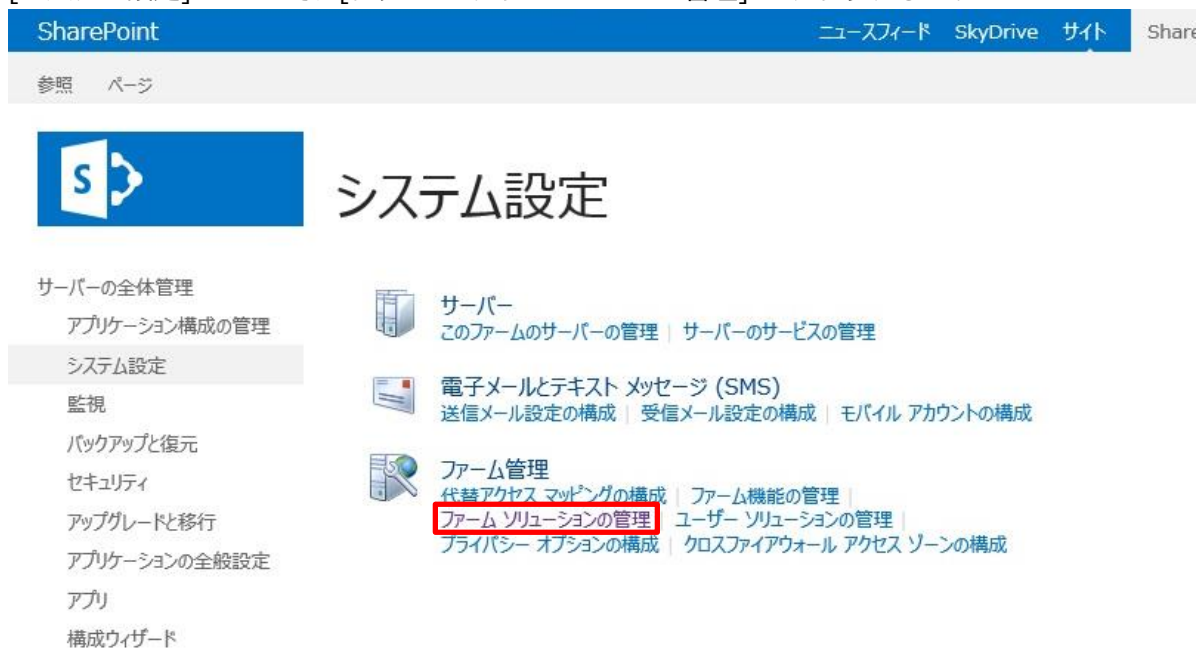
SharePoint 2013 の場合 : “C:¥Program Files¥Common Files¥microsoft shared¥Web Server Extensions¥15¥BIN”

5. 完了すれば、SharePoint 全体管理サイトを開きます。

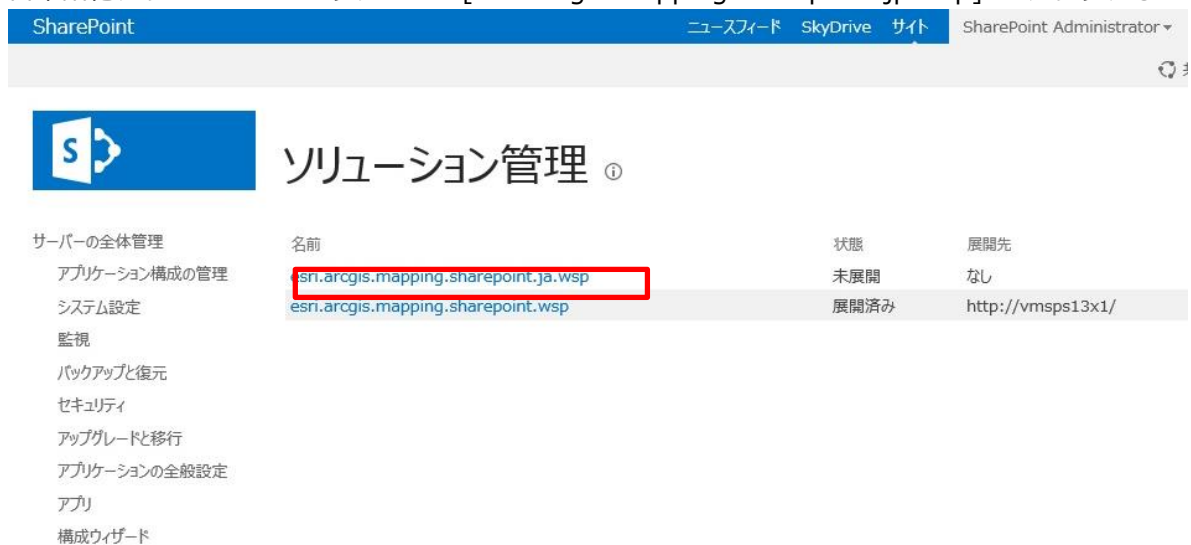
[すべてのプログラム]→[SharePoint 2010(もしくは 2013)製品] ディレクトリを開き、[SharePoint サーバーの全体管理] をクリックします。(Windows Server 2012 の場合、スタート画面から、[SharePoint サーバーの全体管理] を検索し、実行します。)

6. [システム設定] メニューをクリックします。

7. [システム設定] ページで、[ファーム ソリューションの管理] をクリックします。



8. 日本語化ソリューションパッケージ [esri.arcgis.mapping.sharepoint.jp.wsp] をクリックします。



9. [ソリューションの展開] をクリックします。



SharePoint ニュースフィード SkyDrive サイト

ソリューションのプロパティ

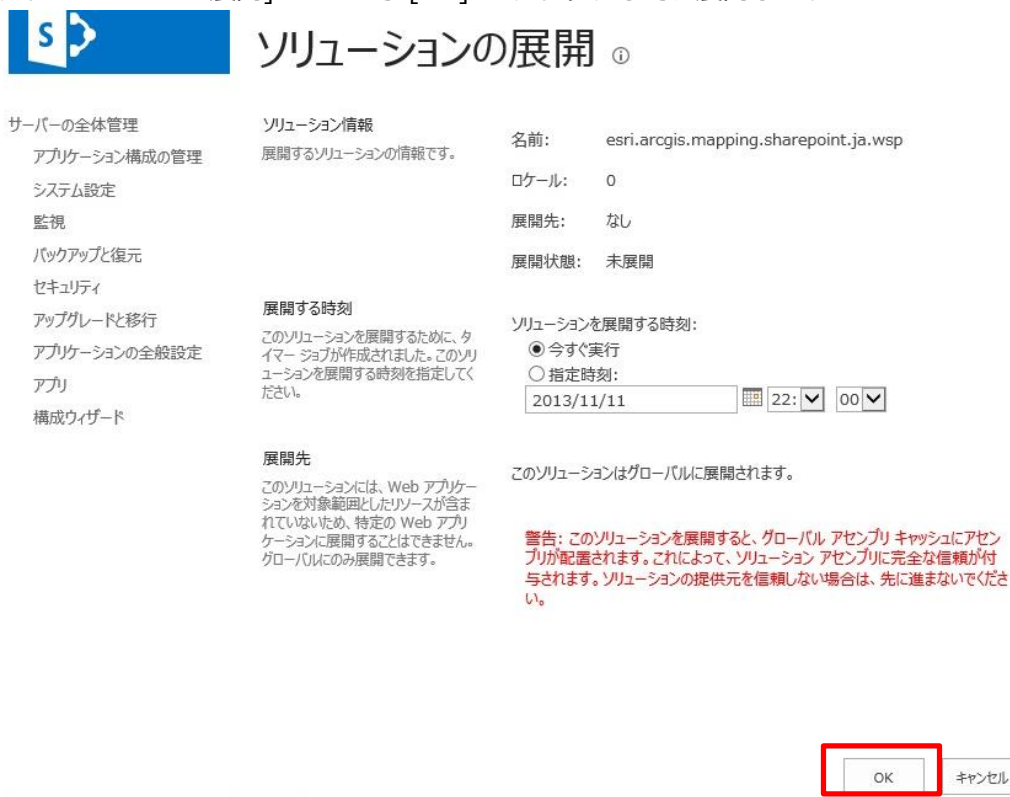
サーバーの全体管理

- アプリケーション構成の管理
- システム設定
- 監視
- バックアップと復元
- セキュリティ
- アップグレードと移行
- アプリケーションの全般設定
- アプリ
- 構成ウィザード

ソリューションの展開 | ソリューションの削除 | ソリューションに戻る

名前:	esri.arcgis.mapping.sharepoint.ja.wsp
種類:	コア ソリューション
Web アプリケーション リソースを含む:	いいえ
グローバル アセンブリを含む:	はい
コード アクセス セキュリティ ポリシーを含む:	いいえ
展開先サーバーの種類:	フロントエンド Web サーバー
展開状態:	未展開
展開先:	なし
最終処理の結果:	ソリューションで処理が実行されませんでした。

10. [ソリューションの展開] ページで [OK] をクリックして、展開します。



ソリューションの展開 ⓘ

サーバーの全体管理

- アプリケーション構成の管理
- システム設定
- 監視
- バックアップと復元
- セキュリティ
- アップグレードと移行
- アプリケーションの全般設定
- アプリ
- 構成ウィザード

ソリューション情報

展開するソリューションの情報です。

名前:	esri.arcgis.mapping.sharepoint.ja.wsp
ロケール:	0
展開先:	なし
展開状態:	未展開

展開する時刻

このソリューションを展開するために、タイマー ジョブが作成されました。このソリューションを展開する時刻を指定してください。

ソリューションを展開する時刻:

☒ 今すぐ実行
☐ 指定時刻:
 2013/11/11 22:00

展開先

このソリューションには、Web アプリケーションを対象範囲としたリソースが含まれていないため、特定の Web アプリケーションに展開することはできません。グローバルのみ展開できます。

このソリューションはグローバルに展開されます。

警告: このソリューションを展開すると、グローバル アセンブリ キャッシュにアセンブリが配置されます。これによって、ソリューション アセンブリに完全な信頼が付与されます。ソリューションの提供元を信頼しない場合は、先に進まないでください。

OK キャンセル

11. 展開完了後、コマンド プロンプトで下記コマンドを実行し、IIS Web サーバを再起動します。

```
iisreset
```

注意：この時点で、すでに配置済みの ArcGIS Map Web パーツがある場合は、日本語化ソリューションは適用されません。再度 Web パーツを追加し Web ページを構成し直す必要があります。

インストールを完了すると、各サイトの [サイトの設定] に [Esri Maps for SharePoint 管理] メニューが追加され、Esri Maps for SharePoint の構成を行うことができます。構成は各サイト トップより下の階層に対して適用されます。

Esri Maps for SharePoint の構成について

Esri Maps for SharePoint の管理では、Esri Maps for SharePoint のコンポーネントに対して、以下の項目の構成を行うことができます。

- ベースマップ
- 接続
- ロケータ
- シンボル
- エクステンション
- 構成設定

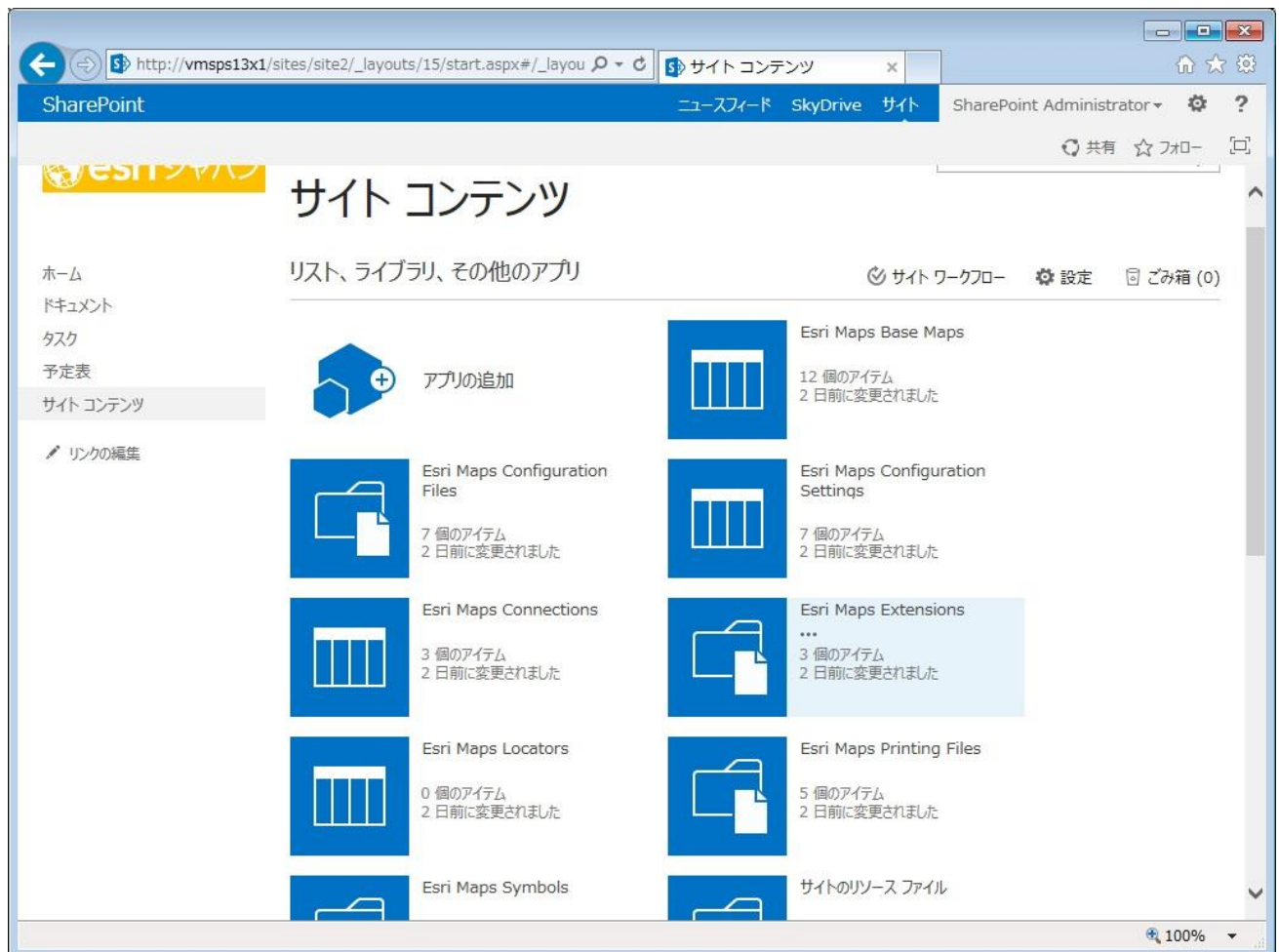


各項目に関して設定する場合、それぞれに関する設定ファイル（ライブラリ・リスト）を更新します。
各項目に関する設定ライブラリおよびリストは下記のようになります。

- ベースマップ : Esri Maps Base Maps リスト
このリストには、ArcGIS Map Web パーツで利用するベースマップに関するリストです。
Bing Maps のベースマップを利用する場合、Bing Maps キーを別途取得し、設定する（後述の Esri Maps Configuration Settings リスト）必要があります。
- 接続 : Esri Maps Connections リスト
このリストは、ArcGIS Maps Web パーツでレイヤとして追加するサービスやデータの参照先を設定します。（ArcGIS for Server、Spatial Data Server、SharePoint Server の参照先を追加することができます。）
- ロケータ : Esri Maps Locators リスト
このリストは、前のバージョンから引き継がれたリストです。本ソリューションには直接利用することはありません。
- シンボル : Esri Maps Symbols ライブラリ
このライブラリは、ArcGIS Map Web パーツで利用できる、フィーチャのシンボル スタイルを管理します。
- エクステンション : Esri Maps Extensions ライブラリ
このライブラリは、ArcGIS Map Web パーツに追加して利用することができるカスタムのツールやビヘイビアーを管理するライブラリです。独自に開発したツールやビヘイビアーを追加して、ArcGIS Map Web パーツを拡張することが可能です。
- 構成設定 : Esri Maps Configuration Settings リスト
このリストは、主に Esri Maps Web パーツに適用されます。Esri Maps Web パーツの JavaScript ファイルを配信する Web サーバの URL や ArcGIS Online URL などを設定することができます。加えて、下記アイテムは ArcGIS Map Web パーツで利用するため設定になります。
 - ✓ BingKey : ベースマップで Bing マップを利用する際の、Bing Maps キーを設定するアイテムです。
 - ✓ GeometryService : 近傍検索機能などで利用される ArcGIS Server Geometry Service を指定するアイテムです。（ただし、現在 ArcGIS for Server 10.1 以降の Geometry Service には対応しておりません。）

各構成に関する詳細は、下記リンクをご参照ください。

- Web パーツの構成オプション :
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/configuration-options.htm>
- Map Web パーツの構成（ページ左のナビゲーション メニュー） :
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/about-the-arcgis-map-web-part.htm>



そのほか、Esri Maps Configuration Files ライブラリの ArcGIS Map Web パーツや Esri Maps for Location フィールドに関するファイル、Esri Maps Printing Files ライブラリの ArcGIS Map Web パーツの簡易印刷機能レイアウトに関するファイルを必要に応じて変更します。

SharePoint リストの活用サイトの作成

以下の手順では、Esri Maps for SharePoint を利用した SharePoint Web ページを作成します。
Esri Maps for SharePoint の主要コンポーネントの [Esri Maps Locate ワークフロー] で SharePoint リストをジオコーディングやテーブル結合し、Map Web パーツに表示します。

位置情報を含む SharePoint リストの作成

Esri Maps for SharePoint で扱える SharePoint のリストは下記のようになっています。

1. 住所列（都道府県名、郡名、市区町村名等のみの列も含む）を持つ SharePoint リスト
2. 緯度/経度 の列を持つ SharePoint リスト
3. カスタム位置情報を持つ SharePoint リスト

カスタム位置情報として定義されたポリゴンやラインと関連付けられる SharePoint リストです。

本スタートアップ ガイドでは、最も基本となる上記 1 の住所の列（たとえば、「東京都千代田区平河町 2-7-1」や「千代田区平河町 2-7-1」）を持った SharePoint リストを対象とします。

住所録のサンプルデータ（エクセル ファイル）は、本ドキュメントと同梱して提供しています。（ファイル名：sampledata_sp.xlsx）

エクセルから SharePoint リストを作成する方法については、下記リンク「[エクセルのスプレッドシートをインポート](#)」して SharePoint リストを作成してください。

<https://support.office.com/en-us/article/SharePoint-lists-III-Create-a-list-based-on-a-spreadsheet-d5617da1-5229-4644-addb-a6c6fcee46a8?CTT=1&CorrelationId=8c8cb1c2-bb10-4413-ba9c-17b4b5448d6c&ui=en-US&rs=en-US&ad=US>

なお、SharePoint リストを独自に作成される場合は、下記をご参照ください。

- ✓ SharePoint リスト I: 概要
<https://support.office.com/en-us/article/SharePoint-lists-I-An-introduction-f11cd5fe-bc87-4f9e-9bfe-bbd87a22a194?CTT=1&CorrelationId=9163e7f5-c6a9-4f33-9a42-1c34d641029f&ui=en-US&rs=en-US&ad=US>
- ✓ SharePoint リスト II: さまざまなリストを作成および操作する
<https://support.office.com/en-us/article/SharePoint-lists-II-Create-and-work-with-diffe>

[rent-lists-794ac0bf-47b7-4c76-ae1a-2950b773cf53?CTT=1&CorrelationId=95e31afe-3b11-4165-b252-37a86dd63e8f&ui=en-US&rs=en-US&ad=US](https://support.office.com/en-us/article/SharePoint-lists-III-Create-a-list-based-on-a-spreadsheet-d5617da1-5229-4644-addb-a6c6fcee46a8?CTT=1&CorrelationId=95e31afe-3b11-4165-b252-37a86dd63e8f&ui=en-US&rs=en-US&ad=US)

- ✓ SharePoint リスト III: スプレッドシートに基づいてリストを作成する

<https://support.office.com/en-us/article/SharePoint-lists-III-Create-a-list-based-on-a-spreadsheet-d5617da1-5229-4644-addb-a6c6fcee46a8?CTT=1&CorrelationId=8c8cb1c2-bb10-4413-ba9c-17b4b5448d6c&ui=en-US&rs=en-US&ad=US>

そのほか、SharePoint リストの利用方法については、下記をご参照ください。

1. 住所列（都道府県名、郡名、市区町村名等のみの列も含む）を持つ SharePoint リスト：

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/add-lists-containing-address-data.htm>

（通常 ArcGIS Online のワールド ジオコーディング サービスを利用する場合、SharePoint リストはポイントのデータとして利用します。もし都道府県、市区町村界などのポリゴンで表現する場合は、「[トピック：カスタム位置情報を用いた、Esri Locate ワークフロー](#)」をご参照ください。）

2. 緯度/経度 の列を持つ SharePoint リスト

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/add-lists-containing-coordinate-data.htm>

3. カスタム位置情報を持つ SharePoint リスト

「[トピック：カスタム位置情報を用いた、Esri Locate ワークフロー](#)」をご参照ください。

Esri Maps Locate ワークフローの実行

SharePoint リストを GIS データ化（GIS データ化とは、SharePoint リストに緯度 / 経度や Shape (Geometry (図形)) を示す JSON 文字列：

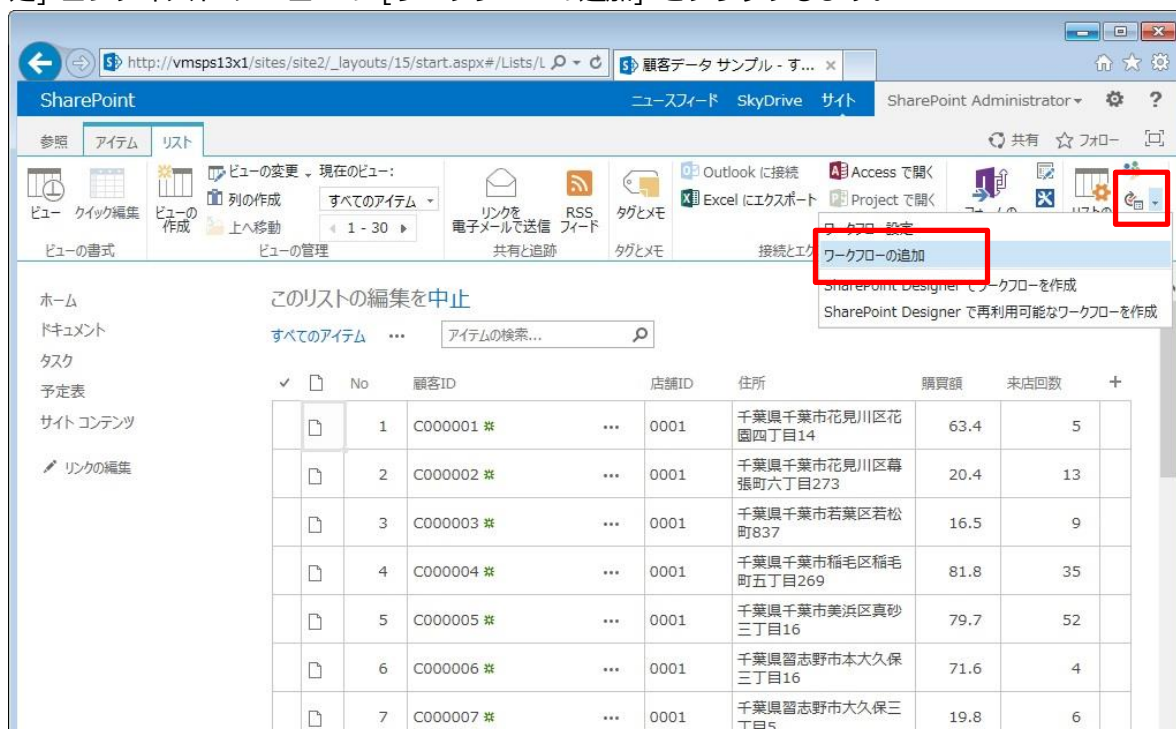
<http://resources.arcgis.com/en/help/rest/apiref/geometry.html>) を含めることを指します。) するために、Esri Maps Locate ワークフローを実行します。Esri Maps Locate ワークフローは、リストの各アイテムそれぞれに対して、ジオコーディングやテーブル結合を自動で行うワークフローです。以下のその手順を説明します。

ワークフローでは ArcGIS Online ワールド ジオコーディング サービスを利用します。その際、クレジットが消費されます。（サンプルデータ 653 件で、30 クレジット消費されます。消費クレジットについては下記のリンクをご参照ください。）

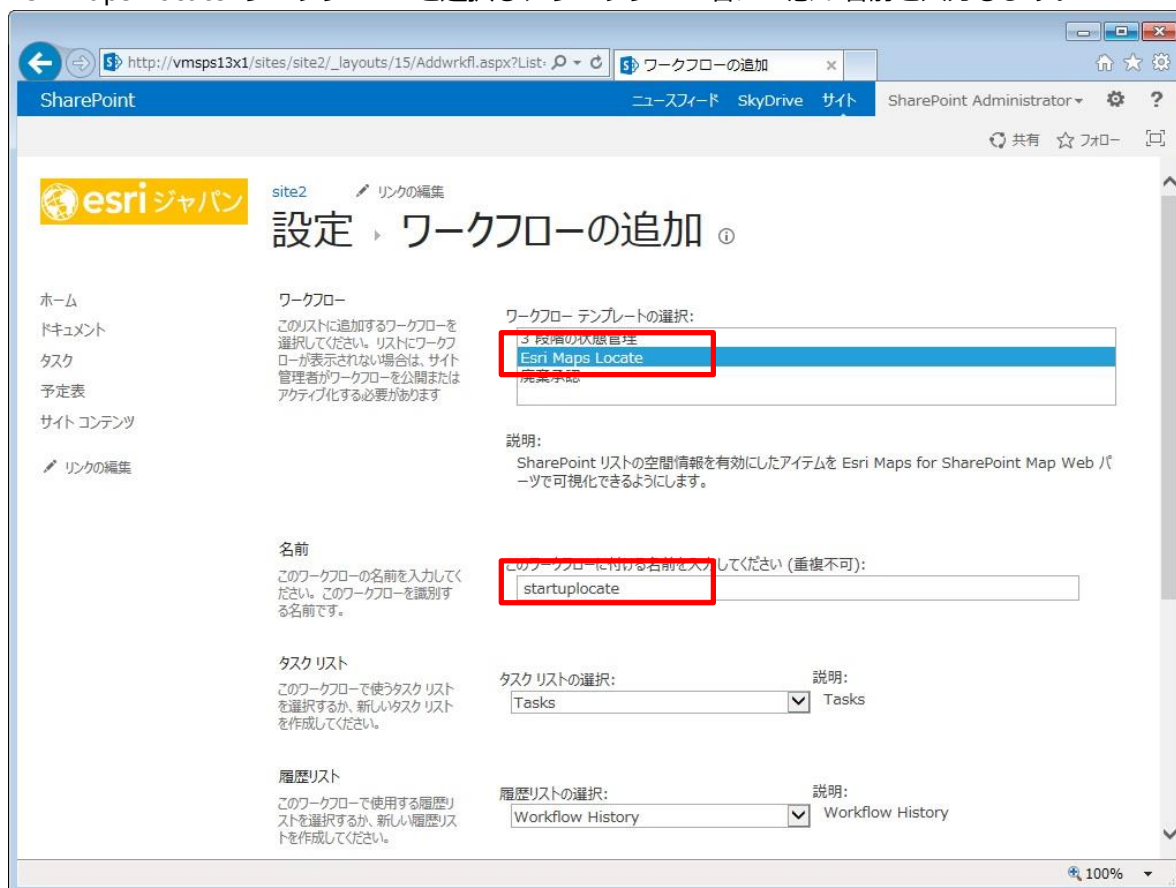
ArcGIS Online での消費クレジットについて

<http://www.esri.com/products/arcgis/online/arcgis-online/prices/>

1. 住所列を持った SharePoint リストを開き、リボン メニュー [設定] グループの [ワークフローの設定] コンテキスト メニューの [ワークフローの追加] をクリックします。



2. Esri Maps Locate ワークフロー を選択し、ワークフロー名に一意の名前を入力します。



3. ワークフローの開始の条件を必要に応じて設定します。設定後、[次へ] をクリックします。

名前
このワークフローの名前を入力してください。このワークフローを識別する名前です。

このワークフローに付ける名前を入力してください (重複不可):
startuplocate

タスク リスト
このワークフローで使うタスク リストを選択するか、新しいタスク リストを作成してください。

タスク リストの選択:
Tasks

説明:
Tasks

履歴リスト
このワークフローで使用する履歴 リストを選択するか、新しい履歴 リストを作成してください。

履歴リストの選択:
Workflow History

説明:
Workflow History

開始オプション
このワークフローを開始する方法を指定してください。

☒ アイテムの編集権限を持つ認証済みユーザーが、このワークフローを手動で開始できるようにする
☐ ワークフローの開始にリストの管理権限を要求する

☐ アイテムのメジャー バージョンの発行を承認するために、このワークフローを開始します。

☒ 新しいアイテムが作成されると、このワークフローが開始されます。

☒ アイテムが変更されると、このワークフローが開始されます。

次へ キャンセル

4. ArcGIS Online 組織アカウントを利用してサイン インします。

esri ジャパン site2 リンクの編集

このサイトの検索

ホーム
ドキュメント
タスク
予定表
サイト コンテンツ
リンクの編集

Esri Maps

ArcGIS にサイン インして Esri Maps を使用

ユーザ名
EJSPAdmin

パスワード
.....

サインインのサポートが必要ですか?

サインイン

アカウントを持っていませんか?
無料トライアルにサインアップ

5. 本サンプルでは、住所情報を用いていますので、[住所] を選択し、[次へ] をクリックします。（デフォルトでは、ArcGIS Online のワールド ジオコーディングサービスで指定できる項目が表示されます。）

6. サンプルは日本の住所ですので、[対象とする場所の指定] で [国] にチェックし、プルダウン ボックスから [日本] を選択します。[住所情報に関する指定] では、リストに含まれる住所情報は一行に格納されていますので、[列] にチェックをいれ、対象の SharePoint フィールドをプルダウン ボックスから選択して、[次へ] をクリックします。

7. ジオコーディング サービスから取得する情報をリストに表示するか否かを設定して、[次へ] をクリックします。

8. [ワークフローの実行] をクリックします。

ここで、データへの統計情報の付加することができます。Esri が提供する統計データを利用し、各住所周辺（到達圏内もしくはリング商圈内）の統計情報を集計・取得し、リストに加えることができます。

（情報付加については、「[Geographic data enrichment](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/geographic-data-enrichment.htm)」をご参照ください。Esri が提供する統計データについては、[こちら](http://help.arcgis.com/en/esri_data/help/start.htm#japan.htm)をご参照ください。）

- 地理データの情報付加：

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/geographic-data-enrichment.htm>

- Esri Demographic Data：

http://help.arcgis.com/en/esri_data/help/start.htm#japan.htm

9. リストに戻ると、[<ワークフロー名>] 列が追加され、各アイテムに実行されているワークフローの状態で表示されます。

The screenshot shows a SharePoint list titled '顧客データ サンプル' (Customer Data Sample). The list has columns: No, 顧客ID, 店舗ID, 住所, 購買額, 来店回数, and startuplocate. The startuplocate column is highlighted with a red box. The list contains 7 items. Item 1 has '完了' (Completed) and Item 2 has '進行中' (In Progress).

No	顧客ID	店舗ID	住所	購買額	来店回数	startuplocate
1	C000001	...	千葉県千葉市花見川区花園四丁目14	63.4	5	完了
2	C000002	...	千葉県千葉市花見川区幕張町六丁目273	20.4	13	進行中
3	C000003	...	千葉県千葉市若葉区若松町837	16.5	9	
4	C000004	...	千葉県千葉市稲毛区稲毛町五丁目269	81.8	35	
5	C000005	...	千葉県千葉市美浜区真砂三丁目16	79.7	52	
6	C000006	...	千葉県習志野市本大久保三丁目16	71.6	4	
7	C000007	...	千葉県習志野市大久保三丁目5	19.8	6	

Esri Maps Location フィールドの確認

Esri Maps for SharePoint の主要コンポーネントの一つ “Esri Maps Location フィールド” について説明します。

先の項で、Esri Maps Locate ワークフローを実行しました。その際、緯度 / 経度やジオメトリ JSON 情報のほかに Esri Maps Location フィールドが追加されます。これには、対話的なマップで位置情報を表示するカスタム フィールドです。

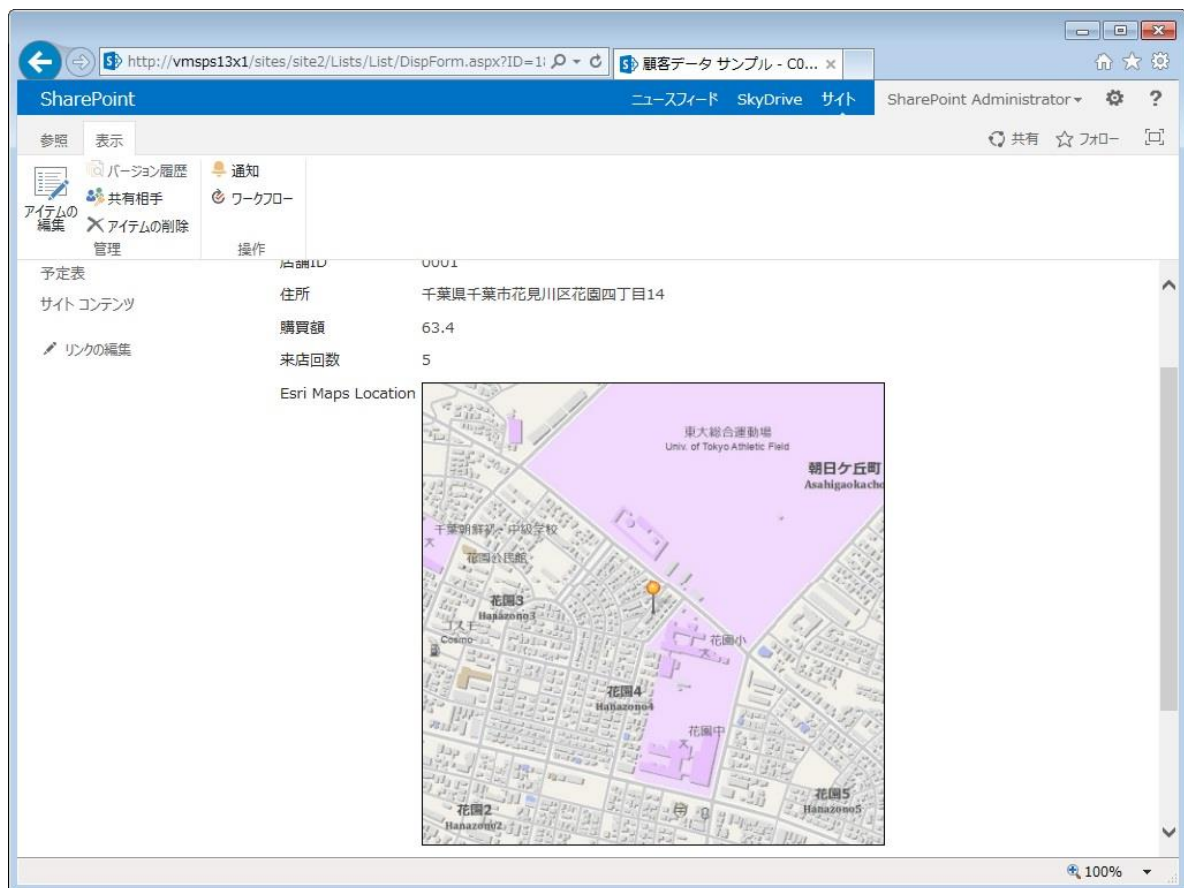
このフィールドを活用することによって、ジオコーディングを行った情報を各アイテム毎で確認・修正するために利用します。

ただし、ここで修正できるのは、緯度 / 経度の点のデータに限ります。

1. ワークフローを実行したアイテムの一つを表示します。

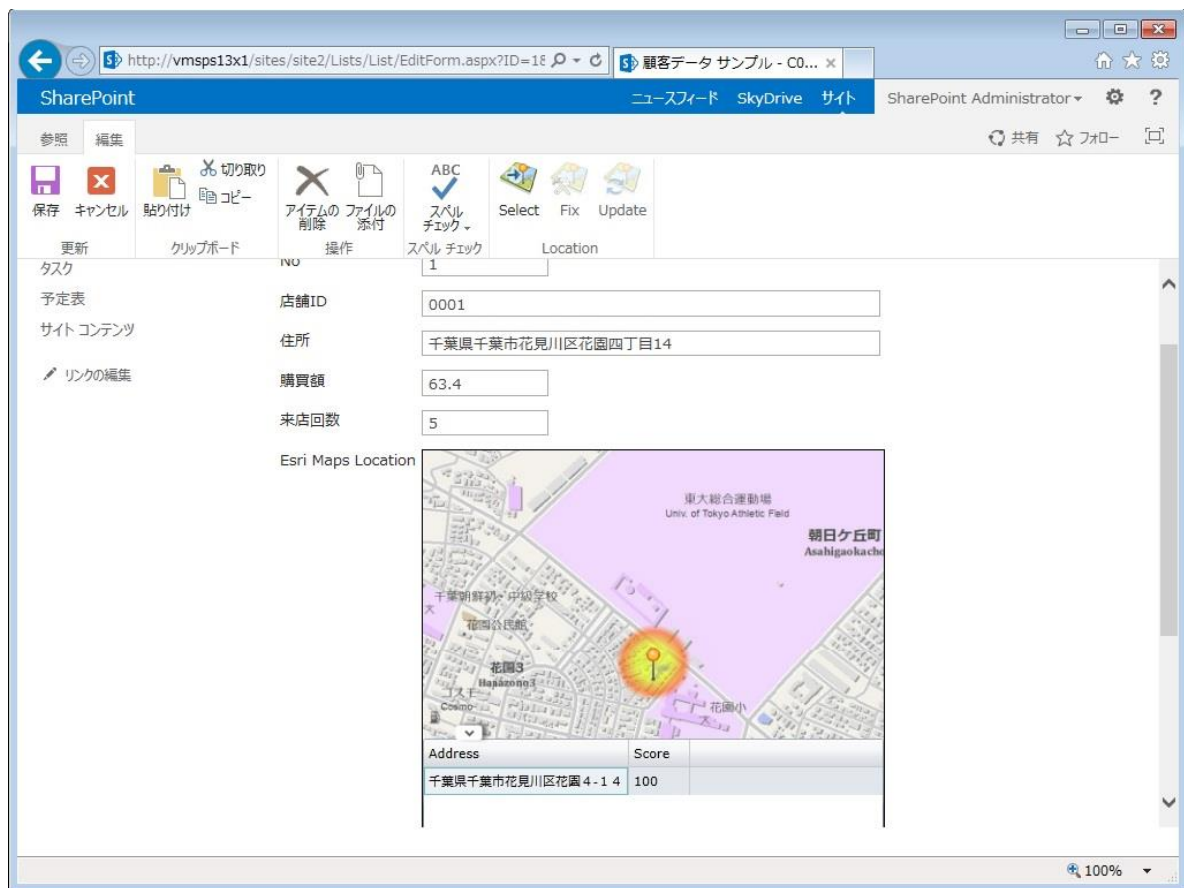
✓	□	No	顧客ID	店舗ID	住所	購買額	来店回数	startuplocate
	□	1	C000001	...	千葉県千葉市花見川区花園四丁4	63.4	5	完了
	□	2	C000002	...	千葉県千葉市花見川区花園四丁1273	20.4	13	完了
	□	3	C000003	...	千葉県千葉市若松町837	16.5	9	完了
	□	4	C000004	...	千葉県千葉市稲毛町五丁目69	81.8	35	完了
	□	5	C000005	...	千葉県千葉市美浜区真砂三丁目16	79.7	52	完了
	□	6	C000006	...	千葉県習志野市本久保三丁目16	71.6	4	完了
	□	7	C000007	...	千葉県習志野市本久保三丁目5	19.8	6	完了
	□				千葉県千葉市美			

2. Esri Maps Location フィールドという列にマップが表示されているのがわかります。ワークフローの結果、住所に紐づく位置情報（緯度 / 経度）が見つかった場合、マップにその場所が表示されます。このマップでは、場所の確認および修正を行うことができます。これにより、住所の場所が特定できなかった場所もマップで確認しながら、位置情報を更新することができます。

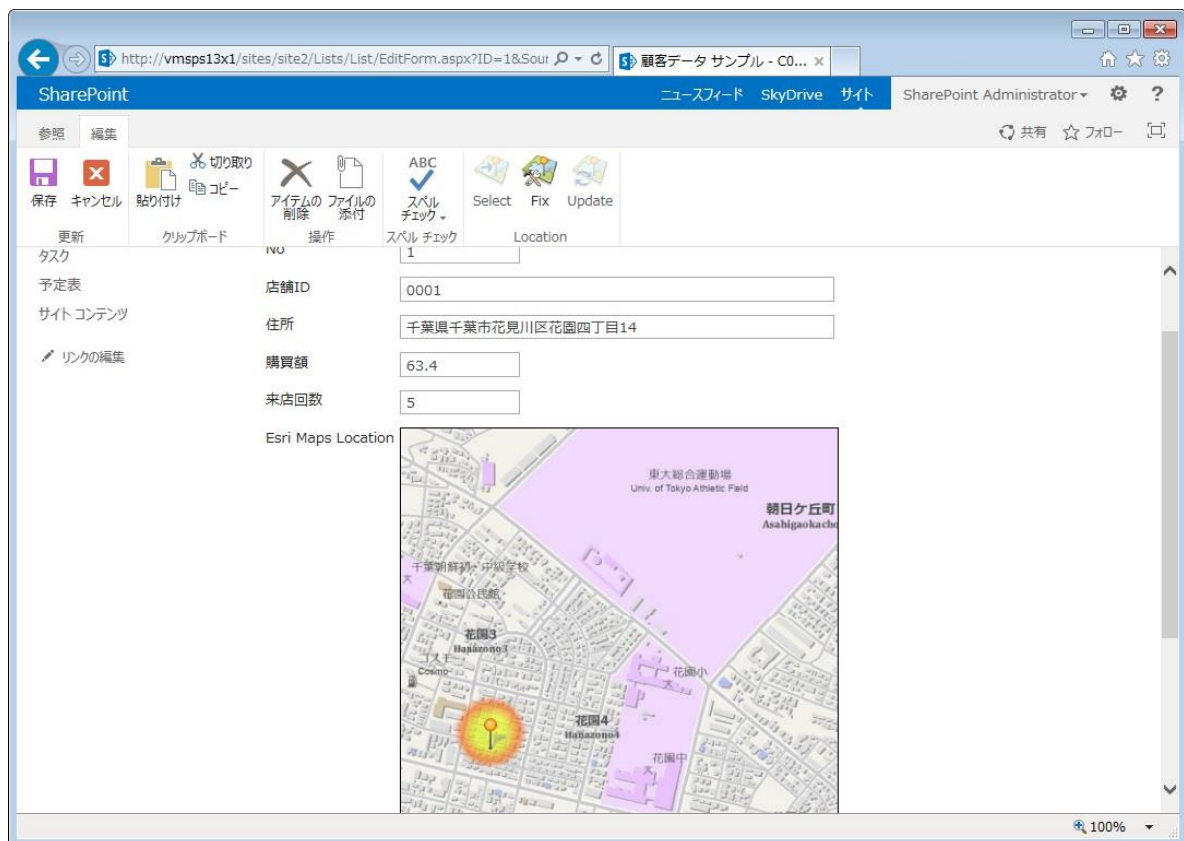


3. [表示] リボンの [アイテムの編集] をクリックします。
4. [Location] グループがリボン メニューに追加され、この中のツールを利用することで、場所の修正が可能になります。それぞれのツールの内容は下記ようになります。

[Select] : 直近で行われた Esri Maps Locate ワークフローのジオコーディング結果に含まれる候補リストを表示します。複数候補が表示された場合は、そこから正しい場所を選択し、緯度 / 経度を更新します。このとき、住所も更新したい場合は、住所情報をコピーして、住所の列に貼り付けて更新します。



[Fix]: マップ上で対話的にポイントの位置を修正することが可能になります。ポイントを示すピンをドラッグアンドドロップすることで修正可能です。ここで修正される値は、緯度 / 経度の値です。



[Update]：住所を修正した場合は、住所の位置を検索して緯度 / 経度を修正します。あるいは、緯度 / 経度の値を修正した場合は、該当の位置にポイントが表示されます。

もし、SharePoint リストにあらかじめ緯度経度の情報を持つ場合は、フィールドの追加から Esri Maps Location フィールドを追加することで、各アイテムの場所を確認することができます。

このとき、あらかじめ設定されている緯度経度を用いる場合は、以下の事項に注意してください。

- ✓ 緯度経度を登録した際に、SharePoint のフィールド作成時に日本語で登録を行った場合、SharePoint では日本語名でフィールド名を指定したとき、内部フィールド名としては、エンコードされた状態で登録されます。表示名と内部名との違いが出てしまうため、機能しません。緯度 / 経度の列には、ShapeY / ShapeX や Latitude / Longitude など英語名で登録してください。

サンプル データには、下記 3 つジオコーディングのワークフローは完了したものの、住所から緯度 / 経度が取得できなかったものが含まれます。

顧客 ID が、C000076, C000314, C000328 のアイテムです。

これらのアイテムを修正する場合は、仮の緯度 / 経度を付与し、[Fix] ツールで位置情報を更新するか、

周辺の住所情報に修正・保存して、再度 Esri Location ワークフローを実行させ、[Fix] で修正します。後者の方法を取る場合は、Esri Maps Location ワークフローの開始条件の設定で、アイテム変更時に処理を開始するようにチェックしておくくと便利です。また、アイテムの住所の編集に応じて再度ワークフローが実行されるため、元の住所情報はバックアップの列を設けて、格納することをお勧めします。

以上で、SharePoint リストの GIS データ化が完了しました。次に SharePoint リストをマップに表示し、表現する Map Web パーツを使った Web ページを作成します。

SharePoint リストをマップに表示

SharePoint Web ページにマップと GIS 機能を持った Map Web パーツを使ってデータを地図に可視化することができます。

Map Web パーツには以下の 2 つの種類があります。

- ArcGIS Map Web パーツ

Microsoft Silverlight で動作する Map Web パーツです。

特長：Silverlight の効果的な表現とカスタム ツール・ビヘイビアーやジオプロセッシング サービスを利用して、機能を拡張することができます。機能の拡張については、[トピックの参考事項](#)をご参照ください。また、ArcGIS Online のホスト フィーチャ サービスや ArcGIS for Server のフィーチャ サービスを編集することも可能です。

- Esri Maps Web パーツ

HTML/JavaScript Map ベースの Web パーツです。

特長：ArcGIS Online のサービスを使った近傍検索やルート検索、そして ArcGIS Online との連携による SharePoint リストを GIS Web サービスとして ArcGIS Online にホストすることができるため、他の ArcGIS クライアントで組織内の位置情報を含んだ SharePoint リストを活用することができます。フィーチャ サービスを編集することはできませんが、同じページに配置した他の Web パーツとの通信機能を備えているため、SharePoint とのより密接な連携を行えるパーツです。

独自の機能を追加して、より業務内容に即した Web ページを作成する場合は、ArcGIS Map Web パーツを選択し、ArcGIS Online との連携や Web パーツ接続で SharePoint Web パーツとの通信機能による 総合的な Web ページを作成する場合は、Esri Maps Web パーツを選択します。

編集モードと参照モード

他の SharePoint Web パーツとともに、ArcGIS Maps Web パーツおよび Esri Maps Web パーツには、編集モードと参照モードがあります。

編集モードは、ページの編集権限を持つユーザが利用でき、Web パーツの構成を変更することができます。一方参照モードでは、Web パーツを読み込み専用で利用します。

以下の Map Web パーツの構成は、編集モードで行います。

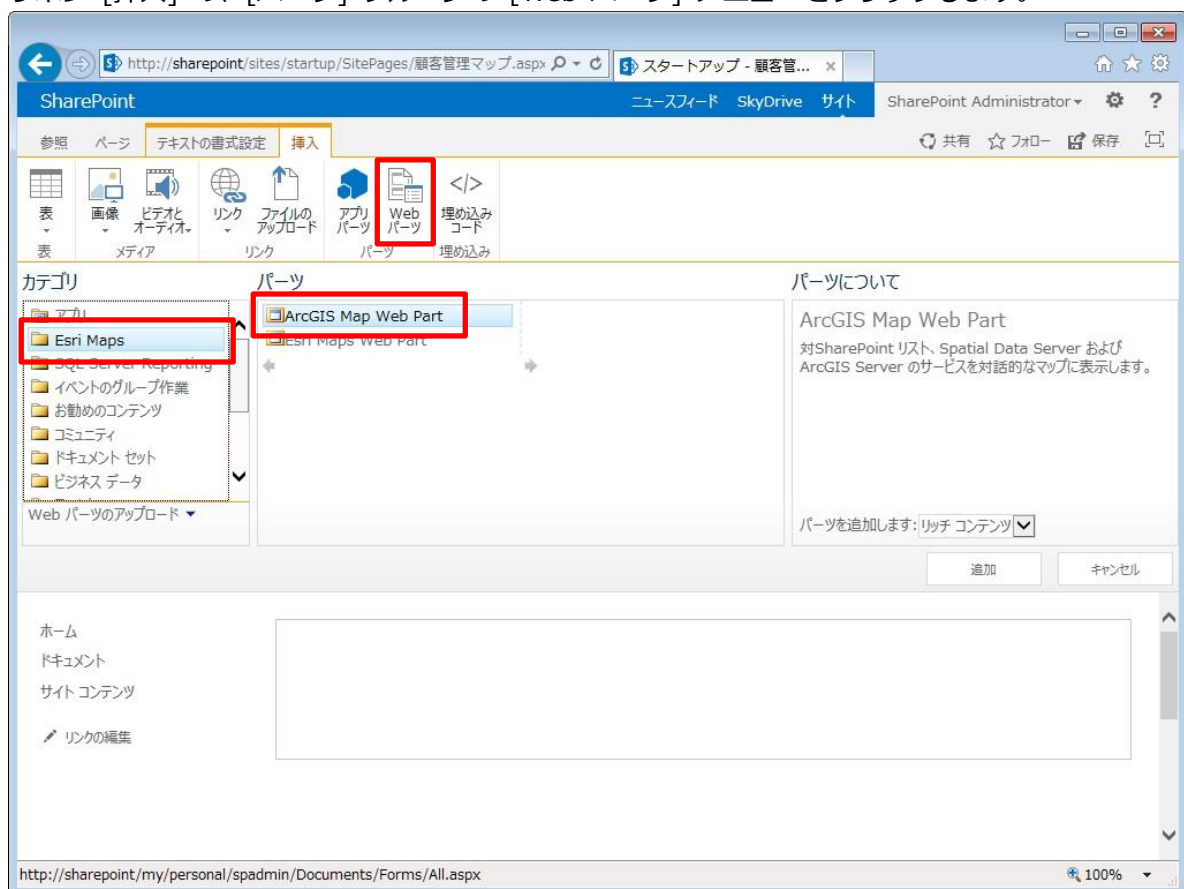
ここからの操作は、先ほど追加した SharePoint リストと同じ SharePoint サイトで行います。

SharePoint Web ページの作成（ArcGIS Maps Web パーツ）

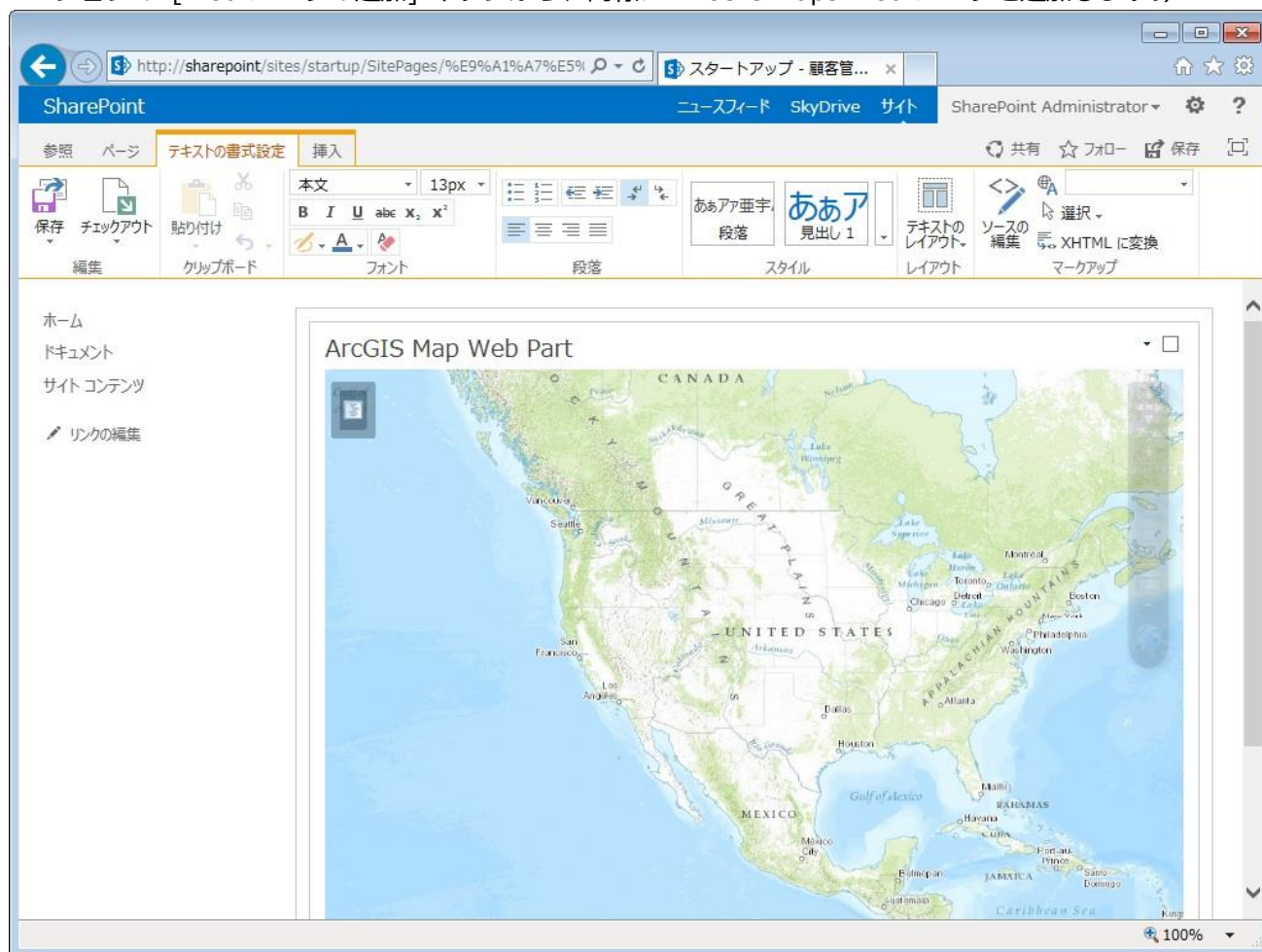
ArcGIS Map Web パーツを利用した、SharePoint Web ページの作成方法について説明します。この項では、ArcGIS Map Web パーツ（Silverlight ベースの Map Web パーツ）を Web ページに配置して、GIS データ化した SharePoint リストを読み込み、表現を変更し、空間的に捉える方法について説明します。

ArcGIS Map Web パーツの配置

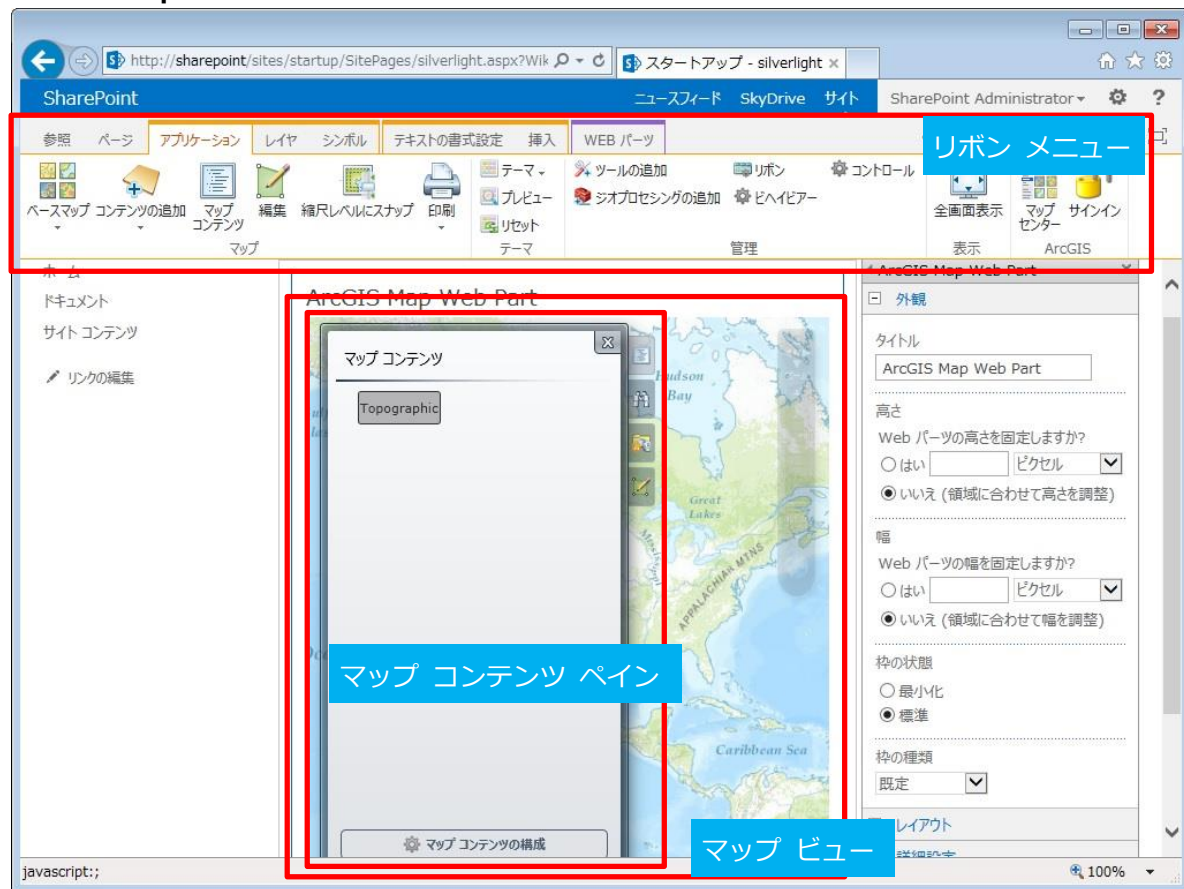
1. 新規 Web ページ（Wiki ページ もしくは Web パーツ ページ）を作成します。
2. リボン [挿入] の、[パーツ] グループの [Web パーツ] メニューをクリックします。



3. Web パーツ一覧が表示されます。[Esri Maps] カテゴリをクリックし、[ArcGIS Map Web パーツ] を選択し、[挿入] ボタンをクリックし、マップを挿入します。(Web パーツ ページの場合、該当のセクションの [Web パーツの追加] ボタンから、同様に ArcGIS Maps Web パーツを追加します。)



ArcGIS Map Web パーツの画面説明



マップ コンテンツ ペイン

マップ コンテンツ ペインには、マップに追加されたレイヤの一覧が表示されます。ここで、レイヤを選択し、リボンメニューからそのレイヤに対する操作を実行させます。

ArcGIS Map Web パーツの構成

デフォルトでは、リボンにいくつか ArcGIS Map Web パーツで利用できるメニュー（[アプリケーション]、[レイヤ] グループ）が表示されますが、他にも多くのリボン メニューが利用することができます。ArcGIS Map Web パーツの構成では、下記の項目を構成することで、ArcGIS Map Web パーツを参照モードで利用する際に、あらかじめ設定しておきたい内容に構成することができます。


- ベースマップ（背景地図）
- 利用するレイヤ
- マップの表示範囲
- レイヤの属性情報を表示するポップ アップ
- 属性テーブルの表示項目
- リボン メニューの構成

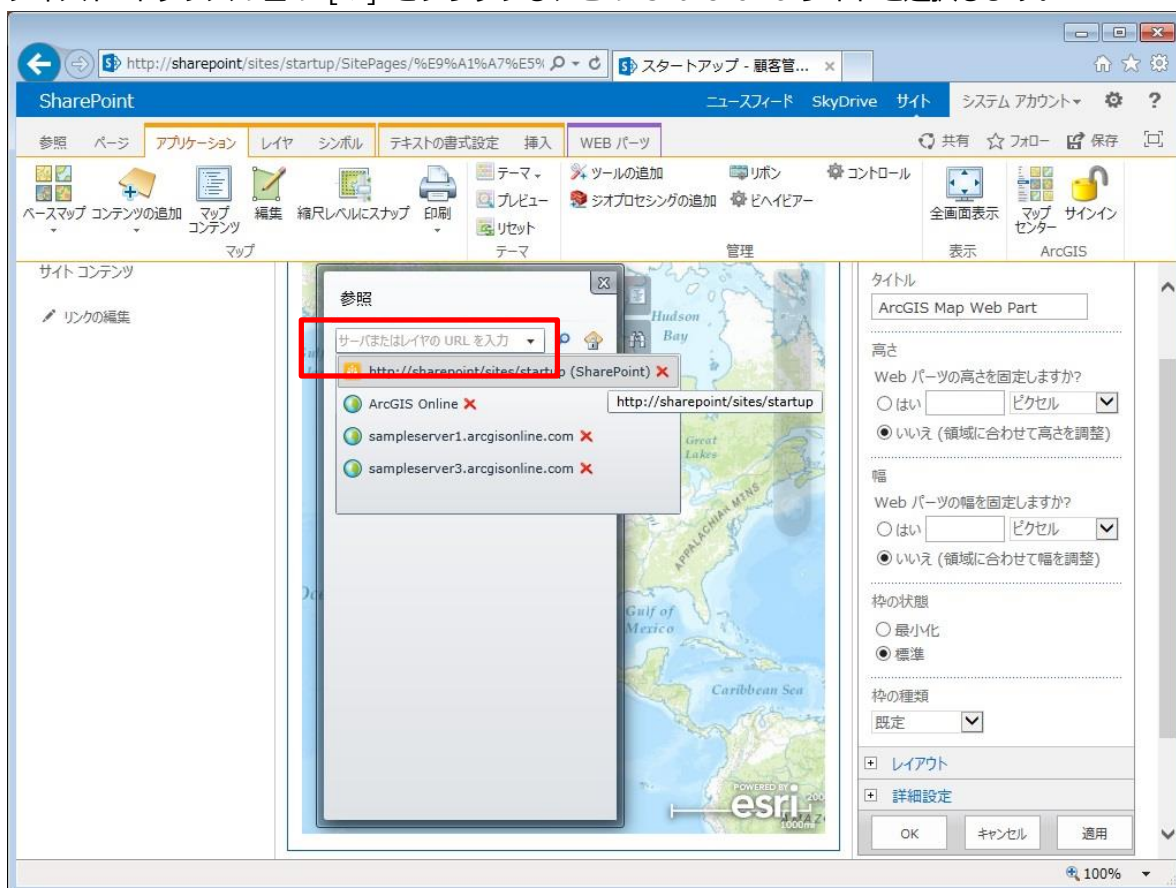
以下では、ArcGIS Map Web パーツに上記で GIS データ化した SharePoint リストを ArcGIS Map Web パーツに追加し、ベースマップの変更等を編集モードで構成する方法を紹介します。

編集モードへは、ArcGIS Map Web パーツの右上の [▼] をクリックし、[Web パーツの編集] をクリックして移動します。

ArcGIS Map Web パーツの編集モードでは、リボン メニューには、はじめの参照モードと同様に [アプリケーション]、[レイヤ] グループ、そして [シンボル] グループが表示され、すべてのメニューが表示されます。

SharePoint リストをレイヤとして追加

1. [アプリケーション] リボンの [マップ] グループ内 [コンテンツの追加] ツール [参照]、または [マップ上左ツール]  をクリックします。
2. マップの左に参照ペインが表示されます。
3. テキスト ボックスの左の [▼] をクリックし、この SharePoint サイトを選択します。

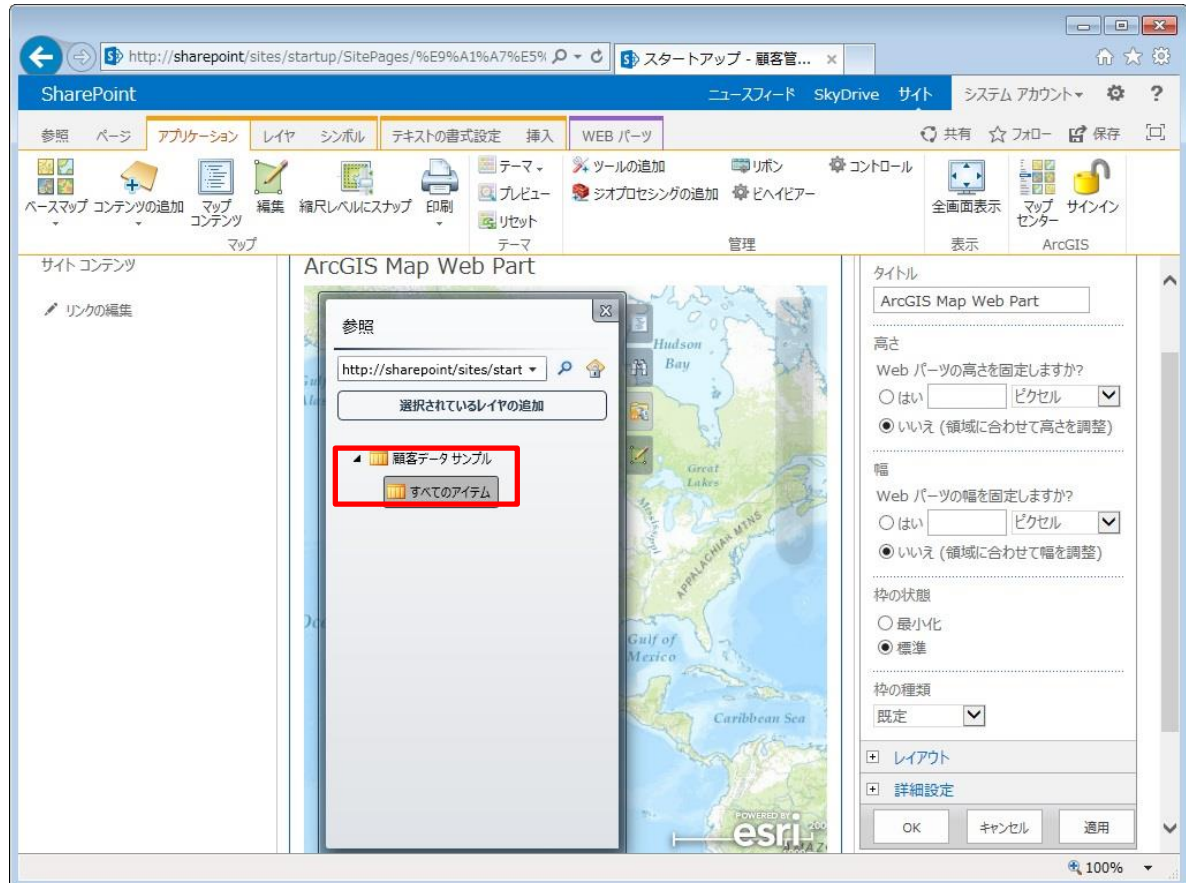


参照先リストを追加することもできます。下記リンクをご参照ください。

- 接続の構成：

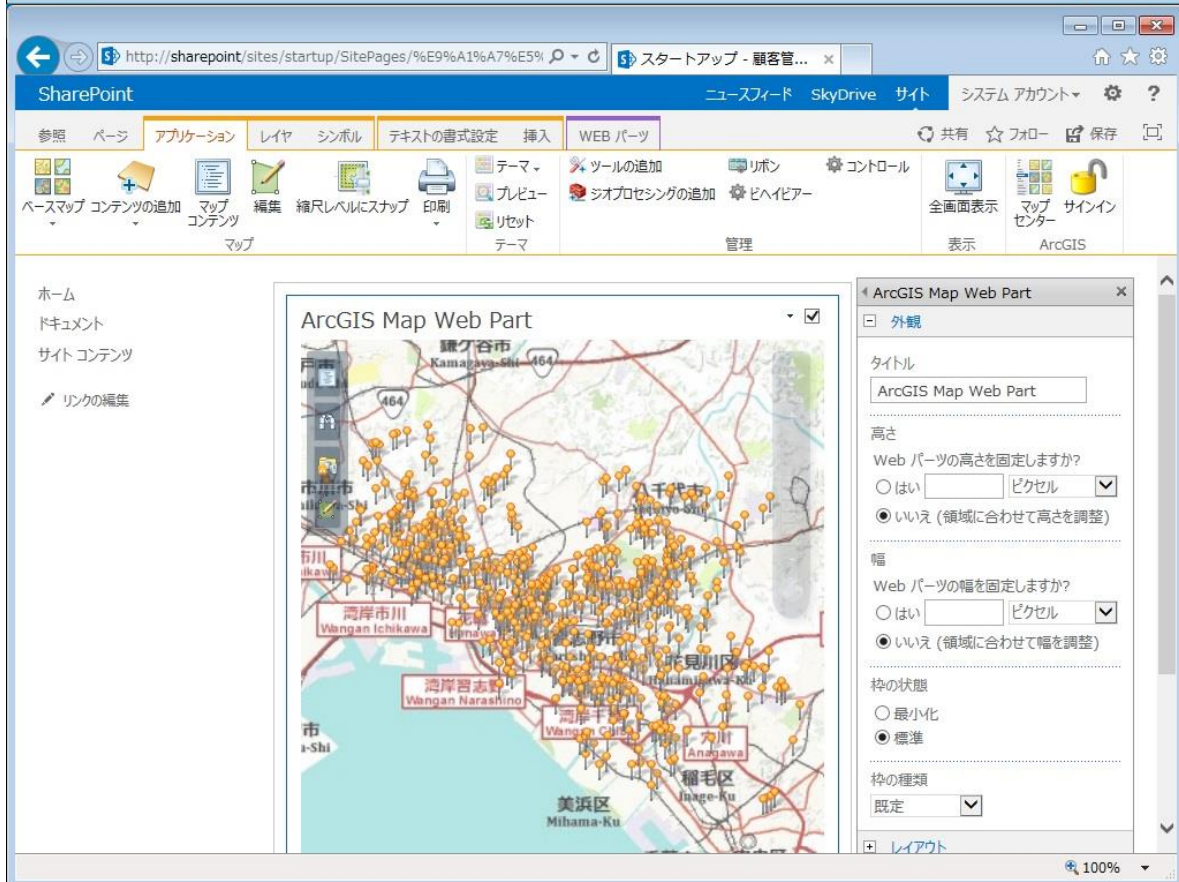
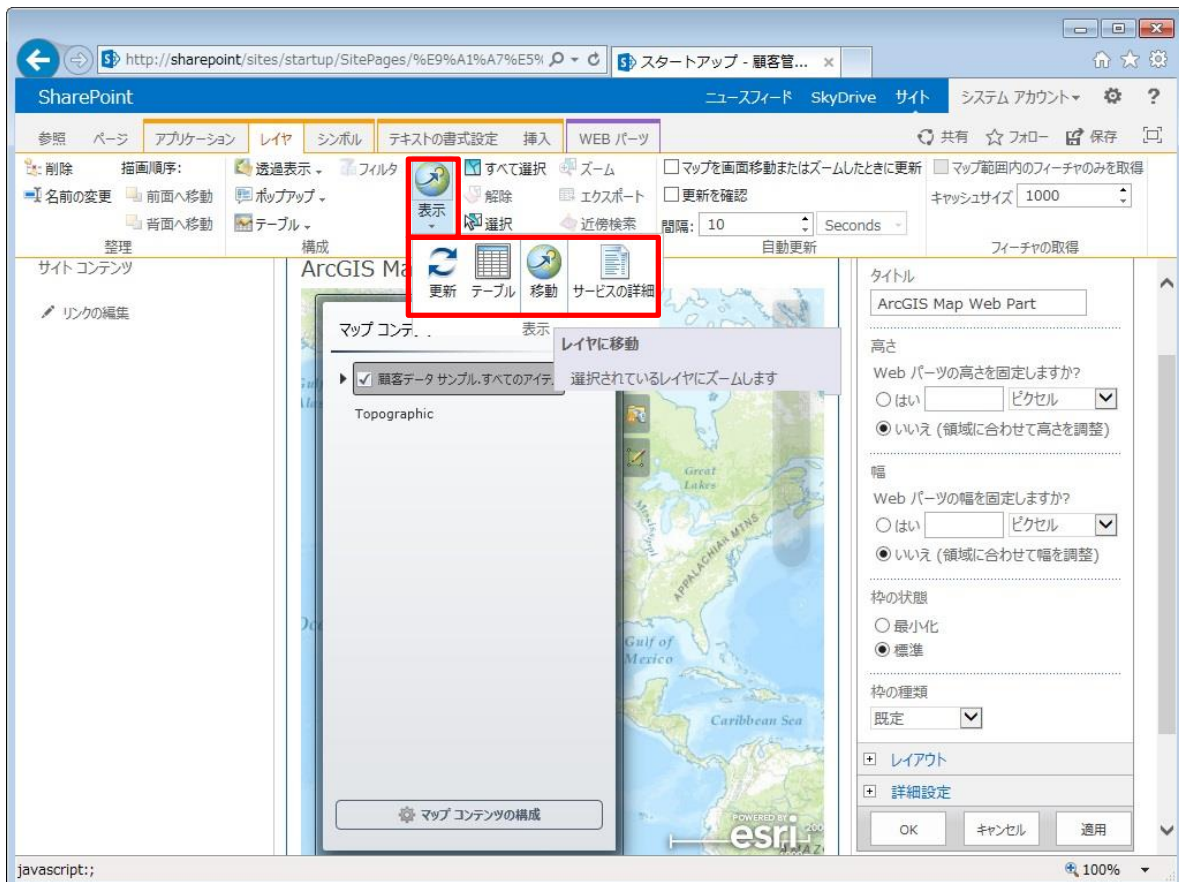
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-connections.htm>

4. GIS データ化した SharePoint リストが表示されます。表示させたい SharePoint リスト（ここでは、上で GIS データ化した SharePoint リスト）を展開し、[すべてのアイテム] を選択し、[選択されているレイヤの追加] をクリックします。




SharePoint リストのビューをほかに設定している場合は、それらも表示されます。必要なビューの SharePoint リストをレイヤとして追加することができます。)

5. マップ コンテンツ ペインに追加したレイヤが表示されます。レイヤを選択し、[レイヤ] リボンの [表示] グループ内 [移動] をクリックして、レイヤの表示範囲にマップを移動します。



レイヤの構成

追加したレイヤのシンボルの設定や属性表示のポップアップの設定を行います。

1. [アプリケーション] リボンの [マップ] グループ内 →[マップ コンテンツ]、またはマップ左上のツール  をクリックして、マップ コンテンツ ペインを表示させます。
2. レイヤを選択し、リボン [シンボル] をクリックします。

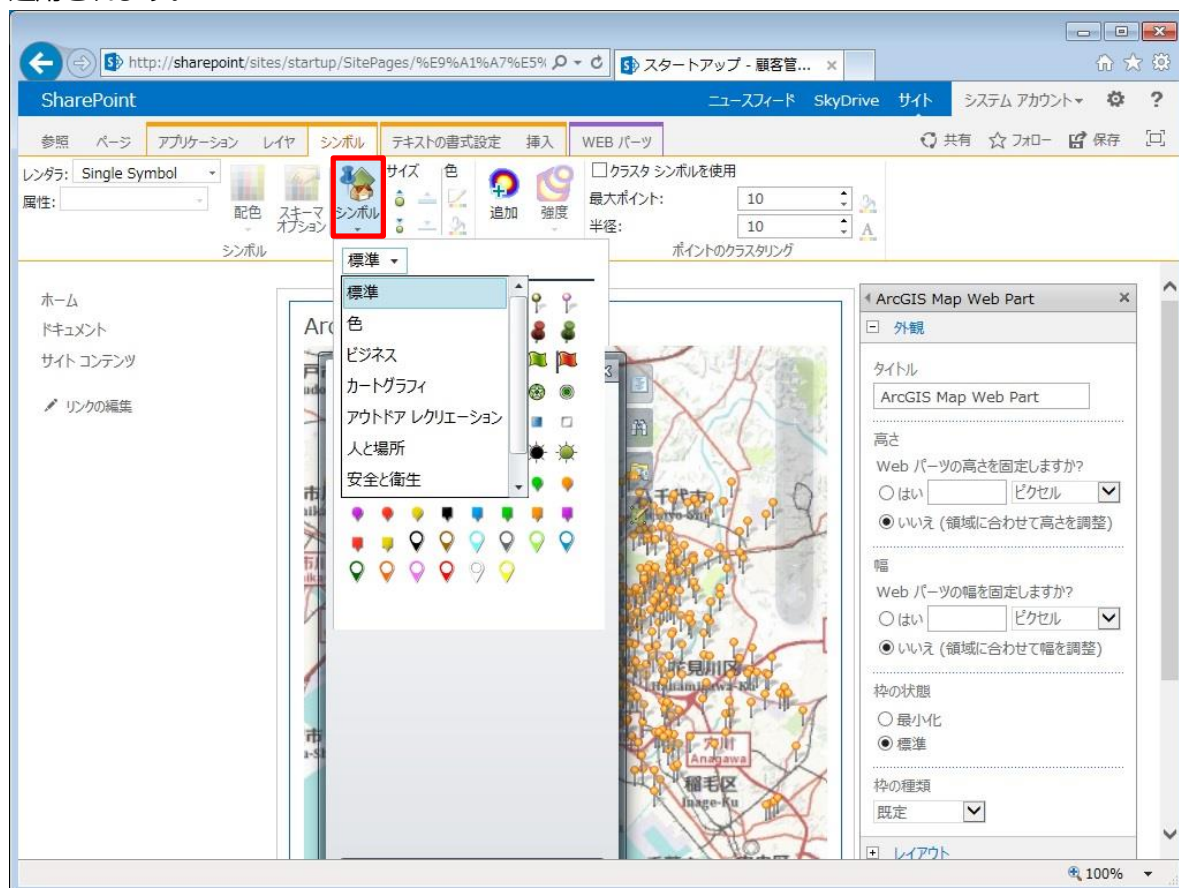
シンボルを変更するメニューが表示されるので、必要なシンボル設定を行います。

シンボル設定のメニュー説明

[シンボル] グループ

- [シンボル] メニュー

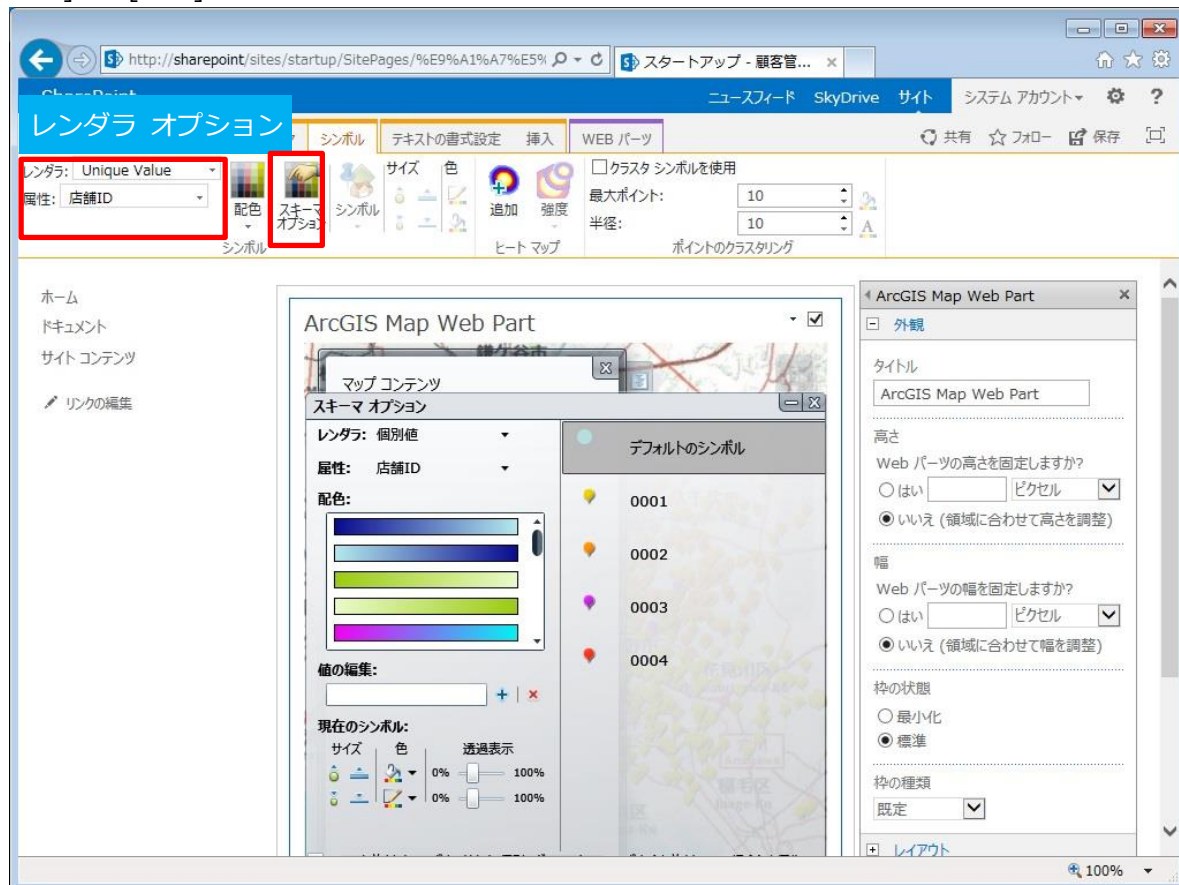
さまざまなシンボルのタイプを選択することができます。ここで選択したシンボルはすべてのポイントに適用されます。

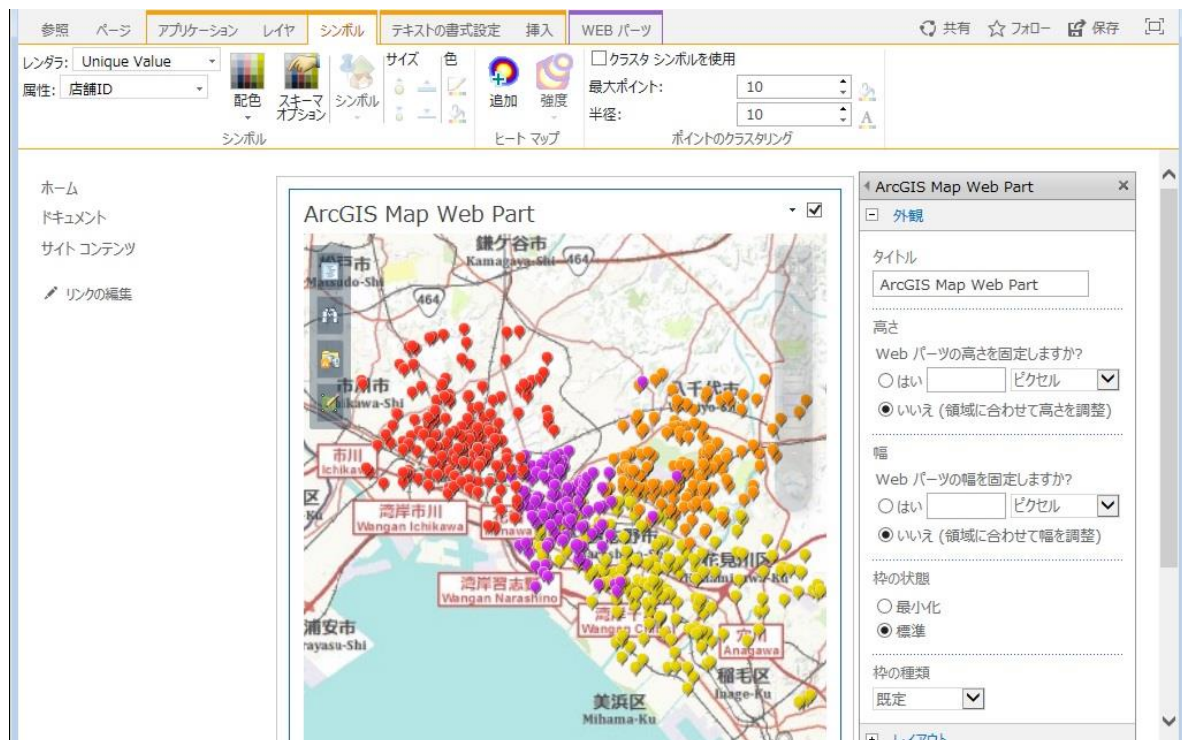


その他、ポリゴン（面）やライン（線）のフィーチャを含むレイヤのシンボルも同様に設定することができます。その際、ポリゴン、ラインに適したシンボルが表示されます。

- [レンダラ] オプション

Single Symbol（単一シンボル：属性の値に関わらずすべてのシンボルに対して一つのシンボルを適用する）、Class Breaks（クラス閾値：ある属性（数値）に関して、値の範囲を設定し、その範囲それぞれに対してシンボルを設定します。）、Unique Values（個別値：ある属性の値それぞれに対してシンボルを変更）を設定することができます。このとき、Single Symbol 以外の設定を行った場合、[スキーマ オプション] や [配色] メニューが有効になります。

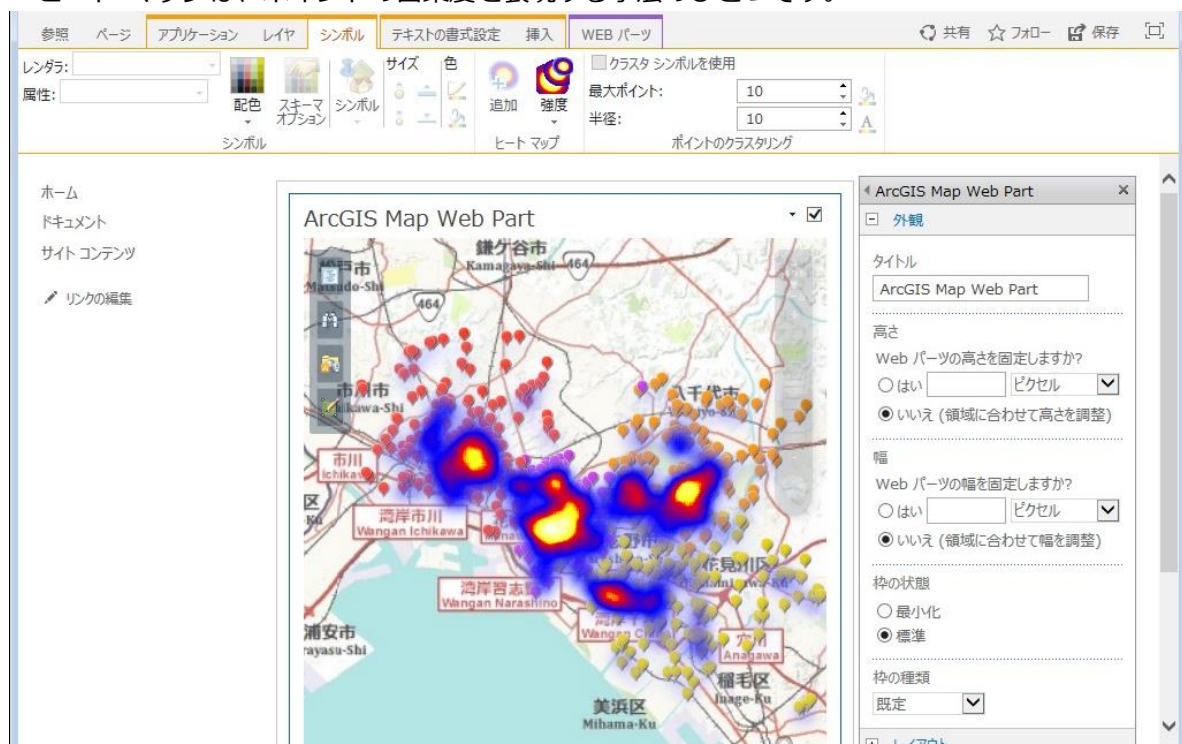




ポイント数が多い場合、下記のような効果的な表現方法があります。

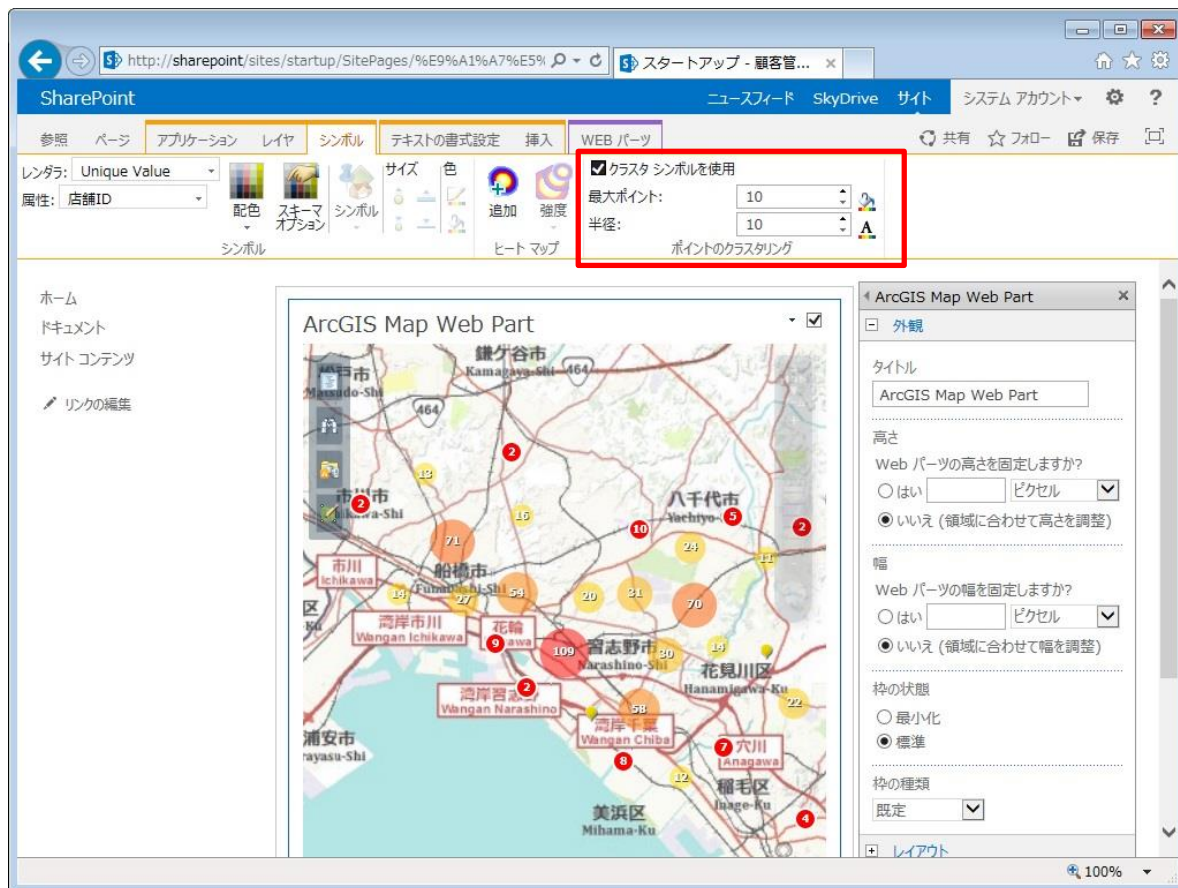
- ヒート マップ

ヒート マップは、ポイントの密集度を表現する手法のひとつです。



- クラスタリング

クラスタリングは、ヒート マップ同様ポイントの密度を表しますが、ヒート マップのようになめらかな表現とは異なり、ある範囲のポイント数を集計し、その数に応じて円の大きさを変化させ、ポイント数を表示する表現します。



シンボルの構成やその他設定に関しては、下記リンク「[シンボルの構成](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-symbols.htm)」や「[シンボルについて](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/about-symbols.htm)」をご参照ください。

- シンボルの構成：

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-symbols.htm>

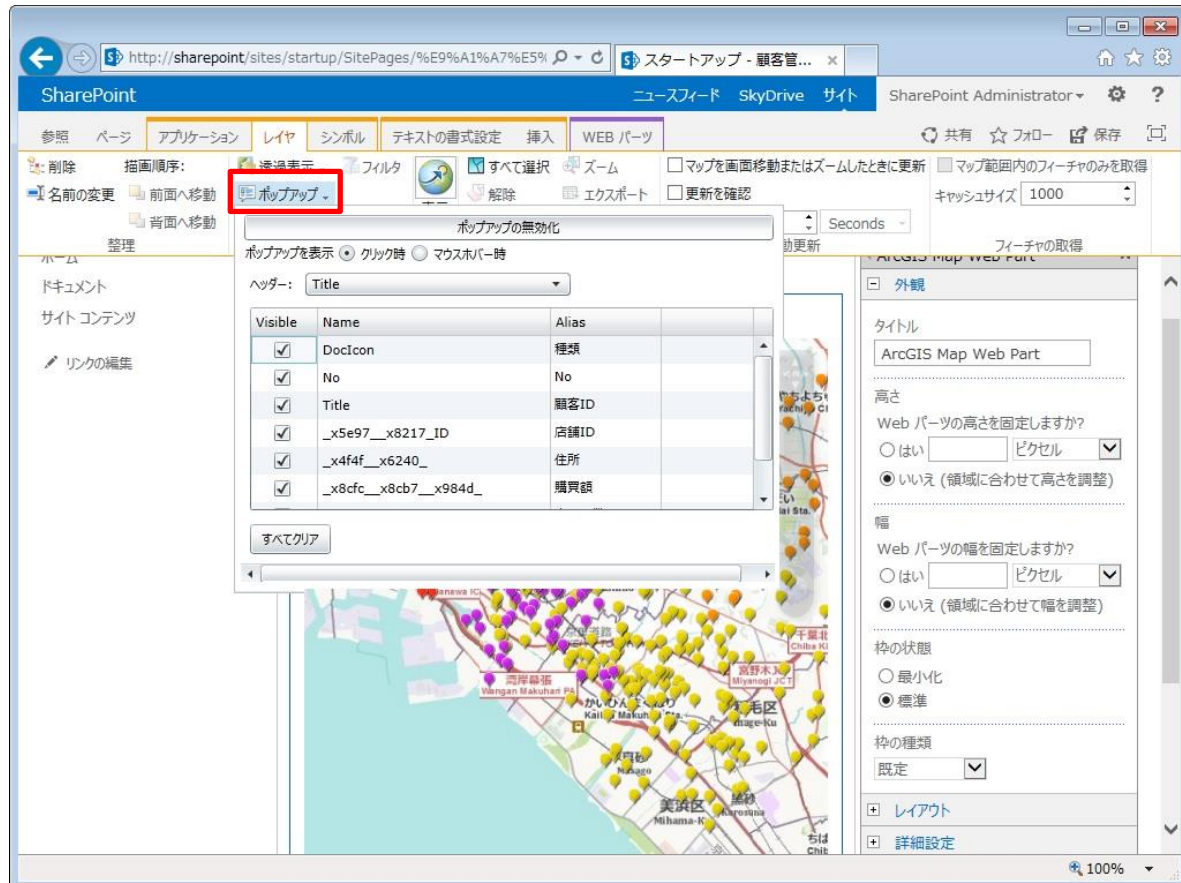
- シンボルについて：

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/about-symbols.htm>

属性表示のポップ アップの構成

ここでは、表示されているフィーチャをクリック、もしくはマウス ホバーした際に表示される、そのフィーチャの属性を表示するウィンドウの構成を行います。

1. [レイヤ] リボンの [構成] グループ内 [ポップアップ] メニューをクリックします。
2. ポップアップの構成ダイアログが表示されます。ここで表示属性などのポップアップの構成をします。



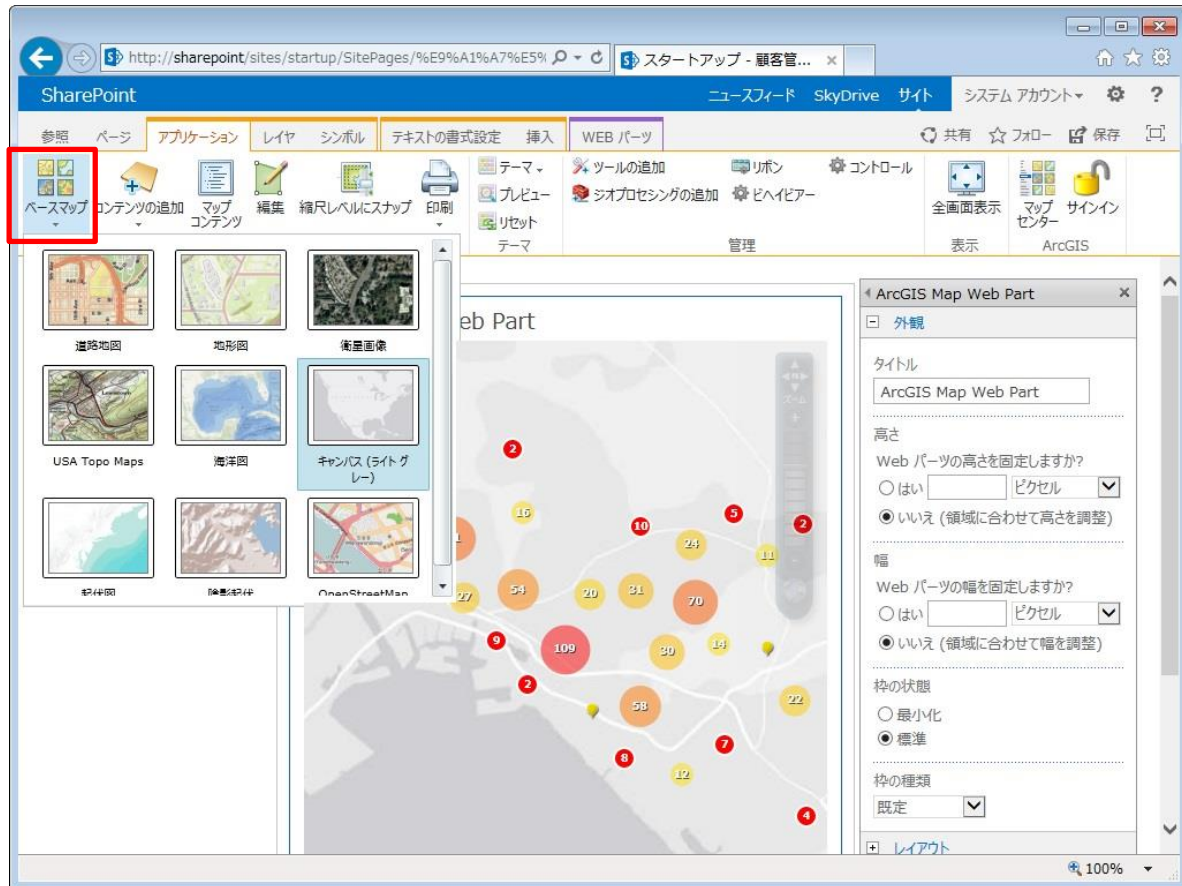
このダイアログでは、ポップアップ ウィンドウ自体の有効化/無効化の設定、ポップアップ ウィンドウの先頭に表示させる内容（フィーチャの識別子等）の設定、テーブル表示されている属性情報のチェックボックスをオン/オフを切り替え属性情報の表示/非表示を設定します。

ポップアップの表示させる属性の設定は、属性テーブルにも適用されます。

ベース マップの変更

ArcGIS Online ではすぐに使えるさまざまなベース マップを配信しており、それらのベース マップを目的に合わせて利用することができます。

1. [アプリケーション] リボンの [マップ] グループ内 [ベース マップ] をクリックします。
2. ベース マップ ギャラリーが表示され、目的に合ったベース マップを選択します。



その他、ArcGIS Online 組織向けプランで作成できるタイル マップ サービスや ArcGIS for Server のタイル マップ サービスを設定することで、独自のベース マップを利用することが可能です。ベース マップの構成については、下記「ベースマップの構成」をご参照ください。

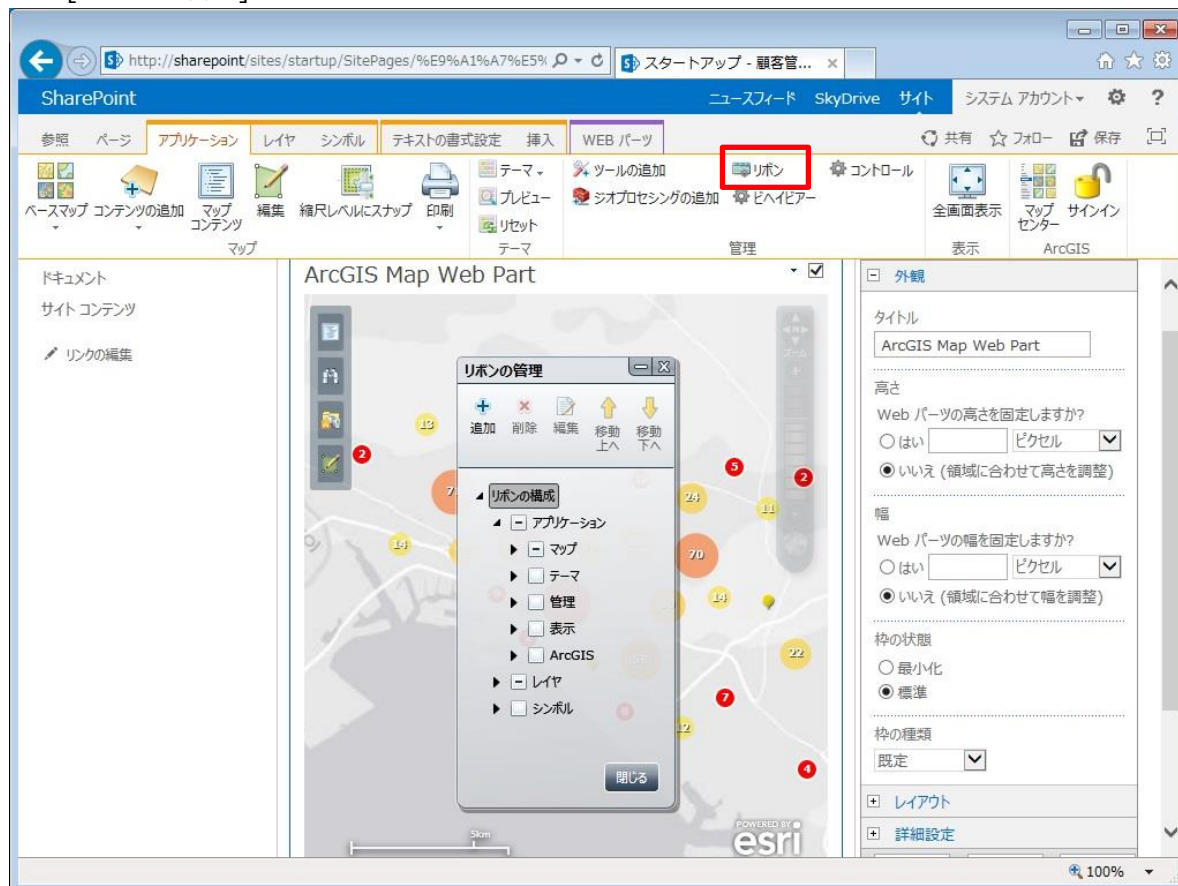
- ベースマップの構成：

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-basemaps.htm>

リボンメニューの構成

参照モードでユーザにオペレーションさせたい機能をここで設定することができます。

1. [アプリケーション] リボンの [管理] グループ内 [リボン] をクリックします。
2. [リボンの管理] ウィンドウが表示されます。




3. デフォルトでは、現在の参照モードで利用するリボン メニューにチェックが入っています。
各項目には編集モードで表示される機能に関する項目があり、編集モードで表示、参照モードで利用させたい機能の項目をチェックします。利用させたいメニューのチェック ボックスにチェックをいれます。
検索ツールや参照ツールのように、リボンの管理で有効にした機能は、マップの左にツールを呼び出すボタン アイコンが表示されたり、ポップアップ下部にアイコンが追加されたりするものもあります。
4. [閉じる] をクリックします。

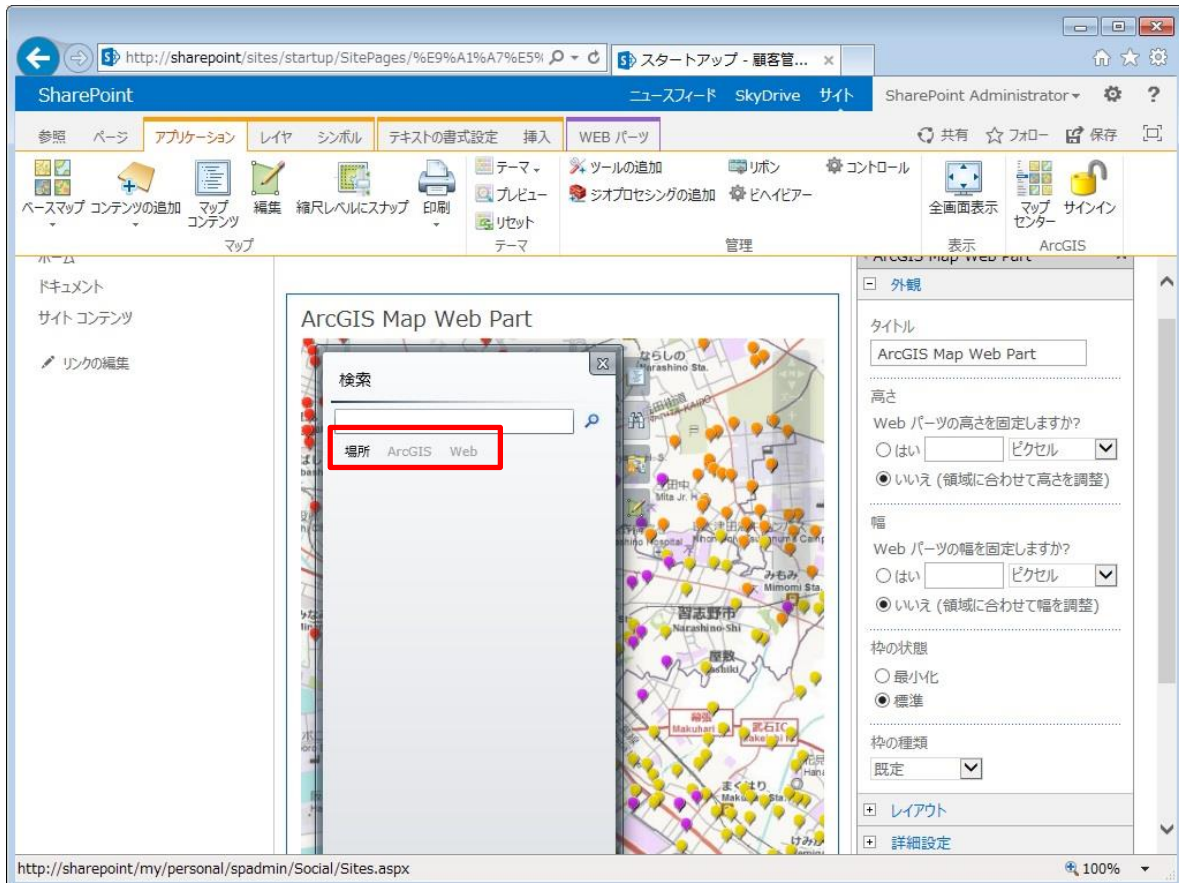
また、カスタムのアドイン ツールやジオプロセシング サービスを追加した場合、それらの機能を利用するためのメニューやグループを新たに作成することができます。その場合の表示項目も [リボンの管理] から行います。

補足情報

補足情報として、主な機能を説明します。

検索

[アプリケーション] リボンの [マップ] グループ内 [コンテンツの追加] メニューをクリックし、[検索] をクリック、もしくはマップ左部にある  ツールをクリックすると、検索ペインが表示されます。



検索ツールでは、下記の項目を検索することができます。

- 場所：場所（住所や市区町村）の検索
- ArcGIS：ArcGIS Online のホスト サービスの検索
- Web：公開されたマップ サービスの Web 検索

その他コンテンツの追加

ArcGIS Map Web パーツでは、SharePoint リストのほかに、ArcGIS for Server のサービスや ArcGIS Online の Web マップを読み込むことが可能です。

- ArcGIS for Server のサービスの追加

「SharePoint リストをレイヤとして追加」の項で紹介した方法と同様に、[参照] から ArcGIS for

Server のサービスを追加します。

Esri Maps Connections リストに設定された ArcGIS for Server の REST エンドポイント、もしくは参照先のテキスト ボックスに ArcGIS for Server の REST エンドポイントを入力すれば、対象の ArcGIS for Server が配信するサービスが表示されます。その中から必要なサービスを追加します。Esri Maps Connections リスト（接続リスト）の設定については、下記リンクをご参照ください。

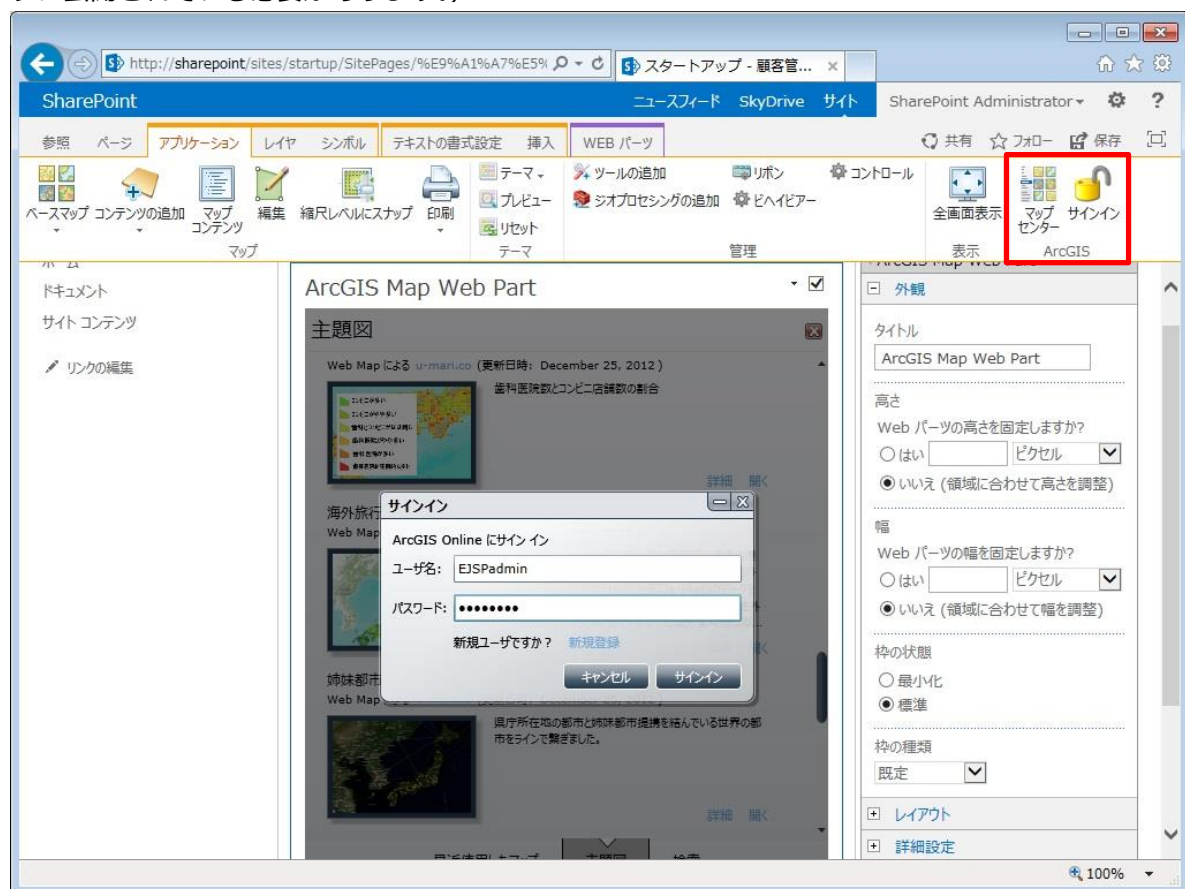
➤ 接続の構成：

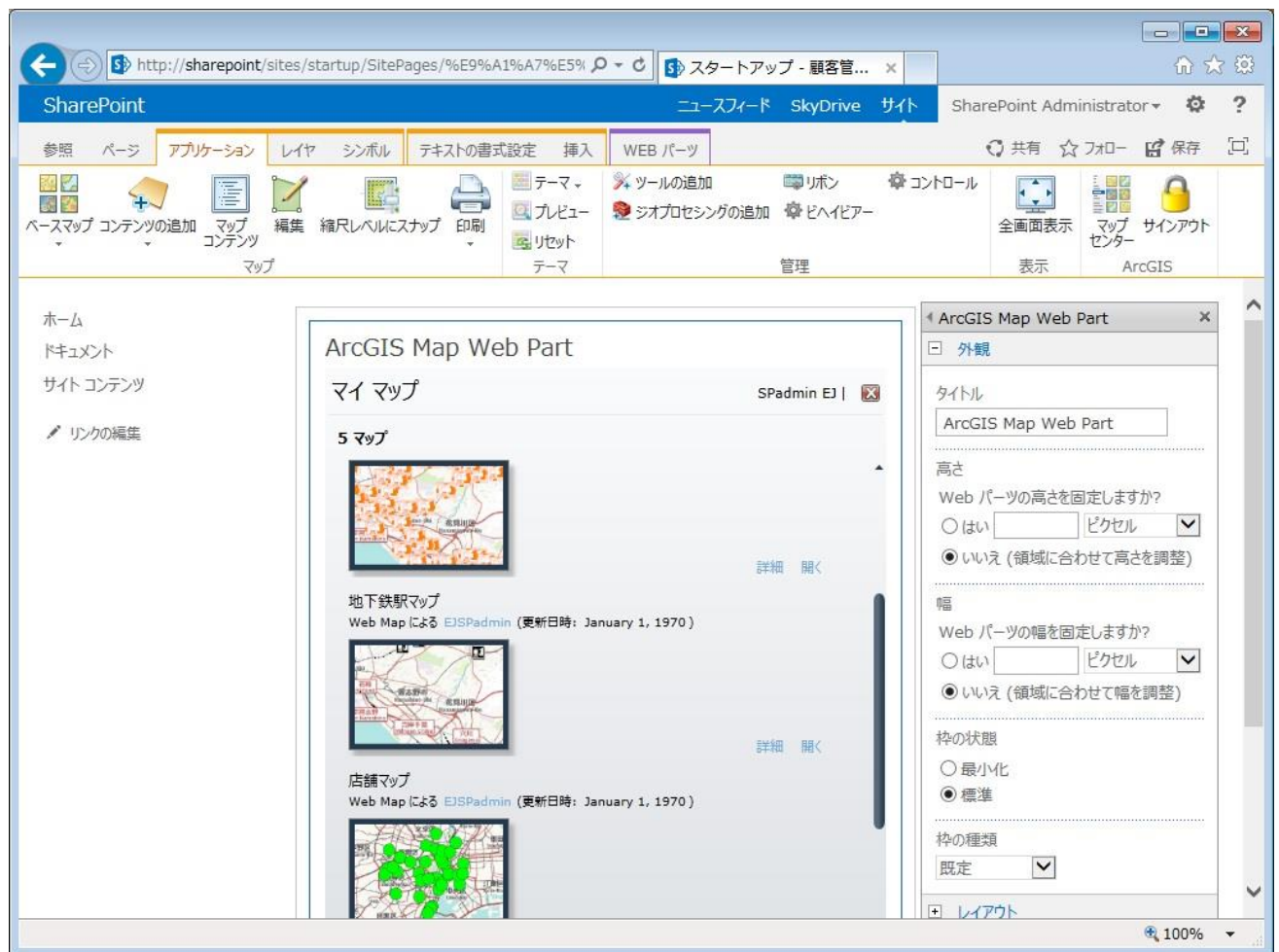
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-connections.htm>

- ArcGIS Online のサービスの追加

ArcGIS Online では世界中から様々な GIS データが集約されています。そこで管理されている Web マップを検索し、マップに追加することが可能です。

[ArcGIS] リボンの [マップセンター] メニューでは、ArcGIS Online で公開されている Web マップを参照することができます。さらに [サイン イン] ツールを用いて ArcGIS アカウントでサインインをすれば、一般に公開された Web マップだけでなく、個人、グループおよび組織で管理している Web マップを参照することができるようになります。（ただし、フィーチャ サービスはパブリックに公開されている必要があります。）





選択セット - [近傍検索]

[レイヤ] リボンの [選択セット] グループには、ある地点の近傍にあるフィーチャを空間検索できる [近傍検索] ツールがあります。

[近傍検索] を実行するために、まず、近傍検索を実行する地点となるポイントを [選択] ツールで選択します。地点が選択されたのちに、[近傍検索] ツールを実行し、選択フィーチャからの指定した距離の円商圏を描き、その中に含まれるポイント フィーチャを選択状態にするツールです。これにより、周辺にどれだけの人がいるかなどを把握することが可能です。

http://sharepoint/sites/startup/SitePages/%E9%A1%A7%E5%... スタートアップ - 顧客管...

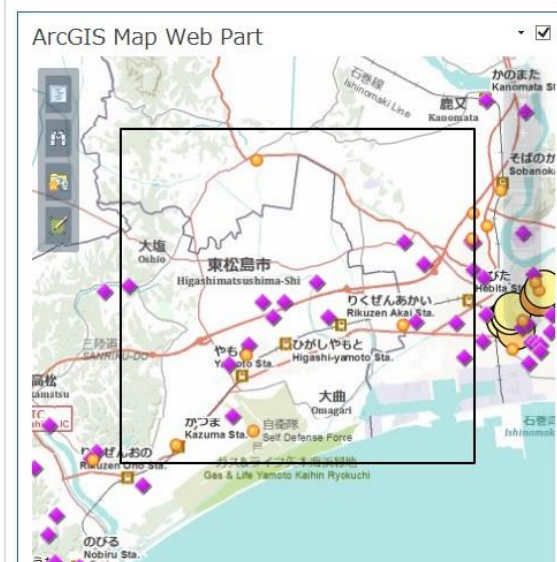
SharePoint ニュースフィード SkyDrive サイト SharePoint Administrator

参照 ページ アプリケーション レイア シンボル テキストの書式設定 挿入 WEB パーツ

削除 描画順序: 透過表示 フィルタ すべて選択 ズーム マップを画面移動またはズームしたときに更新 マップ範囲内のフィーチャのみを取得
名前の変更 前面へ移動 ポップアップ エクスポート 更新を確認 キャッシュサイズ 1000
背面へ移動 テーブル 近傍検索 間隔: 10 Seconds 自動更新 フィーチャの取得

ホーム
ドキュメント
サイト コンテンツ
リンクの編集

ArcGIS Map Web Part



ArcGIS Map Web Part

外観

タイトル
ArcGIS Map Web Part

高さ
Web パーツの高さを固定しますか?
☐ はい ☒ いいえ (領域に合わせて高さを調整)

幅
Web パーツの幅を固定しますか?
☐ はい ☒ いいえ (領域に合わせて幅を調整)

枠の状態
☐ 最小化 ☒ 標準

枠の種類
既定

レイアウト

100%

http://sharepoint/sites/startup/SitePages/%E9%A1%A7%E5%... スタートアップ - 顧客管...

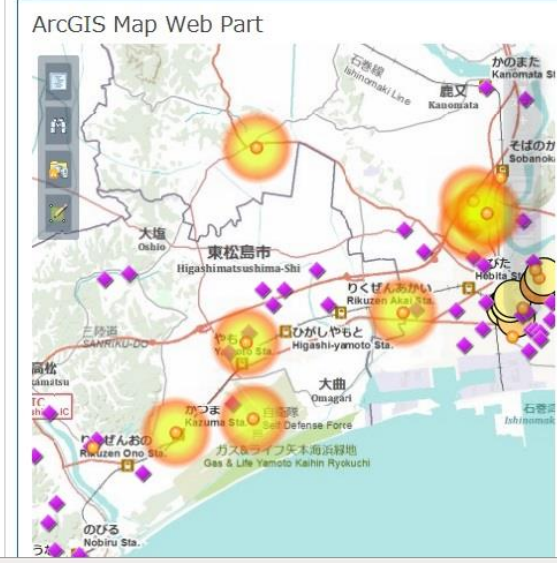
SharePoint ニュースフィード SkyDrive サイト SharePoint Administrator

参照 ページ アプリケーション レイア シンボル テキストの書式設定 挿入 WEB パーツ

削除 描画順序: 透過表示 フィルタ すべて選択 ズーム マップを画面移動またはズームしたときに更新 マップ範囲内のフィーチャのみを取得
名前の変更 前面へ移動 ポップアップ エクスポート 更新を確認 キャッシュサイズ 1000
背面へ移動 テーブル 近傍検索 間隔: 10 Seconds 自動更新 フィーチャの取得

ホーム
ドキュメント
サイト コンテンツ
リンクの編集

ArcGIS Map Web Part



ArcGIS Map Web Part

外観

タイトル
ArcGIS Map Web Part

高さ
Web パーツの高さを固定しますか?
☐ はい ☒ いいえ (領域に合わせて高さを調整)

幅
Web パーツの幅を固定しますか?
☐ はい ☒ いいえ (領域に合わせて幅を調整)

枠の状態
☐ 最小化 ☒ 標準

枠の種類
既定

レイアウト

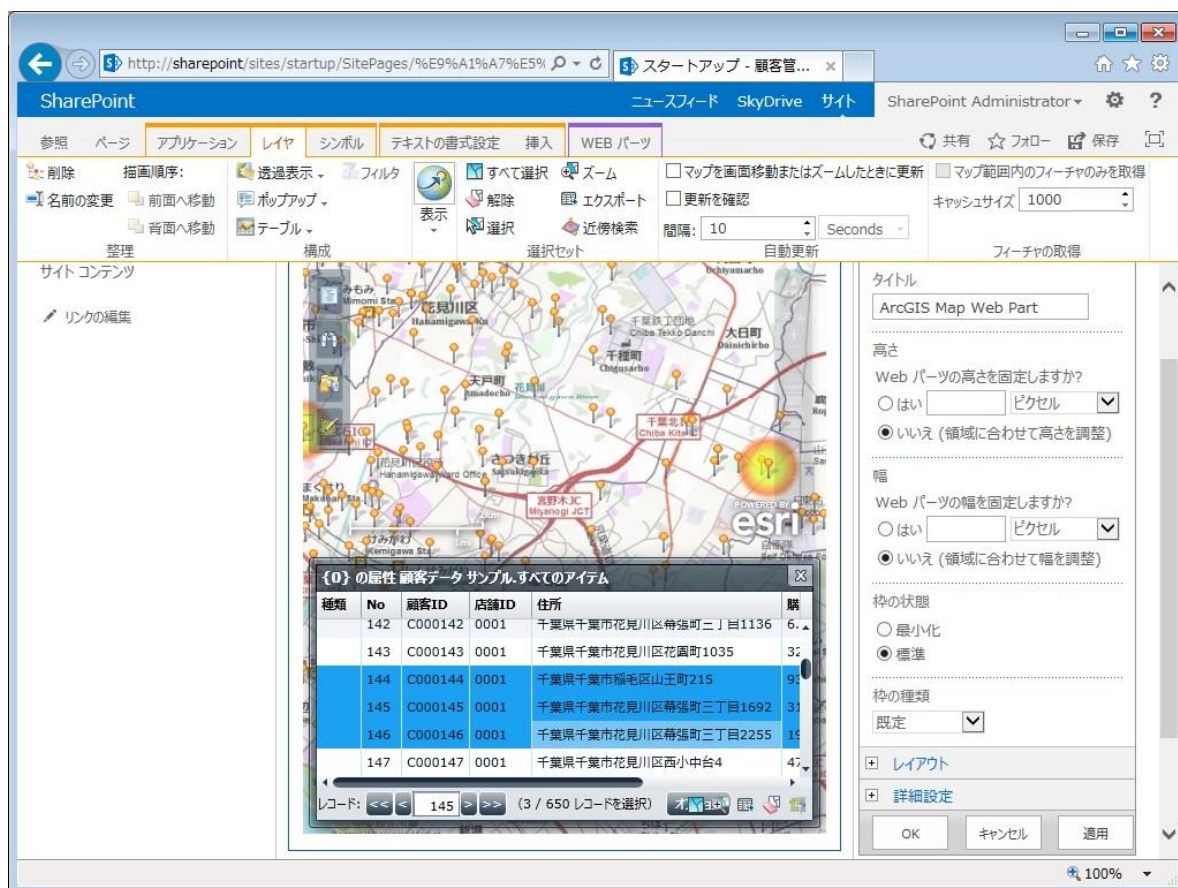
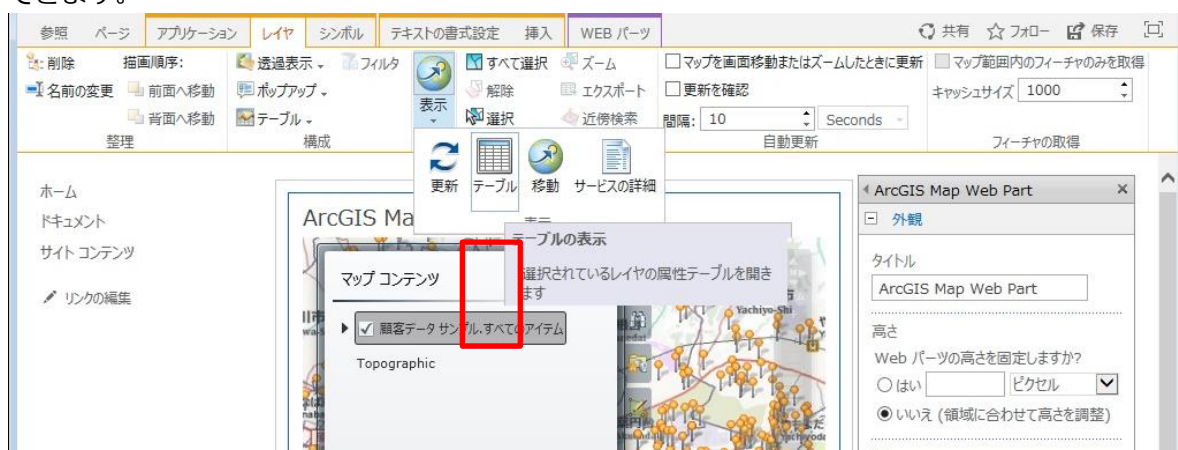
100%

http://sharepoint/my/default.aspx

そのほか、[選択セット] グループには、フィーチャの選択や解除、近傍検索、フィルタなどフィーチャに対する操作が含まれます。また、[エクスポート] ツールでは、選択したフィーチャをテキスト ファイルにエクスポートすることも可能です。

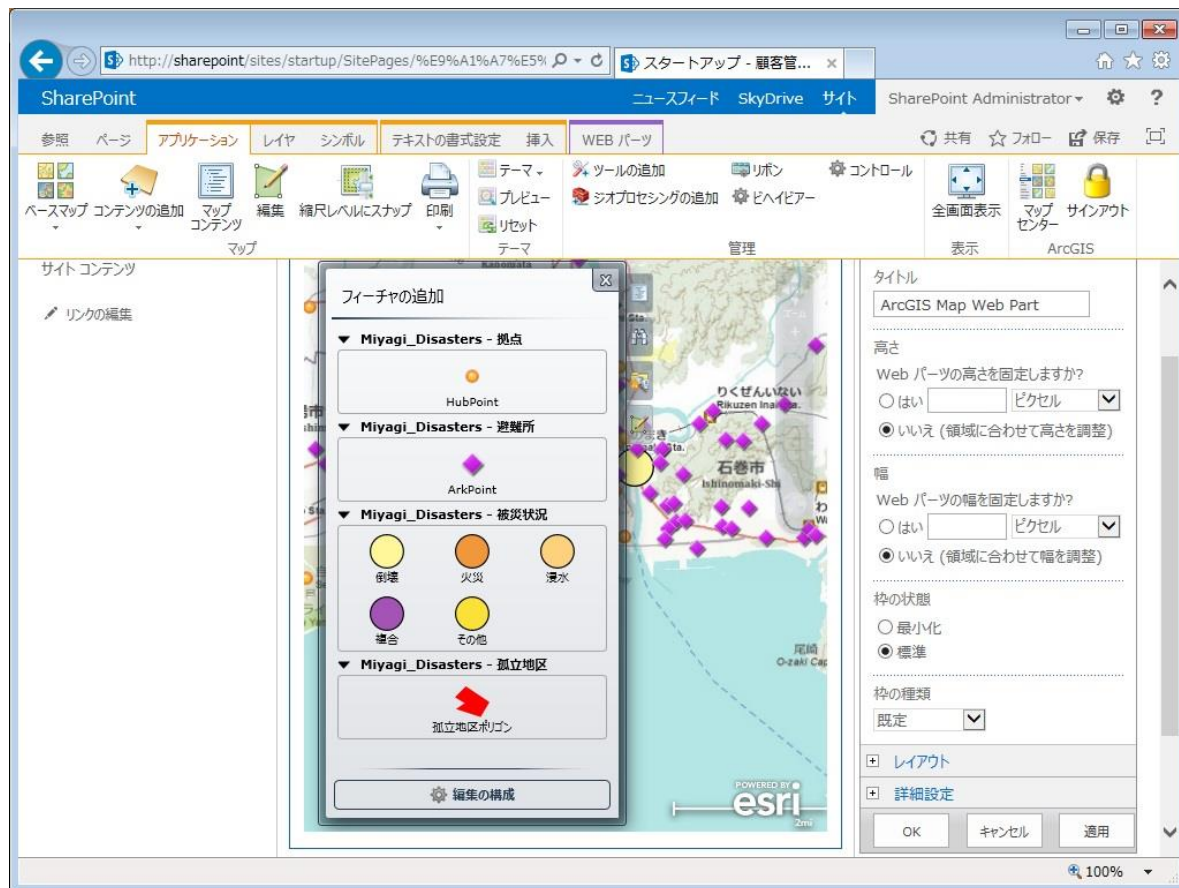
テーブル

[レイヤ] リボン→[表示] グループ→[テーブル] ツールを実行すると、コンテンツ ペインで選択されているレイヤの属性情報をテーブル形式で一覧を表示させることも可能です。さらに、テーブルでの選択とフィーチャの選択が連動するため、テーブルを確認しながら、該当のフィーチャの場所を確認することができます。



フィーチャの編集

ArcGIS Map Web パーツの特徴の一つに、編集可能な フィーチャ サービスを参照している場合、そのデータを地図上でも編集することが可能です。たとえば、新たなに地物を追加したり、場所を修正したり、属性の値を更新したりすることが可能です。



詳細は、下記リンク「フィーチャの編集」をご参照ください。

- フィーチャの編集：

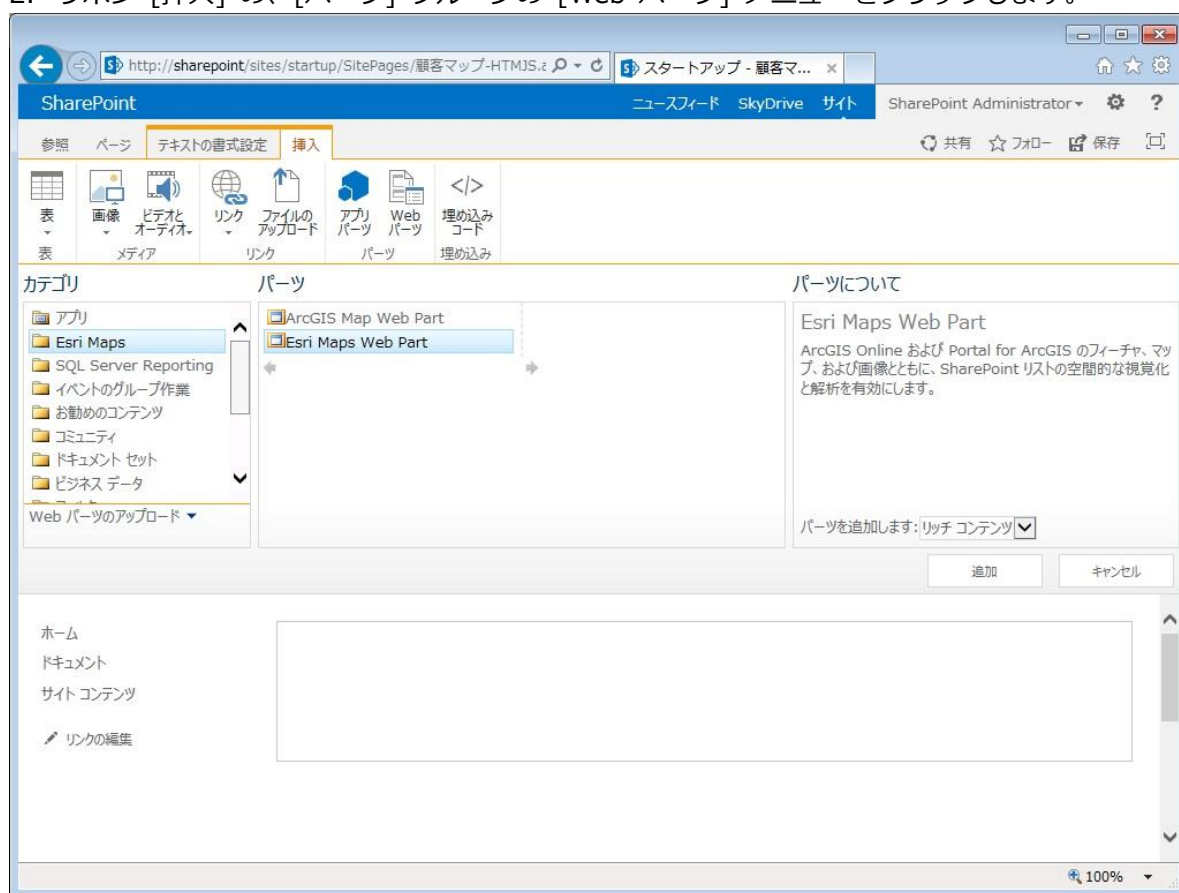
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/edit-features.htm>

SharePoint Web ページの作成（Esri Maps Web パーツ）

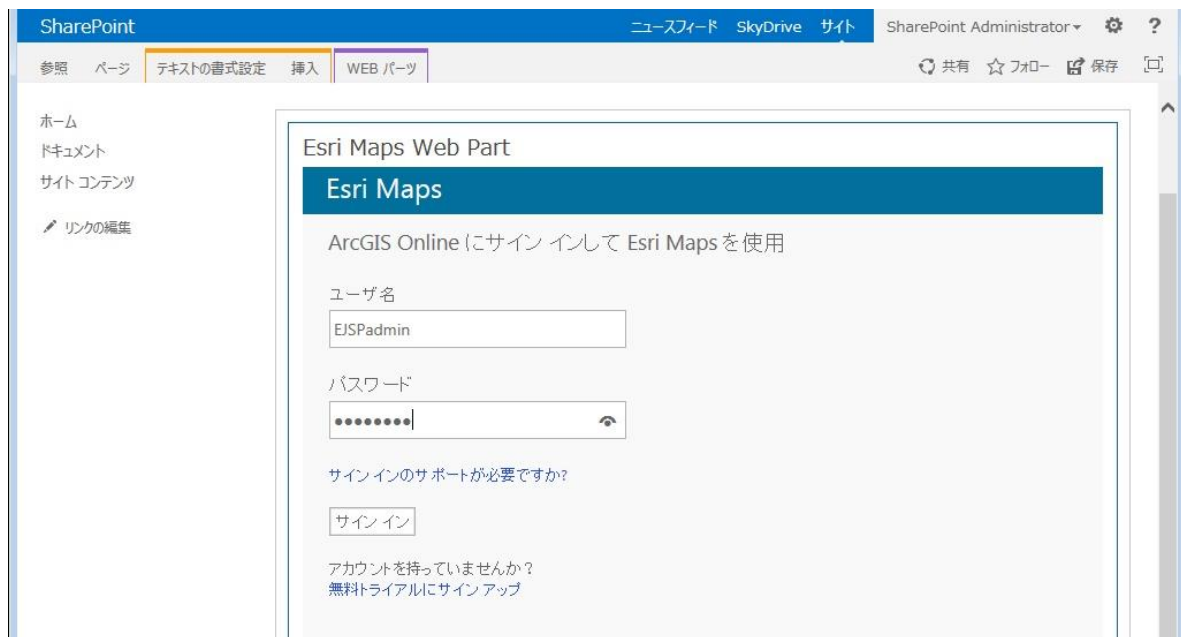
Esri Maps Web パーツを利用した、SharePoint Web ページの作成方法について説明します。
この項では、Esri Maps Web パーツ（HTML/JavaScript ベースの Map Web パーツ）を Web ページに配置して、GIS データ化した、SharePoint リストを読み込み、表現を変更し、空間的に捉える方法について説明します。

Esri Maps Web パーツの配置

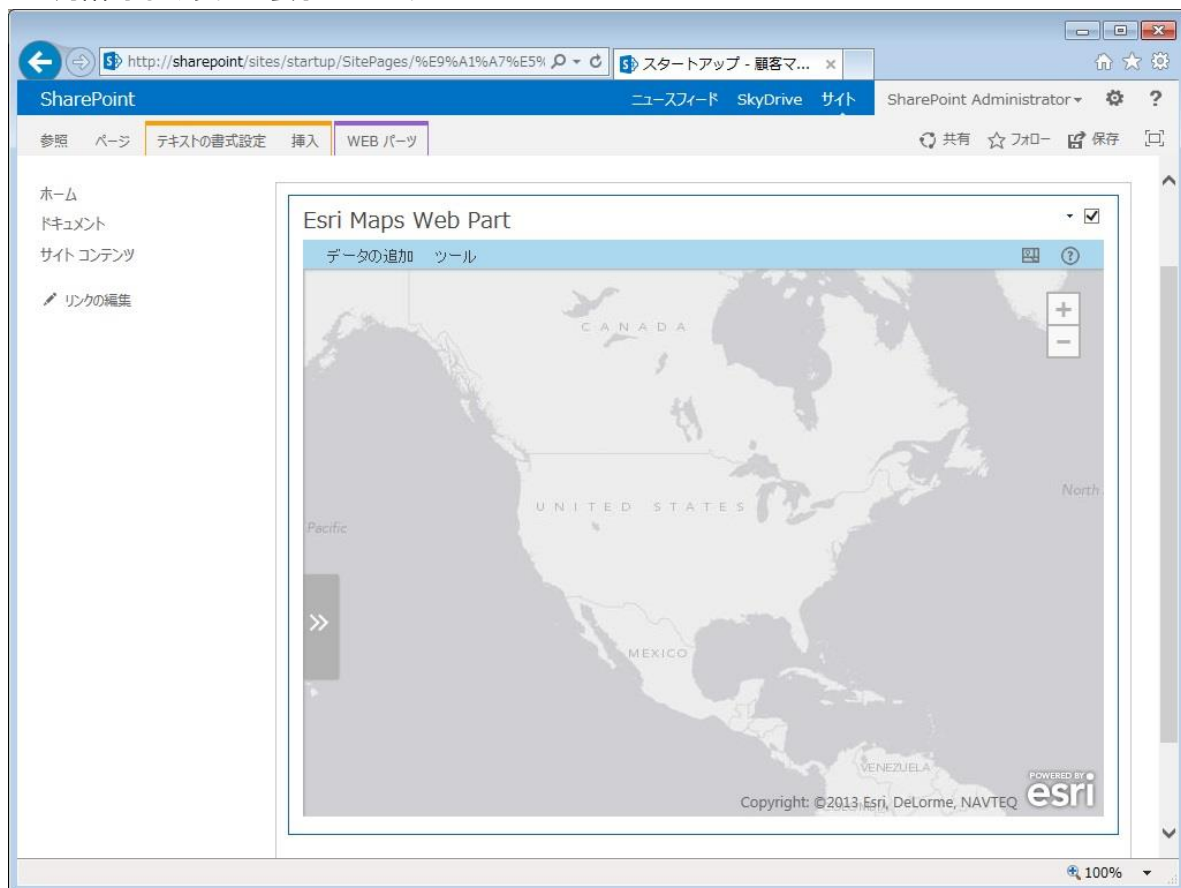
1. 新規 Web ページ（Wiki ページ もしくは Web パーツ ページ）を作成します。
2. リボン [挿入] の、[パーツ] グループの [Web パーツ] メニューをクリックします。



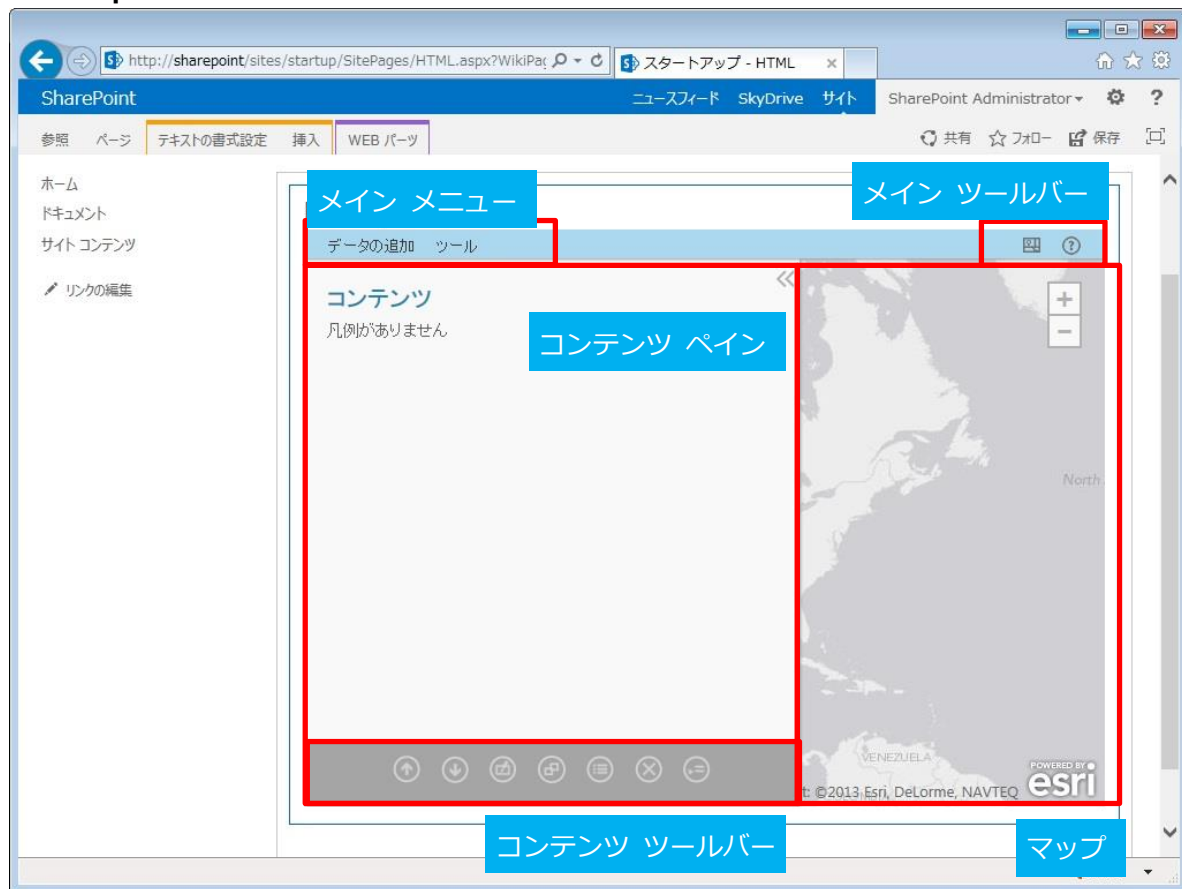
3. Web パーツ一覧が表示されます。[Esri Maps] カテゴリをクリックし、[Esri Maps Web パーツ] を選択し、[挿入] ボタンをクリックします。（Web パーツ ページの場合、該当のセクションの [Web パーツの追加] ボタンから、同様に Esri Maps Web パーツを追加します。）
4. ArcGIS Online 組織アカウントでサイン インします。



5. 対話的なマップが表示されます。



Esri Maps Web パーツの画面説明



コンテンツ ペイン

コンテンツ ペインでは、マップに追加されたレイヤの一覧が表示されます。さらに、メイン メニュー、メイン ツールバー、コンテンツ ツールバーで設定されているツールの設定や実行を開始します。

Esri Maps Web パーツの構成

Esri Maps Web パーツは、HTML/JavaScript ベースの Map Web パーツです。ArcGIS Map Web パーツと同様にレイヤの構成が可能です。一方 ArcGIS Map Web パーツのようにリボンメニューではなく、Web パーツ内にツールとして機能が追加されます。編集モードで利用する機能を構成することができます。Esri Maps Web パーツの構成では、下記の項目を構成することで、Esri Maps Web パーツを参照モードで利用する際に、あらかじめ設定しておきたい内容に構成することができます。

- ベースマップ（背景地図）
- 利用するレイヤ
- マップの表示範囲
- レイヤの属性情報を表示するポップ アップ
- 属性テーブルの表示項目
- ツール メニューの構成

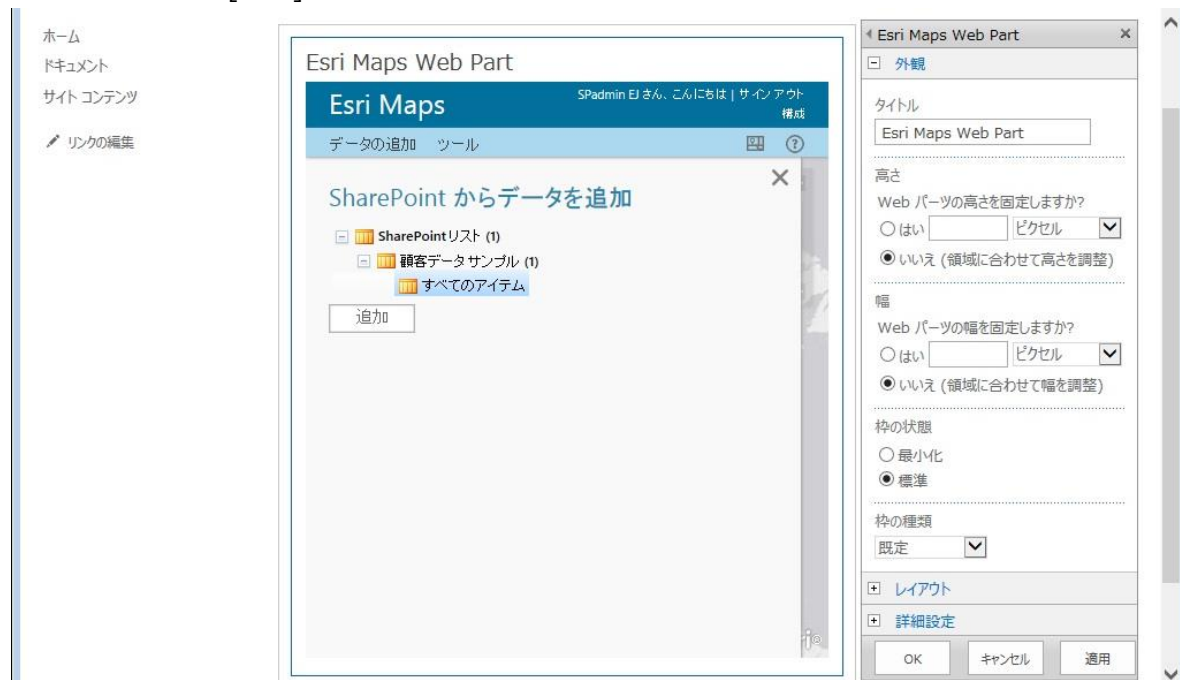
以下では、Esri Maps Web パーツに上記で GIS データ化した SharePoint リストを Esri Maps Web パーツに追加し、ベースマップの変更等を構成する方法を紹介します。構成は、ArcGIS Map Web パーツ同様に**編集モード**で行います。

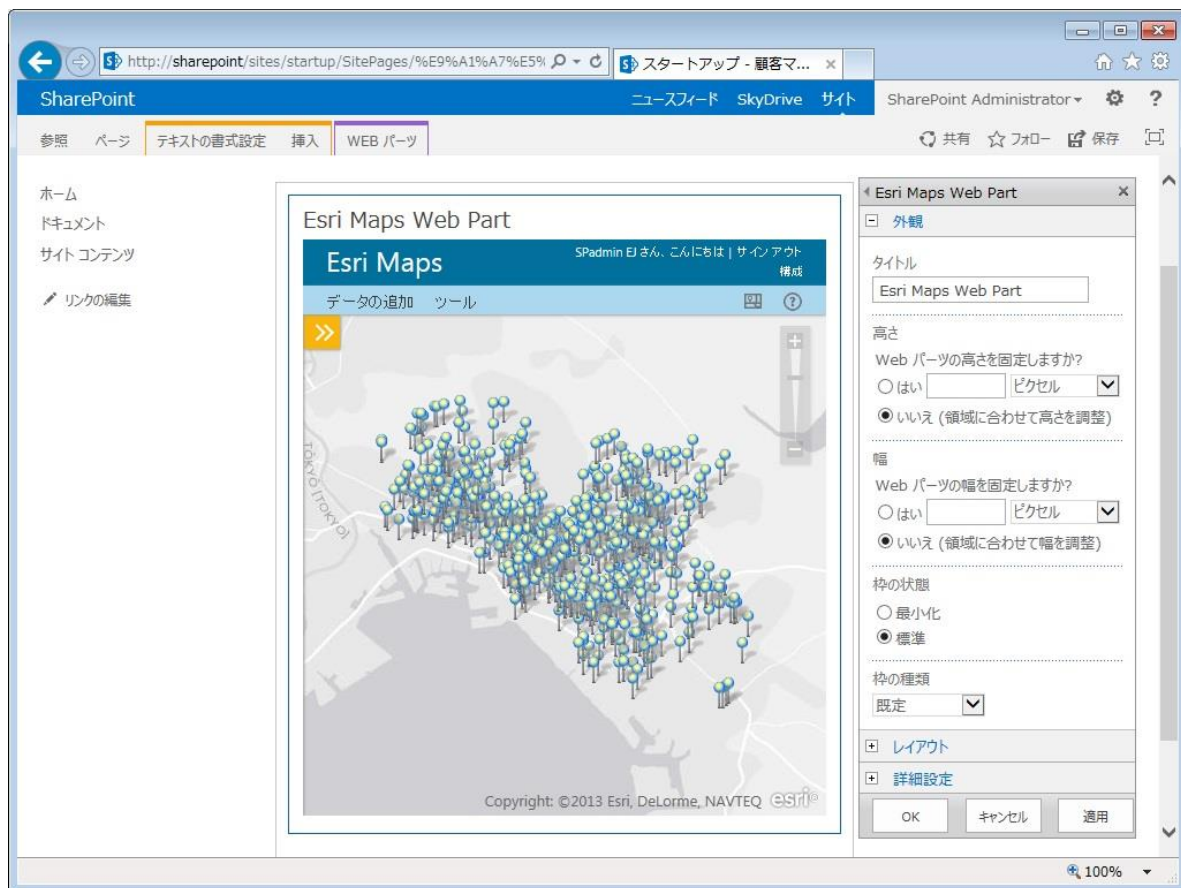
編集モードへは、Esri Maps Web パーツの右上の [▼] をクリックし、[Web パーツの編集] をクリックして移動します。

Esri Maps Web パーツの編集モードでは、リボン メニューには、はじめの参照モードと同様に [アプリケーション]、[レイヤ] グループ、そして [シンボル] グループが表示され、すべてのメニューが表示されます。

SharePoint リストをレイヤとして追加



1. ArcGIS Online 組織アカウントでサイン インします。
2. [データの追加] メニューの [SharePoint からデータを追加] ツールをクリックします。
3. マップの左のマップコンテンツ ペインに [SharePoint からデータを追加] が表示されます。
4. 現在の SharePoint Web サイトをサイト コンテンツ内の SharePoint リストが表示されます。
5. 各 SharePoint リスト名の左 [+] で展開し、レイヤとして追加する SharePoint リストのビューを選択します。[追加] ボタンをクリックして、マップに追加します。

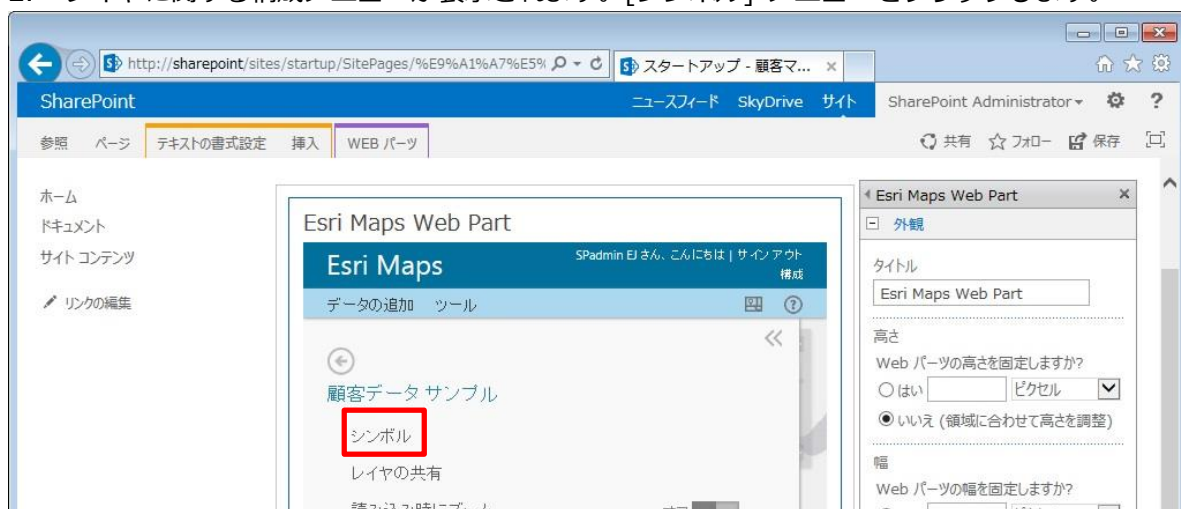




レイヤの構成

追加したレイヤのシンボルの設定や属性表示のポップアップの設定を行います。

1. [マップ コンテンツ] ペインにある追加したレイヤ右の  ボタンをクリックします。([マップ コンテンツ] が表示されていない場合は、 をクリックして開きます。)
2. レイヤに関する構成メニューが表示されます。[シンボル] メニューをクリックします。



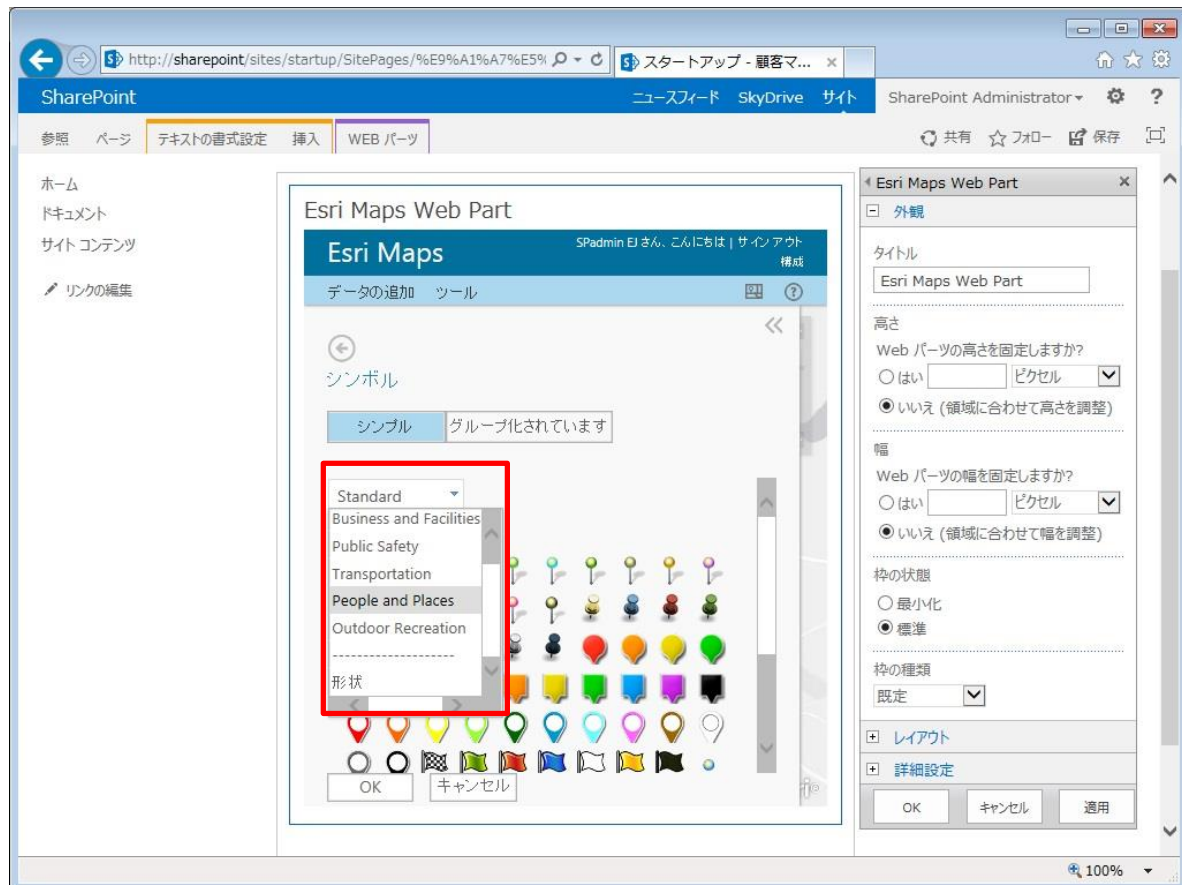
シンボルの設定のペインが表示されるので、必要なシンボル設定を行います。

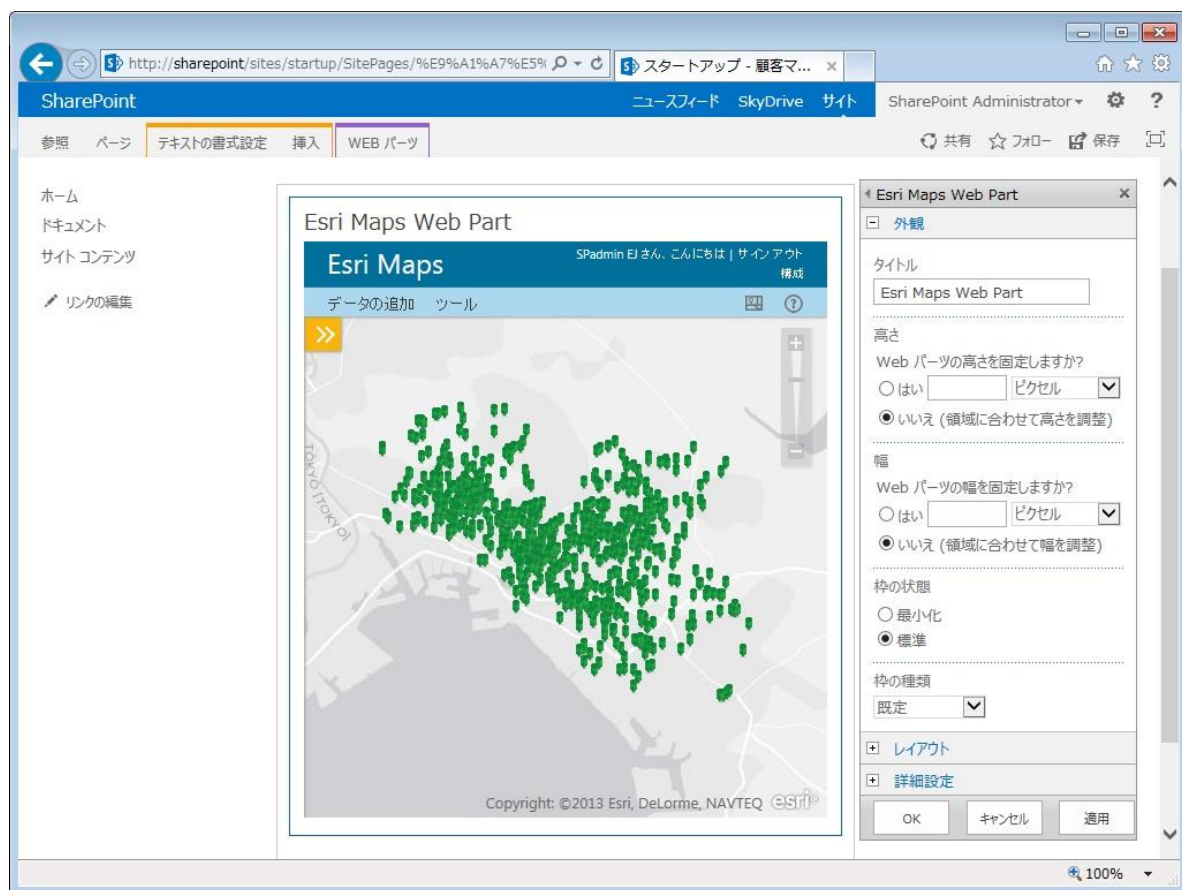
シンボル設定のメニュー説明

シンプル

レイヤのフィーチャすべてに対して、同じスタイルのシンボルを設定します。

シンボル スタイルに、数種類のスタイルを提供しており、目的に合わせたスタイルのシンボルを選択することができます。

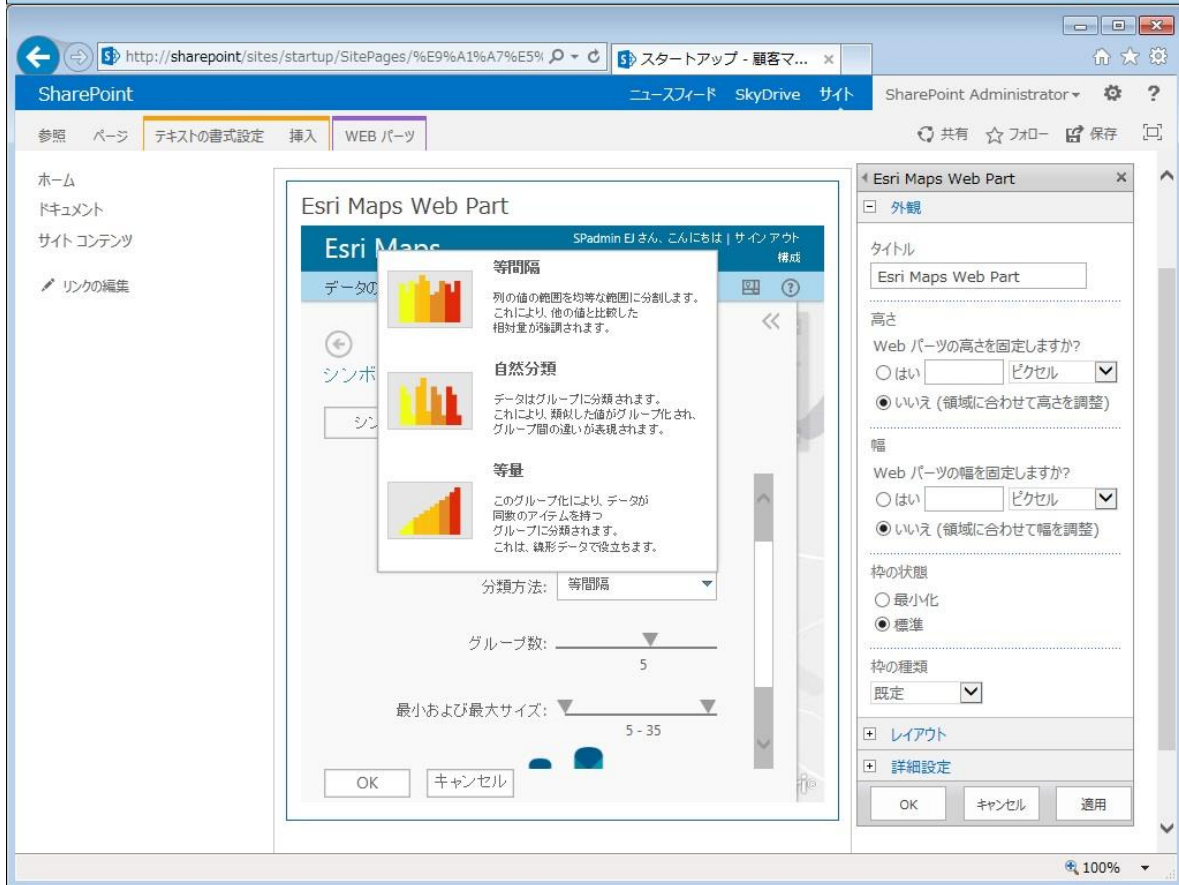
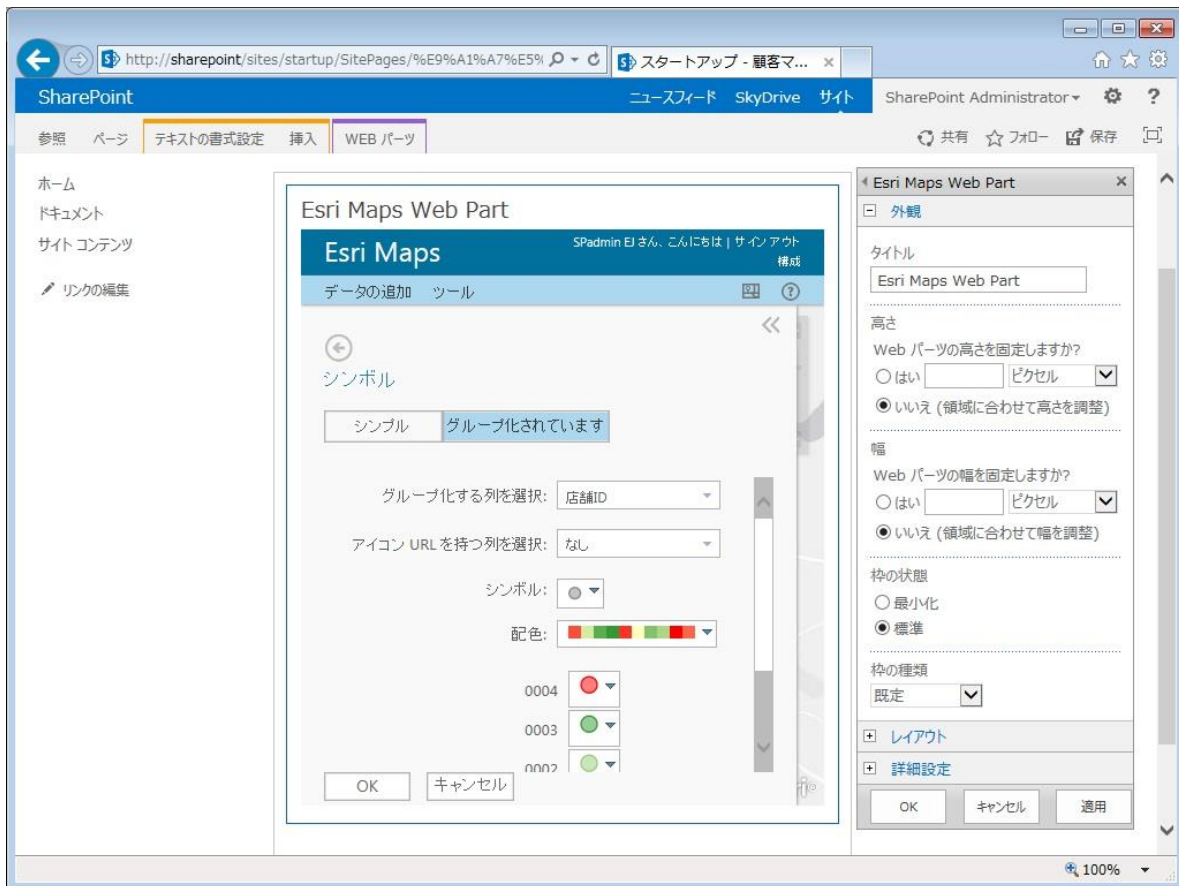


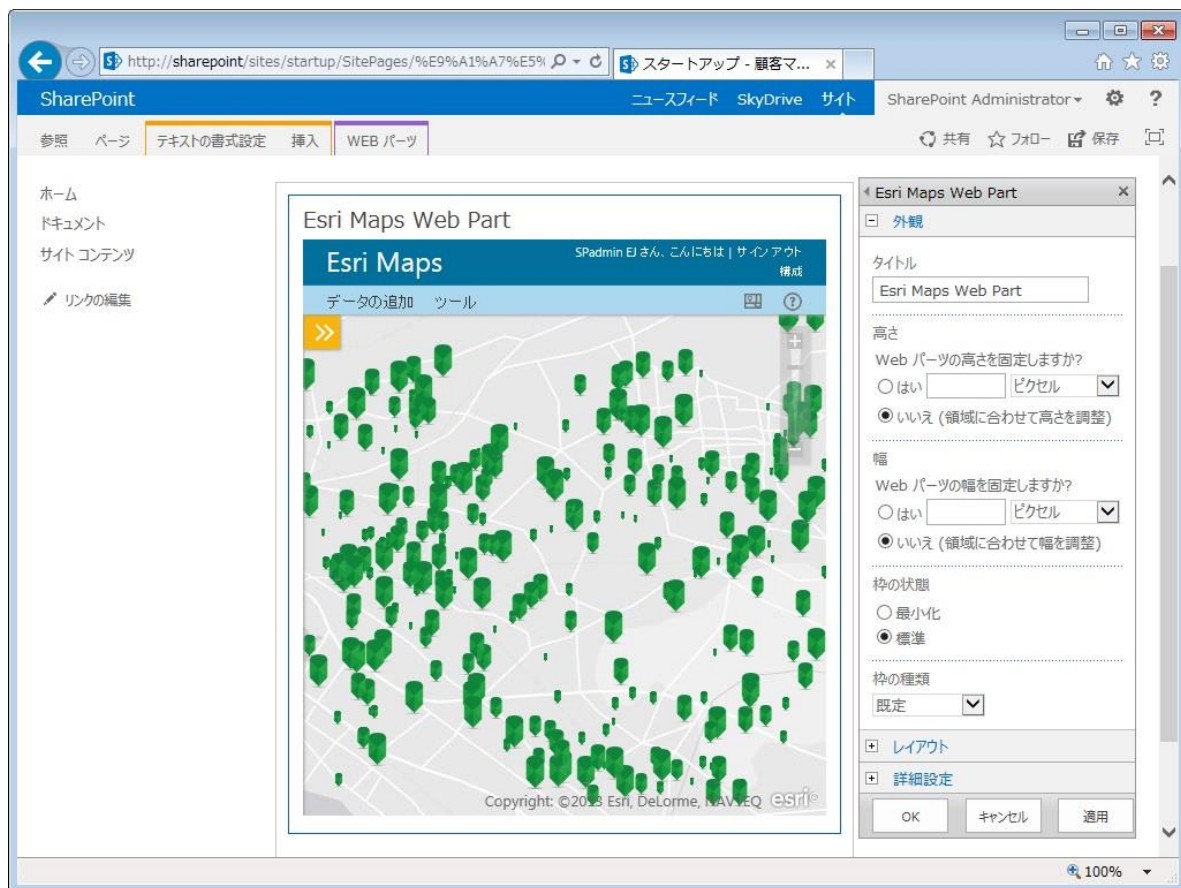


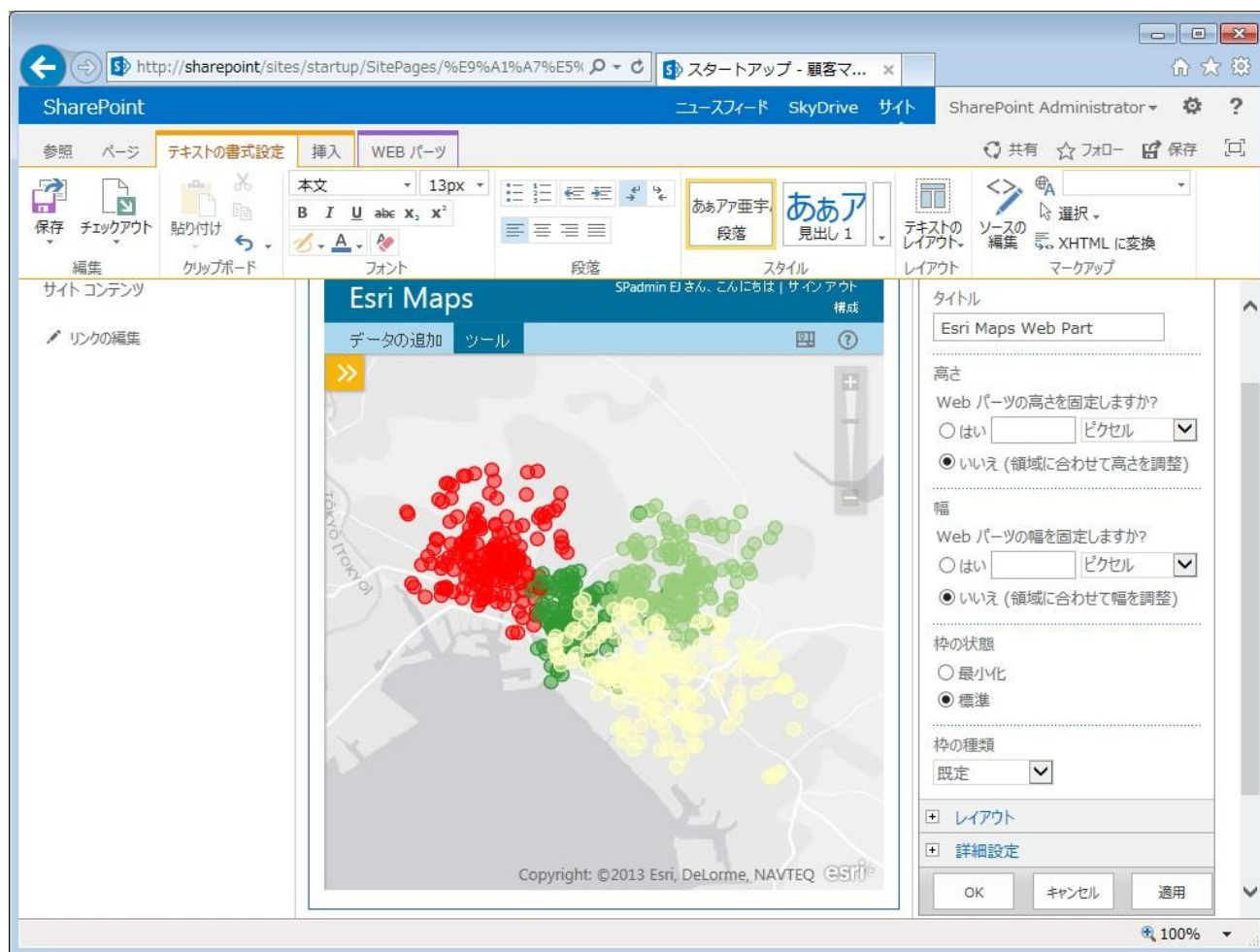
グループ化

フィーチャの属性値によって、カテゴリで分類もしくは、数値の範囲で分類して、各分類に対してシンボル（サイズや色）を適用します。たとえば、サンプル データでは、店舗 ID といったカテゴリで分類し、来店回数などの数値の情報によっていくつかの範囲を作成し、その範囲にフィーチャを分類し、サイズや色でそれぞれの分類データを表現することができます。

シンボル設定メニューで、グループ化のボタンをクリックし、フィーチャのグループ化の表現方法を選択します。もしグループ化する基準として数値の値を持つ属性を選択した場合は、分類方法をして値に合わせた分類方法を選択することもできます。







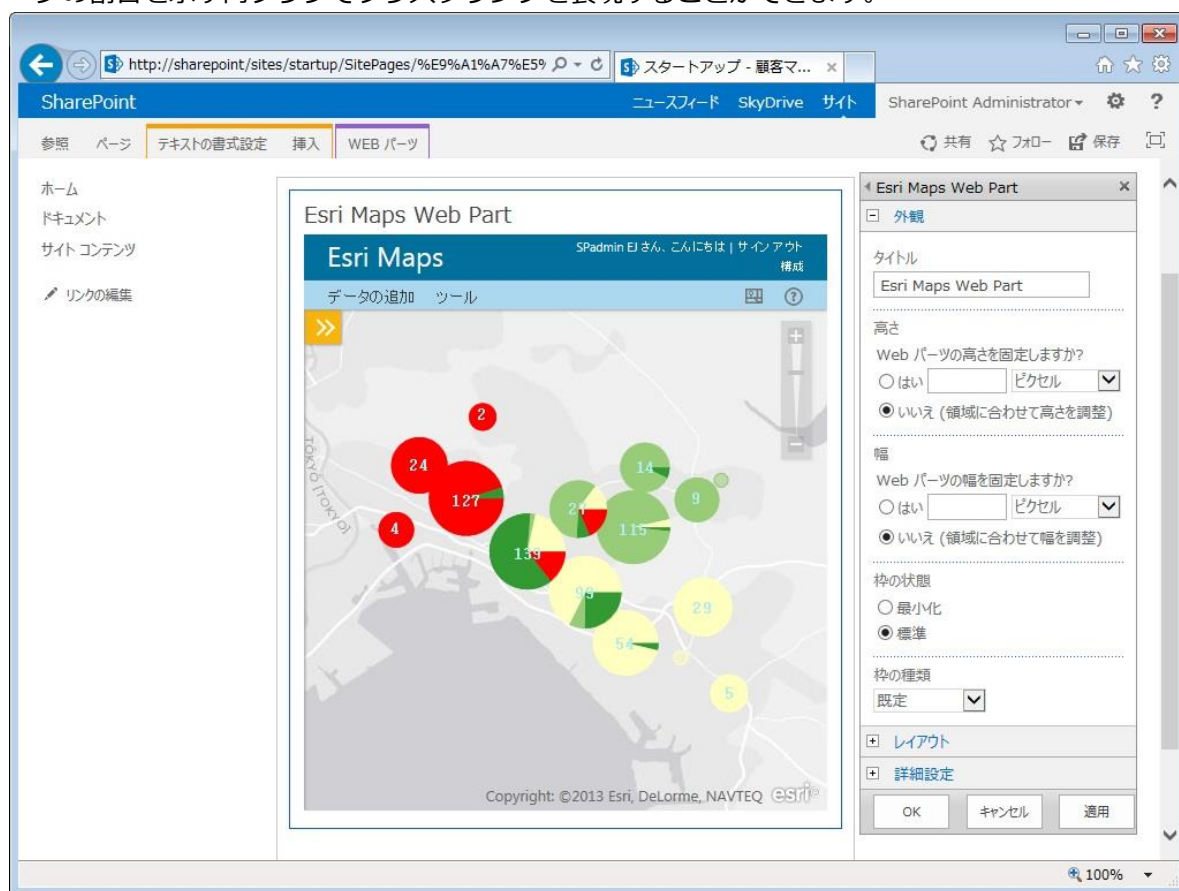
そのほか、ArcGIS Map Web パーツ同様、クラスタリングおよびヒートマップの追加を行うことができます。


✓ クラスタリング

レイヤ構成メニューの [クラスタリング] トグルスイッチを [オン] にすることで、クラスタリングを有効にすることができます。



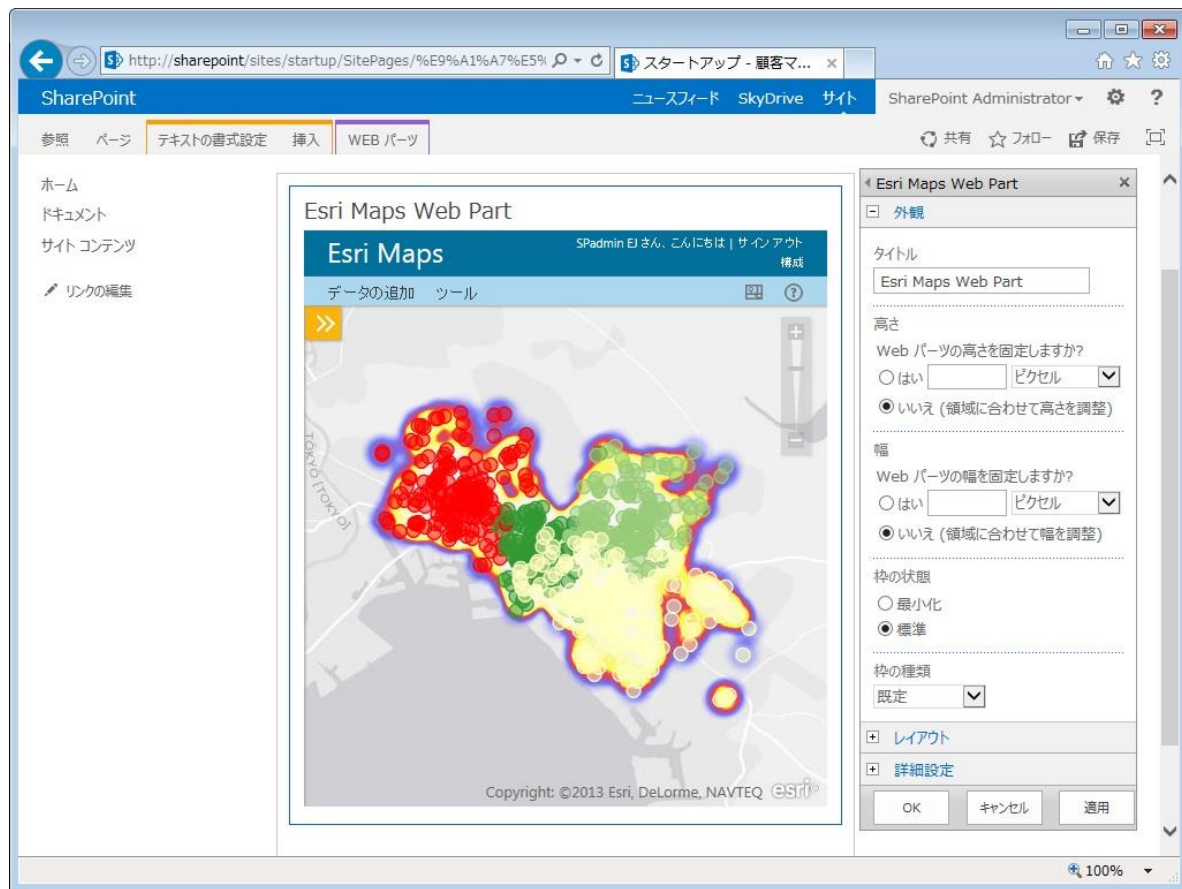
Esri Maps Web パーツの表現の特長として、シンボルのスタイルに [形状] を選択し、かつグループ化してある場合に限り、クラスタリングを有効にすると、クラスタリング内に含まれるフィーチャの各グループの割合を示す円グラフでクラスタリングを表現することができます。



また、トグル スイッチの隣にある  で、クラスタリングでポイントを集計する範囲やテキストの色などを構成することも可能です。

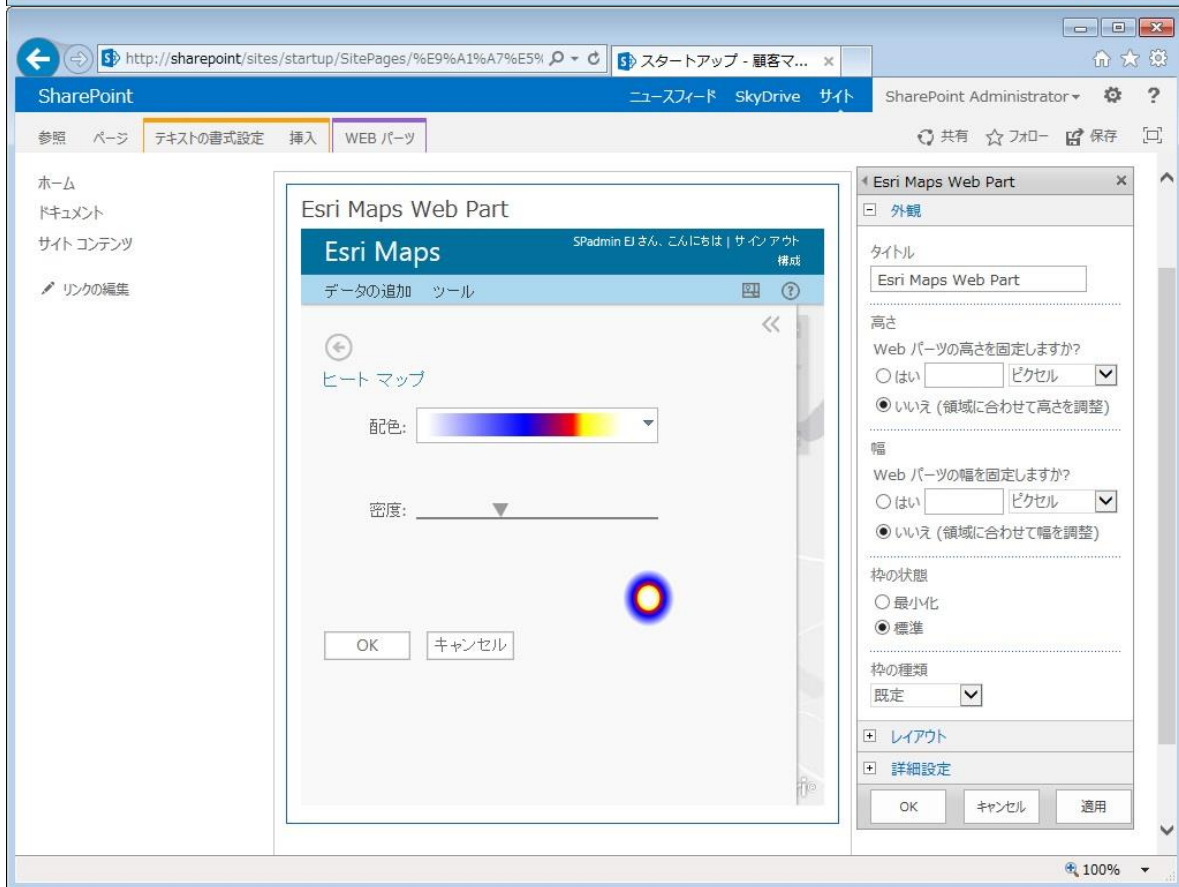
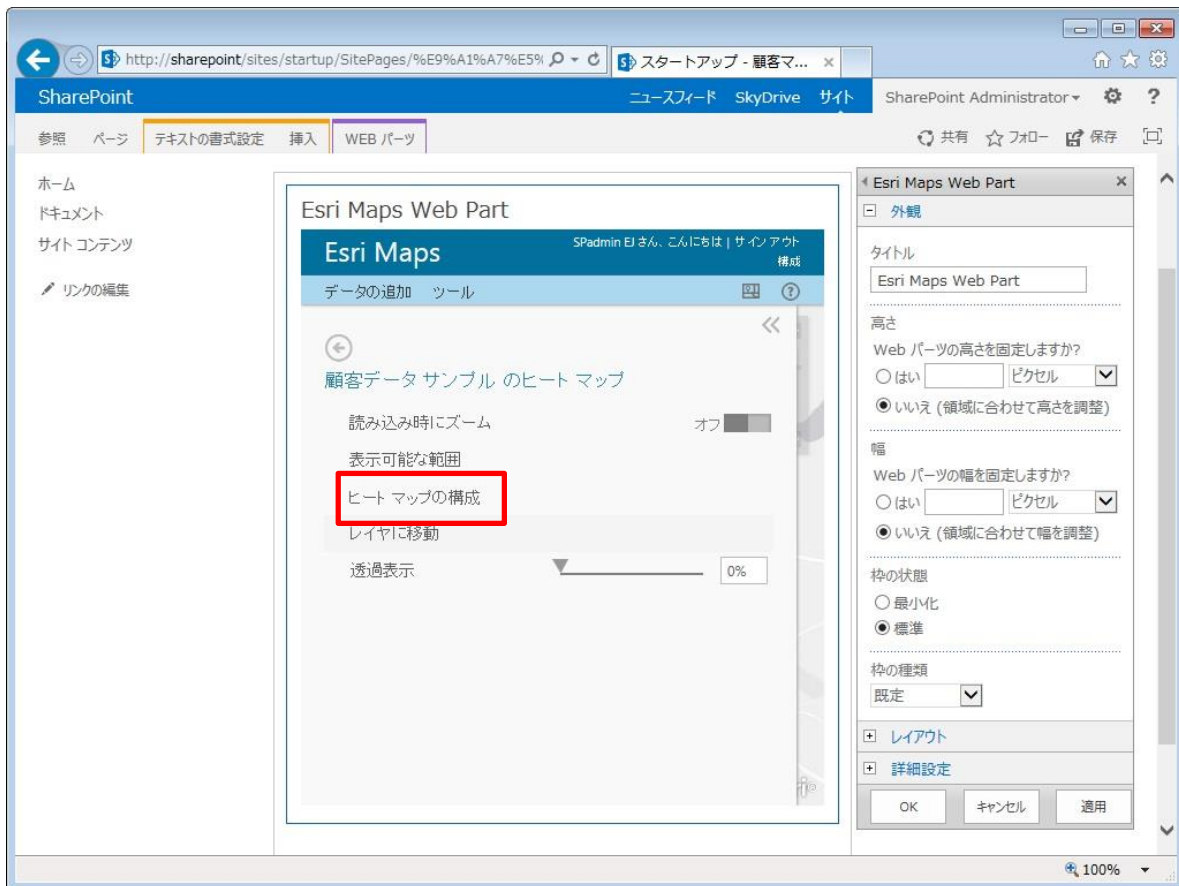
✓ ヒートマップの追加

ポイントフィーチャを含むレイヤのレイヤ構成ペインで、[ヒート マップの追加] メニューをクリックすると、そのレイヤのヒート マップ レイヤが生成され、マップに追加されます。





このとき、クラスタリングを無効にする必要があります。

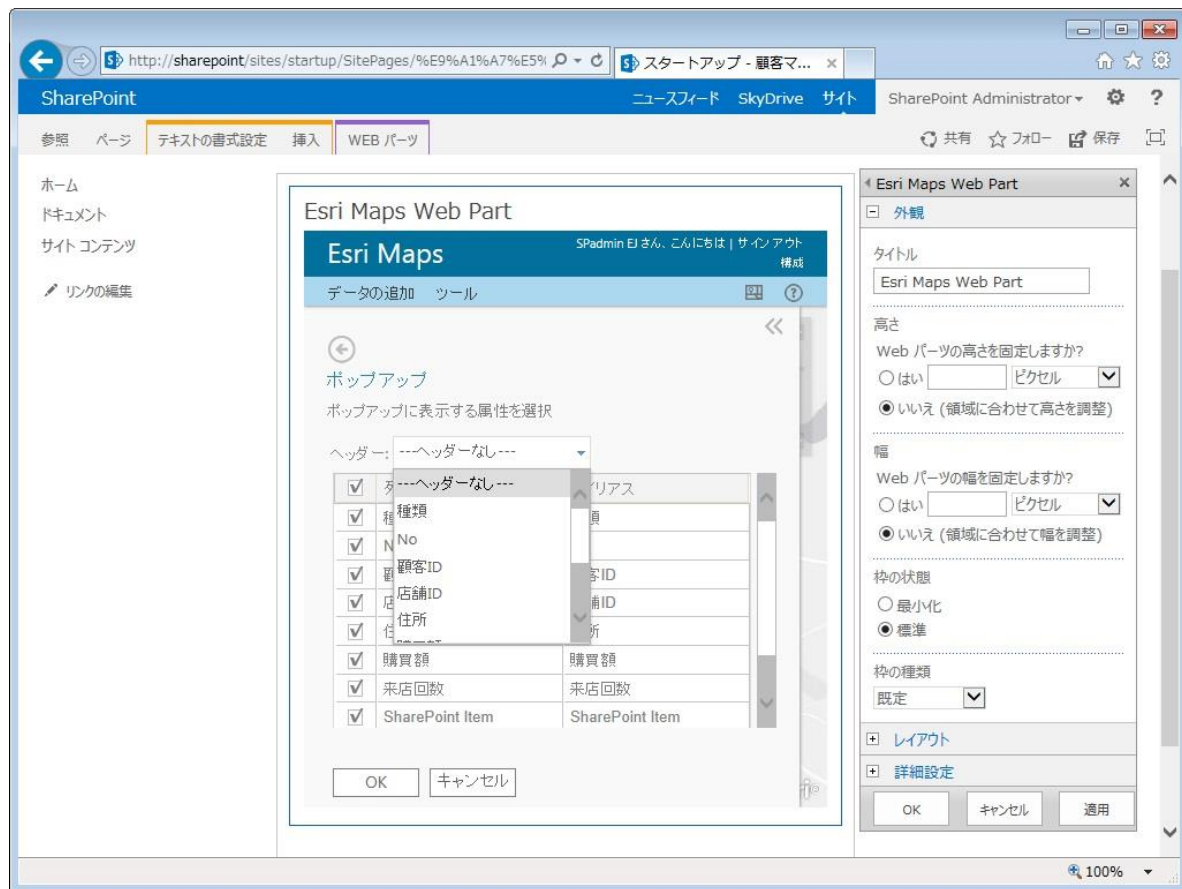
また、追加されたヒート マップ レイヤの表示範囲や透過設定を行う場合、レイヤ構成メニューで、[ヒート マップの構成] メニューをクリックして、ヒート マップの配色や密度を構成することができます。

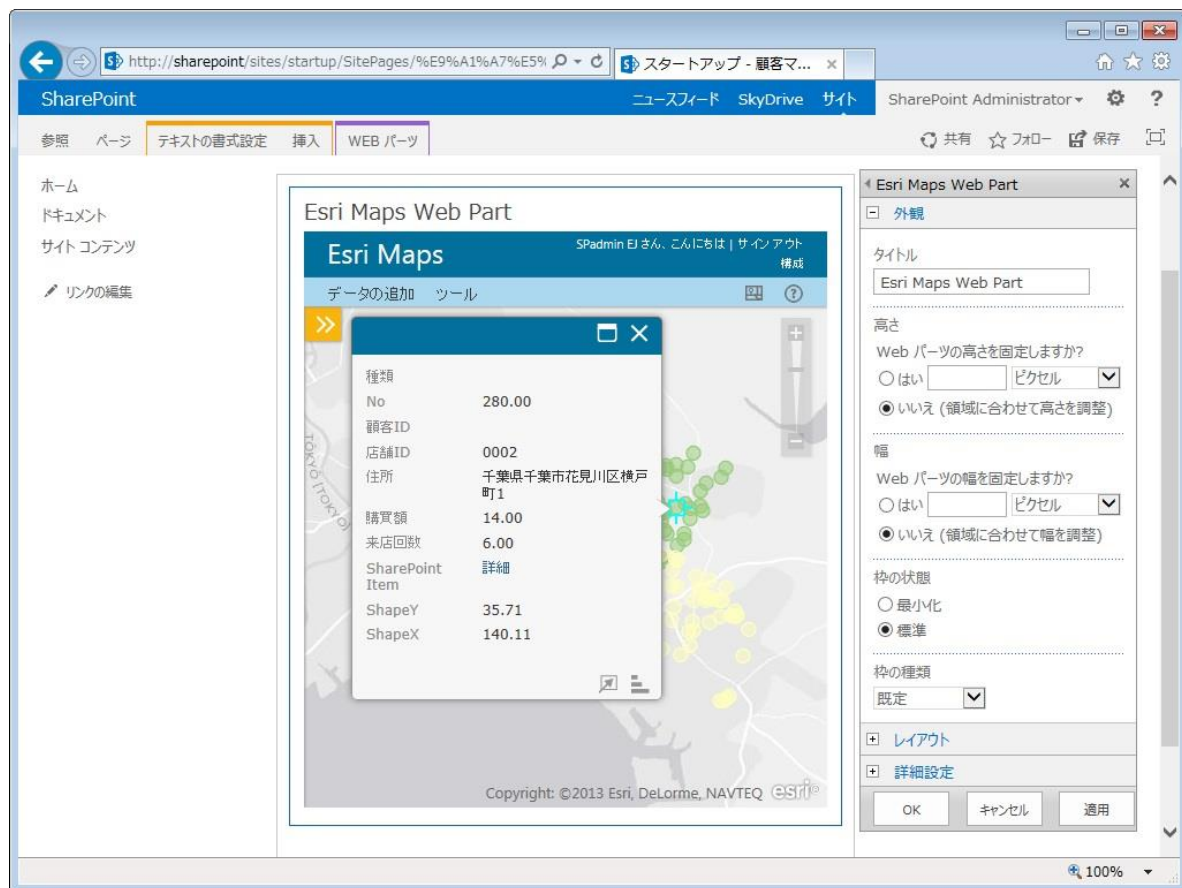


属性表示のポップ アップの構成

ここでは、表示されているフィーチャをクリック、もしくはマウス ホバーした際に表示される、そのフィーチャの属性を表示するウィンドウの構成を行います。

1. 対象のレイヤの  をクリックして、レイヤ構成メニューを表示します。
2. [ポップアップ] トグル スイッチを [オン] にします。
3.  をクリックして、ポップ アップのヘッダーに用いるフィールド、値を表示させたいフィールドを選択します。




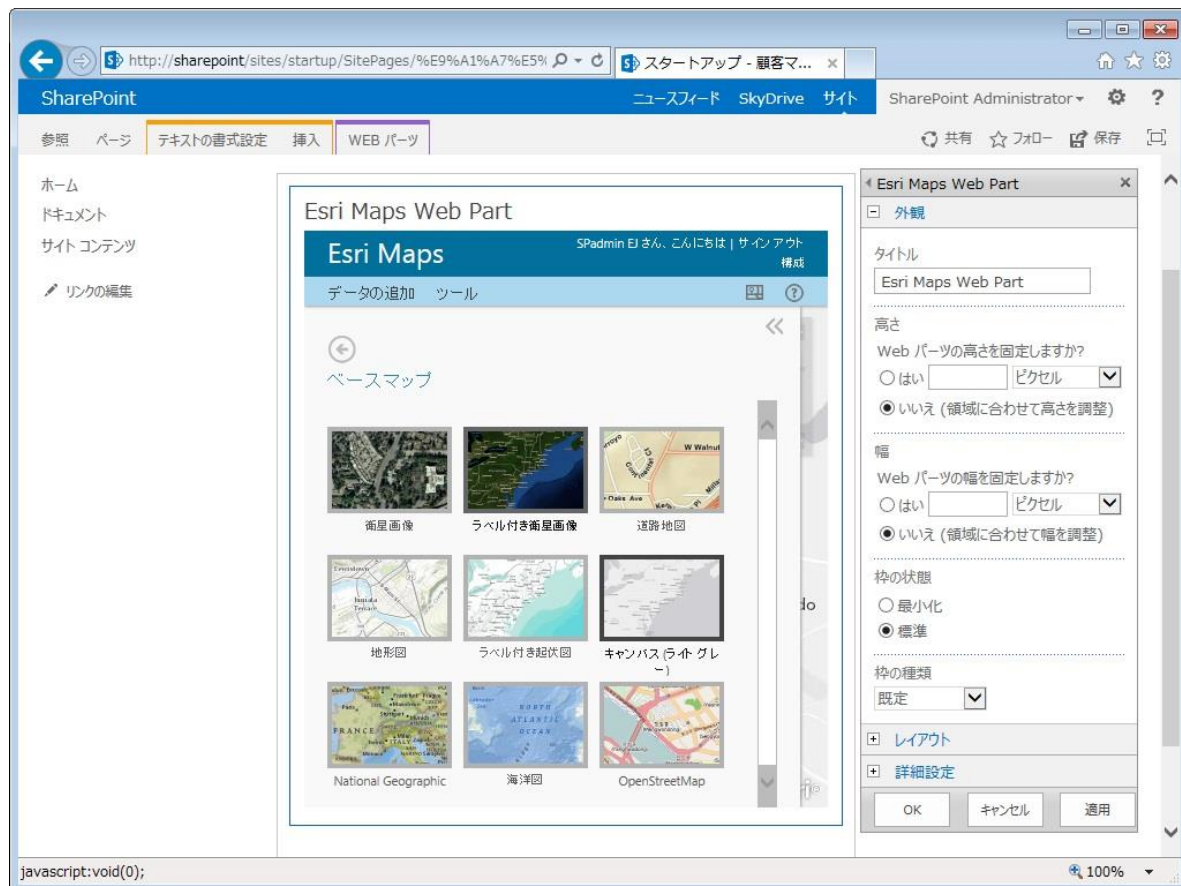


ポップ アップメニューについては、ツールの構成をご参照ください。

ベース マップの変更

ArcGIS Online ではすぐに使えるさまざまなベース マップを配信しており、それらのベース マップを目的に合わせて利用することができます。Esri Maps Web パーツでは、Esri Maps Base Maps リストのベース マップではなく、ArcGIS Online 組織サイトで定義されている ベース マップ ギャラリーから選択します。

1. ベース マップの変更は、メイン ツールバーに配置された  をクリックします。
2. [コンテンツ] ペインに ArcGIS Online ベース マップ ギャラリー内のベース マップ一覧が表示されます。
3. 目的に合ったベース マップを選択します。



http://sharepoint/sites/startup/SitePages/%E9%A1%A7%E5%... スタートアップ - 顧客マ...

SharePoint ニュースフィード SkyDrive サイト SharePoint Administrator

参照 ページ テキストの書式設定 挿入 WEB パーツ

ホーム
ドキュメント
サイト コンテンツ
リンクの編集

Esri Maps Web Part

SPAdmin EJ さん、こんにちは | サインアウト
構成

データの追加 ツール

Esri Maps

the GIS User Community | Copyright © 2013 Esri, Inc.

Esri Maps Web Part

外観

タイトル
Esri Maps Web Part

高さ
Web パーツの高さを固定しますか?
☐ はい ピクセル
☒ いいえ (領域に合わせて高さを調整)

幅
Web パーツの幅を固定しますか?
☐ はい ピクセル
☒ いいえ (領域に合わせて幅を調整)

枠の状態
☐ 最小化
☒ 標準

枠の種類
既定

レイアウト
詳細設定

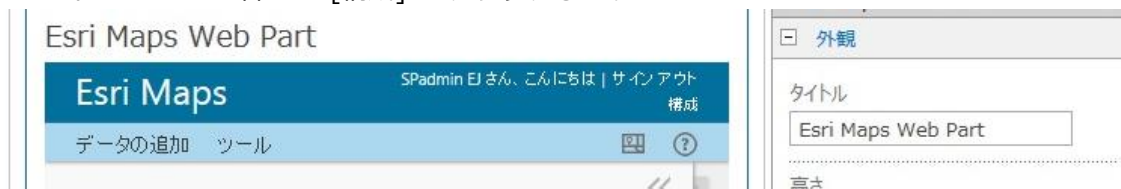
OK キャンセル 適用

100%

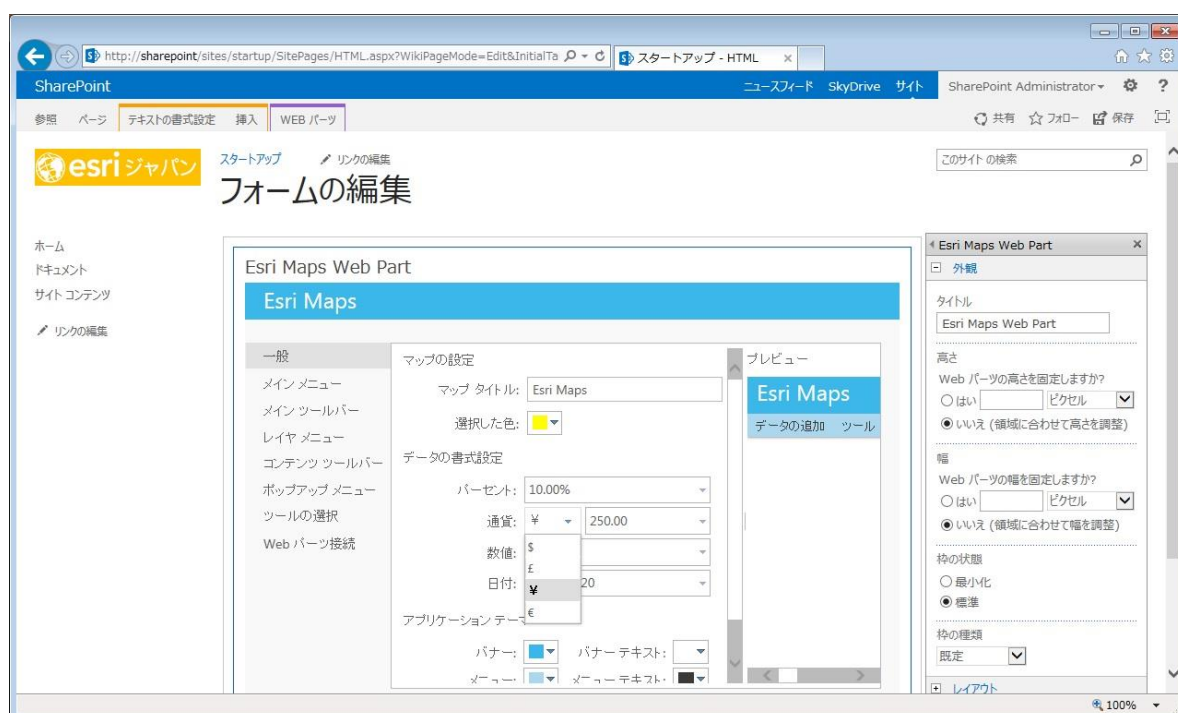
レイアウトやメイン メニューなどに含まれるツールの構成

Esri Maps Web パーツで、ユーザに利用させたい機能などを構成します。その他、レイアウトの配色やフォント スタイルなども構成可能です。

1. メイン メニュー右上の「構成」をクリックします。



2. Esri Maps Web パーツの構成ペインが全面に表示されます。



構成内容の説明

- ✓ 一般

タイトルや書式設定を行います。


- ✓ メイン メニュー

メイン メニューに表示させる機能を選択します。このときデフォルトで表示されている「データの追加」グループにある「SharePoint からデータを追加」メニューは編集モードでのみ表示されます。ユーザにこのツールをユーザに利用させたい場合は、メイン メニューのトップもしくは「ツール」グループ内に追加します。または、次のメインツールバーなどに追加します。

- ✓ メイン ツールバー

メイン ツールバーに含めるツールを選択します。

✓ レイヤ メニュー



レイヤの構成ボタン  をクリックした際に、表示されるレイヤの構成メニューに表示させる項目を選択します。

✓ コンテンツ ツールバー

コンテンツ ペイン下部に表示されるメニューに表示させる機能を選択します。レイヤのコピーや順序の変更などの機能があります。

✓ ポップ アップ メニュー

ポップ アップに表示される実行可能な機能を選択します。構成可能な機能は以下の 2 つです。

- ズーム  : 対象のポイントにズーム インする機能です。
- インフォグラフィックス  : ポップ アップを表示しているフィーチャ周辺の統計情報をグラフで表示させる機能です。詳細は、トピックスの [インフォグラフィックスの利用] をご参照ください。

インフォグラフィックスは、クレジットを消費します。クレジットの消費の詳細は下記リンク先「サービス クレジット」をご参照ください。

<http://www.esri.com/products/arcgis/online/arcgis-online/prices/>

✓ ツールの選択

レイヤのフィーチャを選択した際に、実行を許可するツールを選択します。

✓ Web パーツ接続

同じ SharePoint Web ページに配置されたその他 Web パーツ接続し、Web パーツ同士の通信を実現させたいレイヤを選択します。

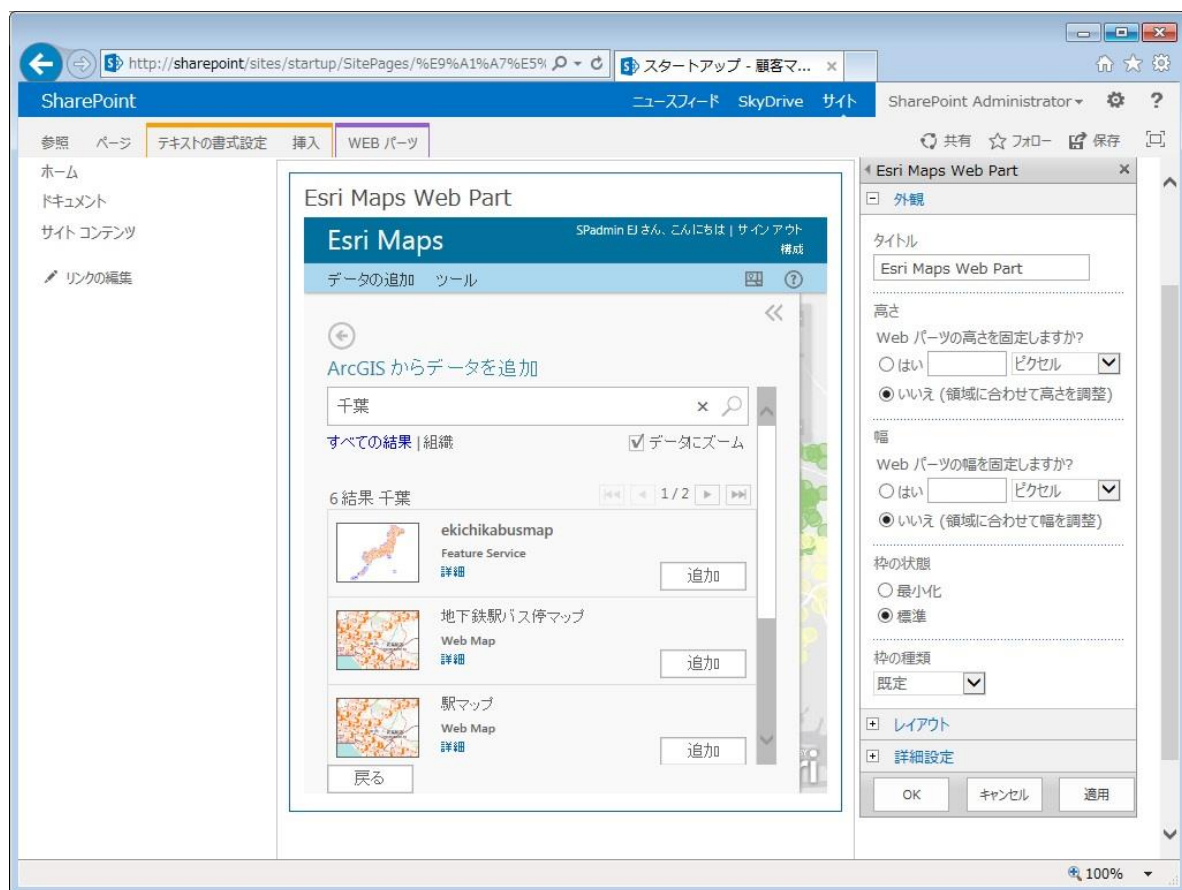
補足情報

その他コンテンツの追加

メイン メニュー [データの追加] グループの [ArcGIS からデータを追加] メニューにより、ArcGIS Online のコンテンツを追加することができます。

追加できる ArcGIS Online は下記の通りです。

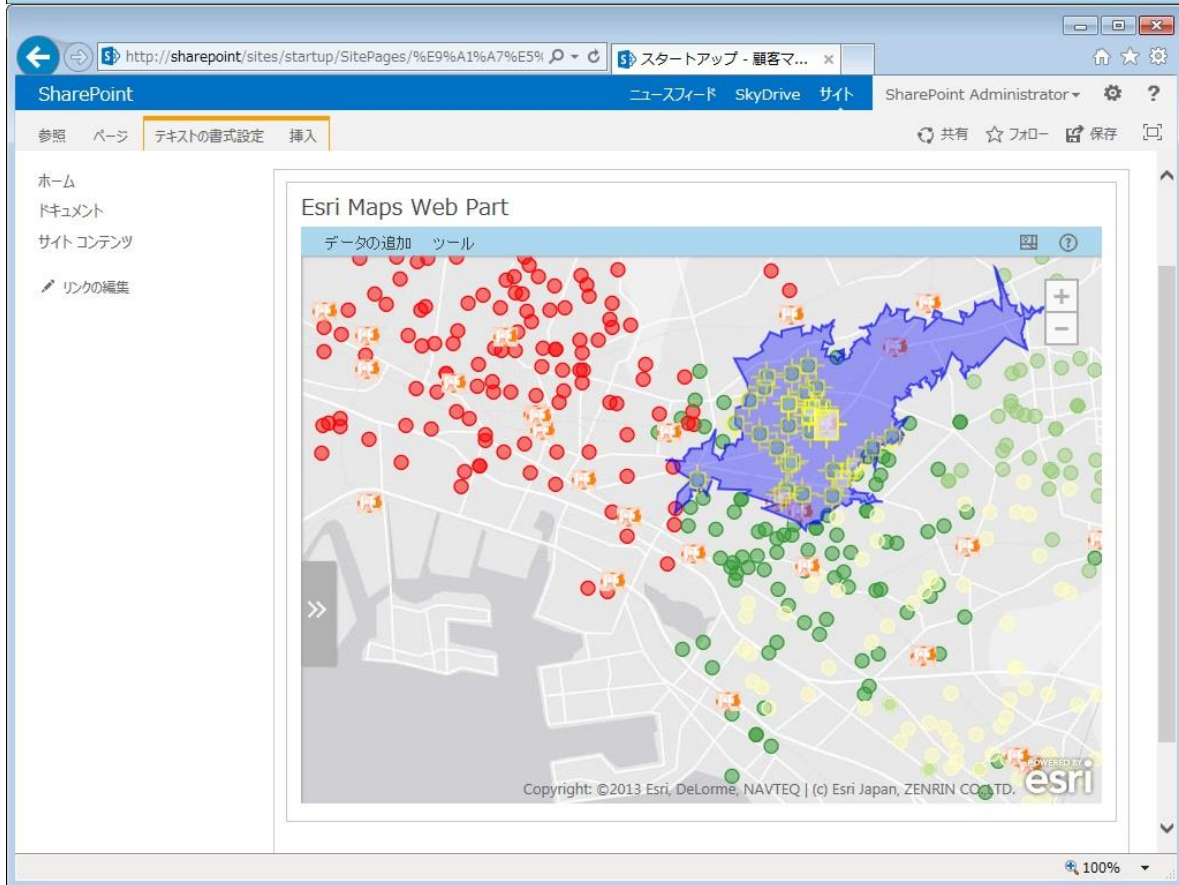
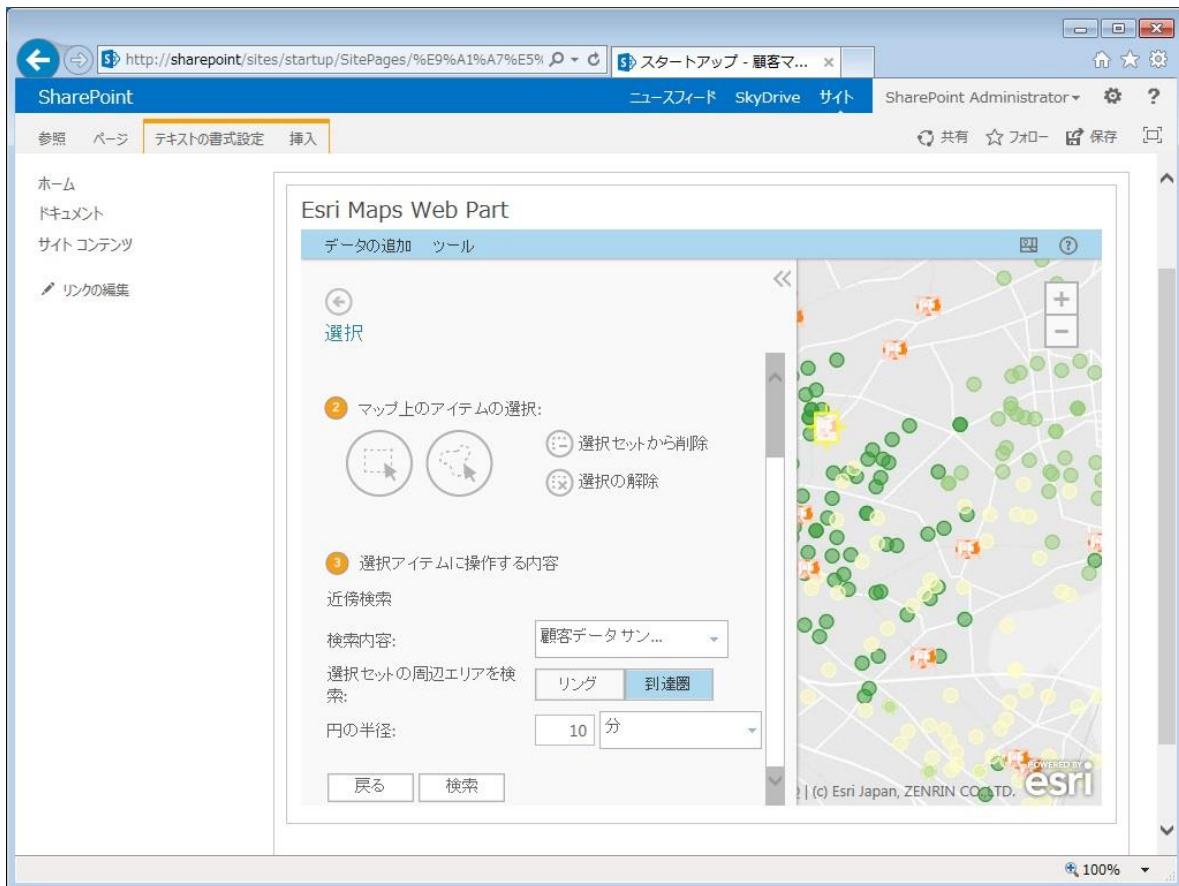
- [Web マップ](#)
- [フィーチャ サービス](#)
- [マップ サービス](#)



選択・近傍検索

近傍検索ツールは、[選択] ツールで選択されたフィーチャを基点に、その近傍にあるフィーチャを選択するツールです。

円圏だけでなく、ArcGIS Online の到達圏作成サービスにより、基点からの到達圏内にあるフィーチャの空間検索が可能です。また、ポイントだけでなく、ラインやポリゴンの周辺にバッファを発生させそのエリア内のフィーチャを検索することにも対応しています。



テーブル

レイヤのフィールドをテーブル形式で一覧表示することができます。また、テーブルに表示する情報は、[選択セットのみ]、[未選択のフィーチャ]、[すべて] と切り替えることも可能です。

Esri Maps Web Part

データの追加 ツール

レコードの表示

表示: 選択済み

住所	購買額	来店回数
千葉県船橋市飯山満町二丁目407	8.6	7
千葉県船橋市中野木二丁目32	98.1	78
千葉県船橋市二宮一丁目1	80.8	3
千葉県船橋市前原	74.4	28

ルート検索

2 点以上のポイントのルート検索を行うことが可能です。ポイントの追加では、マップをクリックして対話的にポイントを追加することに加え、住所検索によりポイントを追加する方法や、レイヤのポイントフィーチャを利用する方法があります。追加されたポイントはルート検索ペインで順番を変更したりすることができます。

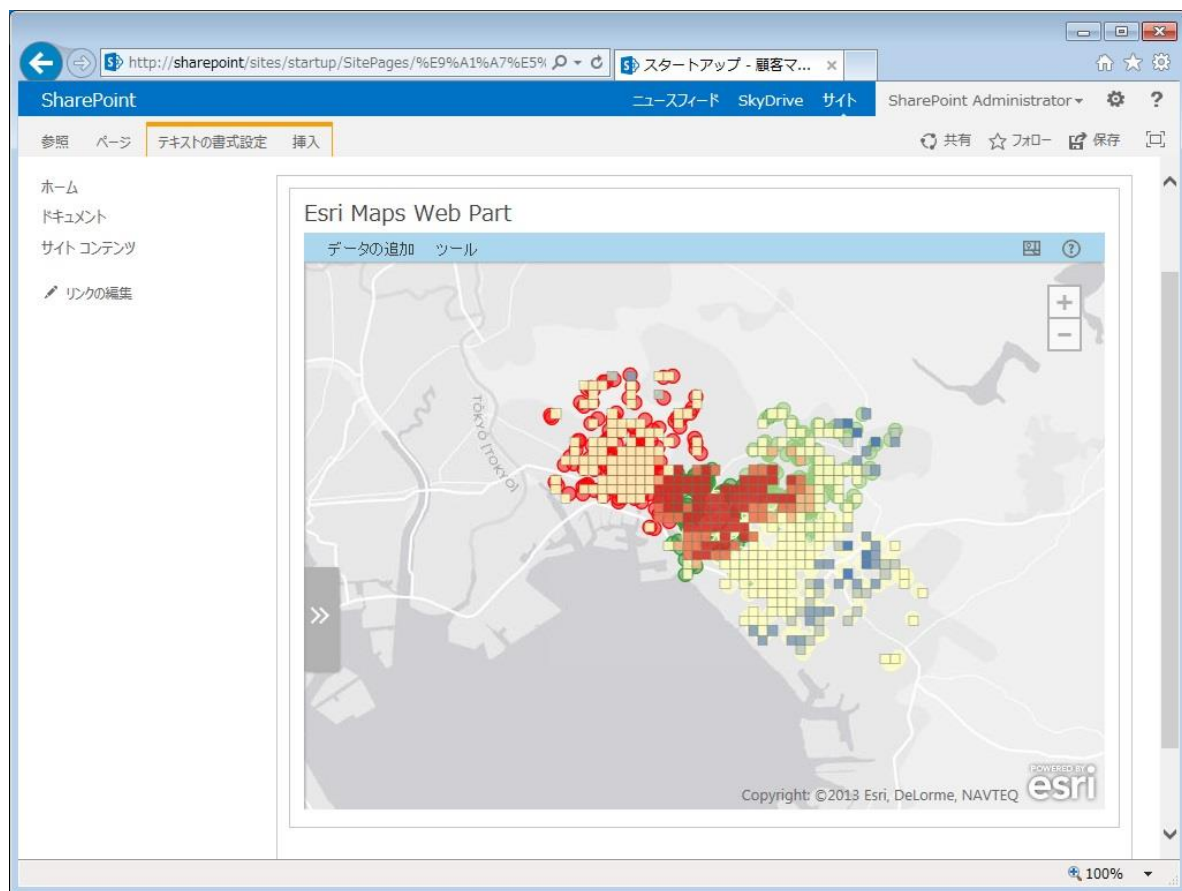
また、結果として得られたルートのルート案内をマップとともに印刷する機能があります。

ホットスポット分析

ポイントの密集度やあるフィールドの値を基準にホット スポットを検索するツールです。ポイントの密集度ではメッシュ単位でポイントのホット スポットを表現します。属性値を利用すれば、その値に基づいて統計値を算出し、それが空間的にどこに集中して存在しているかといったホット スポットを得ることも可能です。詳細については、下記リンク [\[ホット スポットの検索\]](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/find-hot-spots.htm) をご参照ください。

- ホット スポット分析

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/find-hot-spots.htm>



ArcGIS で共有

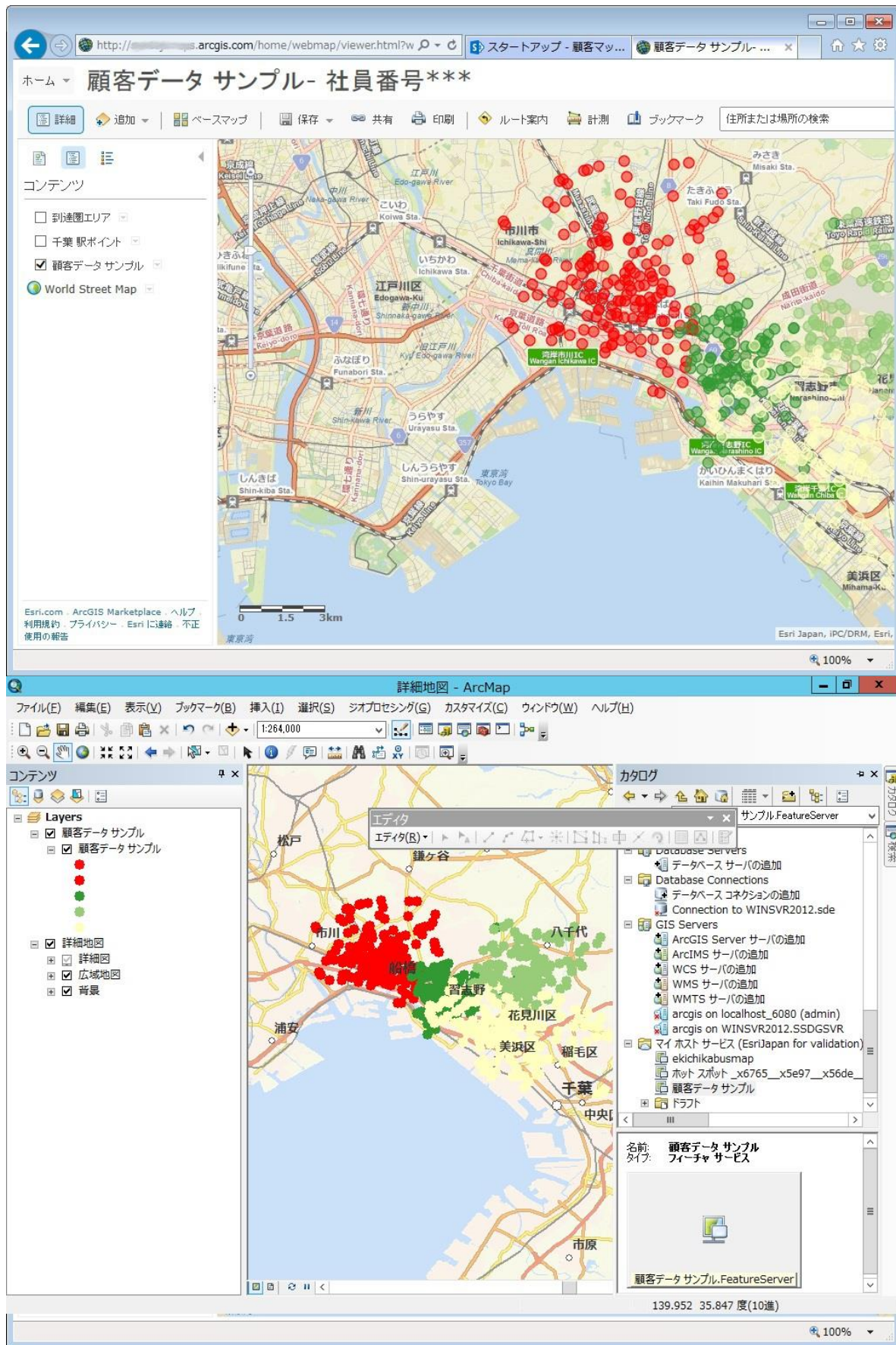
マップに追加された SharePoint リストを ArcGIS Online 組織サイトで共有する機能です。SharePoint リストをホスト フィーチャ サービスとして公開します。

レイヤ メニューの [レイヤの共有] ではレイヤをホスト フィーチャ サービスとして公開を行います。一方メイン メニュー [マップの共有] ではフィーチャ サービスとして公開するとともに、それを含む Web マップも作成され、ArcGIS Online 組織サイトに作成されます。(Web マップには、レイヤの構成設定も含まれます。)

そして、作成されたサービスはいずれも ArcGIS Online の組織サイトで共有することができます。ArcGIS Online の組織サイトで共有することで ArcGIS for Desktop などのクライアントから参照するこ

このとき、サービスとしては作成されるのは、マップに追加した SharePoint リストのビューのレイヤが公開されます。





doc.arcgis.com サイト

本スタートアップ ガイドでは、Esri Maps for SharePoint で最も基本となる SharePoint の活用方法をご紹介しました。機能の詳細やトラベル シューティングなどが [doc.arcgis.com] に集約されていますので、ご参照ください。

ホーム

<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/>

Esri Maps for SharePoint の紹介ページです。ここでは、Esri Maps for SharePoint をインストールするためのセットアップ プログラムやシステム要件へのリンク、サンプルやブログの記事などが掲載されています。

基本操作

Esri Maps for SharePoint の概要や SharePoint リストの GIS データ化などの情報が掲載されています。

Esri Maps Web パーツ

Esri Maps Web パーツに関する説明や利用方法の詳細について掲載されています。

ArcGIS Map Web パーツ

ArcGIS Map Web パーツに関する説明や利用方法の詳細について掲載されています。

フォーラム

Esri Maps for SharePoint を使用している世界中のユーザ同士が疑問や意見交換などのために利用されています。また、ユーザだけでなく Esri スタッフも書き込んでいることもあります。

トピックス

カスタム位置情報を用いた、Esri Maps Locate ワークフロー

SharePoint リストをポリゴンやラインといったジオメトリと紐づけて表示したいといった場合、Esri Maps Locate ワークフローでは、[カスタム位置情報] にそれらのジオメトリを持つフィーチャ サービスを登録することで表示することが可能です。

- ✓ カスタム位置情報を用いた Esri Maps Locate ワークフローの実行の詳細については、下記 Esri Maps for Office のヘルプ「位置情報」をご参照ください。（Esri Maps Locate ワークフローでの一連の操作と Esri Maps for Office での GIS データ化のワークフローは同じです。）

Esri Maps for Office ヘルプ「位置情報」：

<http://resources.arcgis.com/ja/help/esri-maps-office/0293/02930000002m000000.htm>

地理とインフォグラフィックス

Esri Maps Locate ワークフローでは、ジオコーディングを行うデータに対し、Esri 社が ArcGIS Online 上でホストする統計情報を集計し、新しい情報として付加することが可能です。それをジオエンリッチメントと言います。

Esri Maps Web パーツでは、Esri Maps Web パーツではある地点から周辺の統計情報を取得し、その得られた情報をよりわかりやすくグラフで表現したインフォグラフィックスを表示することも可能です。

- ✓ 地理データの情報付加に詳細については下記リンク「[地理データの情報付加](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/geographic-data-enrichment.htm)」をご参照ください。

- ✓ インフォグラフィックスについては「[インフォグラフィックス](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/infographics.htm)」をご参照ください。

地理データの情報付加およびインフォグラフィックスの取得には、保有クレジットが消費されます。

ArcGIS Map Web パーツの拡張

Esri Maps for SharePoint に独自に作成した機能を追加する場合、Visual Studio でエクステンションを作成します。Esri Maps Extensions ライブラリにアップロードすることで、そのアドインに含まれるツールやビヘイビアを ArcGIS Map Web パーツで利用できるようになります。拡張する場合は、ArcGIS Extensibility SDK for Silverlight を開発環境にインストールします。これには、API 以外に Visual Studio テンプレートが含まれており、テンプレートには、サンプル ツール、サンプル ビヘイビア、のコピーが含まれています。ArcGIS Map Web パーツの拡張やアドイン開発については下記をご参照ください。

- ✓ Esri Maps for SharePoint の拡張やアドインの詳細については、下記リンク「[ArcGIS Map Web パーツの拡張](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/extend-the-arcgis-map-web-part.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/extend-the-arcgis-map-web-part.htm>
- ✓ カスタム ツールの作成についての詳細は、下記リンク「[ツールの作成](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/write-tools.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/write-tools.htm>
- ✓ カスタム ビヘイビアの作成についての詳細は、下記リンク「[マップ ビヘイビアの作成](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/write-map-behaviors.htm)」をご参照ください。
[http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/write-map-behaviors.h
tm](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/write-map-behaviors.htm)
- ✓ カスタム レイアウトの作成についての詳細は、下記リンク「[カスタム レイアウトの作成](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/create-a-custom-layout.htm)」をご参照ください。
[http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/create-a-custom-layou
t.htm](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/create-a-custom-layout.htm)
- ✓ Esri Maps for SharePoint 用の Visual Studio テンプレートについての詳細は、下記リンク「[Visual Studio テンプレート](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/visual-studio-template.htm)」をご参照ください。
[http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/visual-studio-template.
htm](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/visual-studio-template.htm)

ArcGIS Map Web パーツのデフォルトで利用できるアドイン ツール

Esri Maps for SharePoint 3.0.1 では、下記のアドイン ツールが追加されています。それぞれ、ArcGIS.com でソース コードが公開されておりますので、開発の参考にすることが可能です。

- 計測ツール（英語版）
- 印刷ツール（ArcGIS for Server の 印刷サービスを利用できる）
- 関連レコードの検索ツール（英語版）

なお、計測ツールおよび関連レコードの取得ツールの日本語化されたものを、下記ツールをサポート サイトからダウンロードして、利用することができます。

- 計測ツール アドイン（日本語版） - Esri Maps for SharePoint 3.0.1 用
https://www.esri.com/support/download/esri/tool/esri_maps_for_sharepoint/MeasureTool.Addins.xap
- 関連レコードの検索ツール アドイン（日本語版） - Esri Maps for SharePoint 3.0.1 用
https://www.esri.com/support/download/esri/tool/esri_maps_for_sharepoint/QueryRelatedRecords.AddIns.xap

上記ツールをダウンロードするには、サポートサイトにログインする必要があります。

- ✓ 上記ツールの詳細は、下記リンク「[計測、印刷、関連レコードの検索ツール](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/measure-print-and-query-related-tools.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/measure-print-and-query-related-tools.htm>
- ✓ アドインの追加方法については、下記リンク「[アドインの構成](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-add-ins.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/arcgis-map-web-part/configure-add-ins.htm>

Web パーツ接続 (Esri Maps Web パーツのみ)

Esri Maps Web パーツでは、同じ Web ページにはいちされた SharePoint Web パーツと通信することができます。たとえば、マップに表示された市区町村界のレイヤの市区町村コードと、コードを持った SharePoint リストが同じ Web ページ上にあるとき、お互いに関連するものだけを表示させたいといった場合、マップから選択もしくは、リスト Web パーツを操作することで、お互いに該当する部分を強調させることができます。マップに表示されているフィーチャの属性値と他の Web パーツが持つ属性値と関連付けることで、効果的な Web パーツのページを作成することを可能にします。

- ✓ Web パーツ接続については、下記リンク「[Web パーツ接続の概要](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms178187(v=vs.100).aspx)」をご参照ください。
[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms178187\(v=vs.100\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms178187(v=vs.100).aspx)
- ✓ 詳細は、下記リンク「[Web パーツの通信](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/web-part-communication.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/esri-maps-web-part/web-part-communication.htm>

Esri Maps Connect ワークフロー

SharePoint 以外にデータウェアハウスなどで利用している SQL Server が組織内にあるとき、その SQL Server 内のデータも Esri Maps for SharePoint で活用できるようにするワークフローです。Business Connectivity Services を使用して、SQL Server のデータベース内のテーブルにアクセスし、格納されている位置情報に対して Esri Maps Locate ワークフローを実行し、GIS データ化した SharePoint リストを作成します。これにより SharePoint リストだけでなく、より多くの組織内データを活用しながら、SharePoint を通して位置情報を活用し、より迅速な意思決定を支援します。詳細な情報は下記をご参照ください。

- ✓ Business Connectivity Services の詳細については、下記リンク「[Microsoft Business Connectivity Services](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ee556826(v=office.14).aspx)」をご参照ください。
[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ee556826\(v=office.14\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ee556826(v=office.14).aspx)
- ✓ Esri Maps Connect ワークフローの利用方法は、下記リンク「[外部データへの接続](http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/connect-to-external-data.htm)」をご参照ください。
<http://doc.arcgis.com/ja/maps-for-sharepoint/get-started/connect-to-external-data.htm>

Esri Maps for SharePoint

スタートアップ ガイド (v3.0.1)

2014 年 12 月 1 日 第 2 版

ESRI ジャパン株式会社

<http://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

